

スポーツ庁委託研究 スポーツ国際展開基盤形成事業
「スポーツ国際政策推進基盤の形成：政府間会合の合意事項の履行 令和４年度」

事業報告書

2023 年（令和 5 年）3 月 31 日

スポーツ庁委託研究 スポーツ国際展開基盤形成事業
「スポーツ国際政策推進基盤の形成：政府間会合の合意事項の履行 令和４年度」
事業報告書

目 次

本文

第１章 委託研究趣旨並びに実施計画	1
第１節 本事業の趣旨並びに概要	1
第２節 事業実施計画と実施方法	8
第３節 事業の目標と期待される成果	15
第２章 第２回オンライン・ワークショップ実施概要	19
第３章 ASEAN 各国の体育教師教育に係るアクションプラン実施状況(中間報告)	27
第４章 各国による質疑応答内容	99
第５章 第２回オンライン・ワークショップ参加者アンケートの結果	121
第６章 障がい者スポーツ部門講義資料	136

巻末資料

資料１ 第２回オンライン・ワークショップ参加者実施マニュアル	166
資料２ 第２回オンライン・ワークショップの様子（写真）	172
資料３ ASEAN MAGAZINE における本事業の紹介（23 年 1 月）	175

第1章 委託研究趣旨並びに実施計画

第1節 本事業の趣旨並びに概要

1 事業の背景、これまでの経緯並びに目的

本事業は、関係諸国との持続的な開発と平和の実現にスポーツを通じて貢献する観点から、日・ASEAN スポーツ大臣会合¹において合意された政府間の協力事項の実現に向けた取組を推進するものであり、令和3年度(2021)以降、ASEAN 諸国における体育教員の育成に資する事業(体育教師教育)の実施及び障がい者スポーツの発展に寄与する事業を継続的に実施している。当初設定した両者の事業内容は、次の通りであった。

1) インクルーシブで良質な体育授業を展開できる体育教員の人材育成に資する支援

- ①ASEAN 各国のニーズに即した協力戦略策定を目途とした現状把握およびアクションプラン作成
- ②体育教員の育成研修課程の質的向上
- ③ASEAN 域内および各国省庁、組織間の連携体制の構築に資する今後の協力策の提案

2) 障がい者スポーツの発展に寄与する調査研究

- ①ASEAN 各国における実態調査研究(調査デザイン、アンケート調査・インタビューの実施、結果分析、論文作成)

2 ステークホルダー間の情報共有、共通認識の確保および各国カウンターパートの選出

本事業の展開に際しては、前年度同様、各国から体育教師教育並びに障がい者スポーツ担当のカウンターパートを再度選出する必要があった。先ず本事業開始にあたり、プロジェクトの目的、計画概要についてステークホルダーであるスポーツ庁並びに ASEAN 事務局と共通理解を得るため、2022年5月にオンライン会議を設定、事業実施内容に関する合意形成を図った。

ASEAN 各国のカウンターパート選出は、前年度同様、日本体育大学が ASEAN 事務局を通じ各国 SOMS²に依頼する形が採用された。各国 SOMS から推薦された対象10か国の内、カウンターパートが正式に選任された国のカウンターパートから、日本体育大学事務局の特別研究員が直接連絡を取り、2022年6月～10月にかけて国別にオンラインで本年度事業計画、活動概要について共通理解を図ることを主な目的に打ち合わせを実施した(カウンターパートの選任が遅れたフィリピンは2022年12月に実施)。尚、オンラインミーティング後も各国の状況、問い合わせ、質問内容に応じ、カウンターパートのフォローアップを行うことで、プロジェクトの円滑な運営、良好な人間関係構築に努めた。

結果的には前年度同様、数か国のカウンターパートの選出に時間を要し、ミャンマーについては、

¹ スポーツ庁、第1回日 ASEAN スポーツ大臣会合結果概要

<https://www.s-databank.com/news/ASEAN.pdf>

² ASEAN Senior Officials Meeting on Sports (SOMS)

<https://asean.org/our-communities/asean-socio-cultural-community/sports/>

10 月初めにオンラインでの打ち合わせを実施、その後 11 月末に前年度参加表明の無かったフィリピンより参加表明があり、その後 2023 年 1 月に正式にカウンターパートが選出され、ようやく ASEAN10 か国が揃うこととなった。尚、本年度新規参加となったフィリピンのカウンターパートに対しては、前年度の事業経緯、活動内容および実績も併せて説明した。

その結果、前年度以降継続で事業に参画するカウンターパートの他、本年度新規で選出されたカウンターパートも混在することとなった（本年度から新規選任されたカウンターパート：ブルネイ SPD、ラオス SPD、シンガポール PETE、タイ PETE および SPD、フィリピン PETE および SPD）。

これらの打ち合わせを行ったことで、前年度の事業経緯、本年度の活動計画、事業内容および目的が ASEAN10 か国のカウンターパートに周知、共有されるとともに、各国カンターパートのコロナ禍における業務、各国の対応、現状等も確認でき、体育教師教育および障がい者スポーツに係る諸活動、第 2 回オンライン・ワークショップの準備をスムーズに行う一助となったものとする。

3 運営体制整備

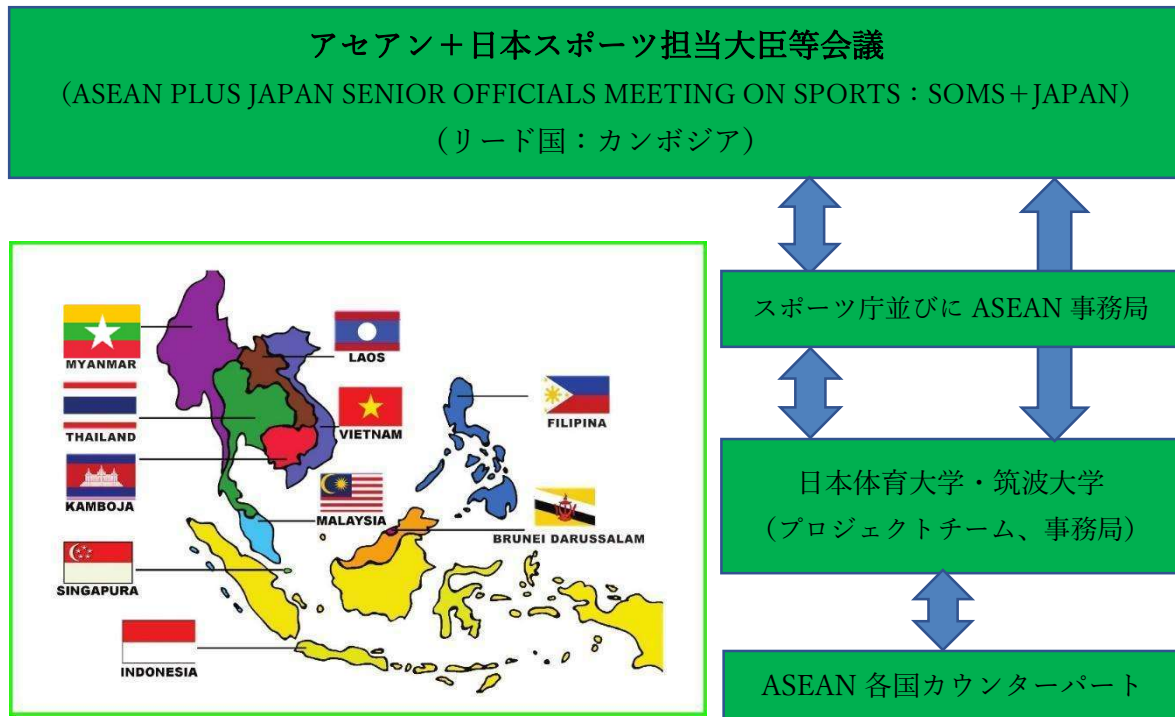
運営組織として、前年度に引き続き、体育教師教育に関する運営を日本体育大学、障がい者スポーツに関する運営を筑波大学にプロジェクトチームとして設定、両者を日本体育大学が統括する組織体制とした。また本事業のプロジェクト事務局は、日本体育大学に設置、特別研究員 2 名を配置し、各国カウンターパート、各プロジェクトチーム（体育教師教育、障がい者スポーツ）、スポーツ庁並びに ASEAN 事務局との連携を図った。また、日本体育大学総合スポーツ科学センターがその役割・機能を支援する体制を基本とした。日本体育大学の岡出はプロジェクトリーダーとして、2 名の特別研究員とともに両プロジェクトの進捗状況を確認、把握し、その円滑な運営に努めた。また、2 つのプロジェクトチームは、事務局の 2 名の特別研究員および対象 10 か国の担当者と連携、プロジェクトの実施促進に努めた。

体育教師教育に関する運営は、日本国内外の体育科教育学の研究者並びに開発支援に精通した研究者によりプロジェクトメンバーを構成した。他方、障がい者スポーツに関しては、障がい者スポーツに関する日本国内外の研究に精通した研究者により構成した。両組織は、各々独立して事業活動を展開した。

体育教師教育に関しては、日本側プロジェクトメンバーに担当国を配当することとし、前年度 2 月のワークショップにて各国により策定されたアクションプラン、その進捗およびその過程で生じた課題などについて、プロジェクトメンバー内で情報共有を図った。この過程は、各国の現状、進捗把握には不可欠な過程であり、各国の体育教師教育システムの現状、検討課題に対する共通理解を図り、課題解決の着想を得る上で不可欠な過程となったものと認識している。

以上を踏まえ、前年度に設定され ASEAN 事務局、各国対応組織並びに日本側組織の関係（図 1）を踏襲した。カンボジアは、日・ASEAN スポーツ担当大臣等会合において体育教師教育のリード国になることが確認されていたことから、引き続き SOMS+JAPAN のリード国として位置付けられている。ASEAN 諸国並びにカンボジア政府との交渉は、ASEAN 事務局を通して行われた。

図1 本プロジェクト運営体制



4 本邦研修（招へい）の準備および第2回オンライン・ワークショップの展開

本年度開始当初、2023年3月初旬に各国カウンターパートを日本に招いての本邦研修の実施が計画されていた。2022年8月以降、対面および非対面併用によるハイブリッド方式での開催する方向性が模索され、準備が進められた。

その後、長期間にわたる関係者間での協議の結果、2023年2月下旬に、一律10か国が非対面式で第2回オンライン・ワークショップを開催することが決定した。併せて、ASEAN事務局が非対面式での開催が決まった第2回オンライン・ワークショップ開催案内を2023年2月27日付で発出し、3月5日より無事に当該プログラムが開催された。

開催方法の変更が遅延した形で決まったものの、本事業での体育教師教育および障がい者スポーツ分野に係るASEAN全体としての協力基盤、パートナーシップの確立が大枠での事業目標として維持された。

当該第2回オンライン・ワークショップでは先ず3月5日に、各国カウンターパートは日本の現役体育教師が参加する「令和4年度各都道府県教育委員会長期研修生等合同発表大会（主催：公益財団法人日本学校体育研究連合会）」をオンライン視聴、同時通訳を介し、日本の現職体育教師教育の実態、課題などに触れる機会を設けた。

また、3月6日～8日の3日間は、同じく非対面式（オンライン）にて各事業活動が行われた。先ず6日に障がい者スポーツ分野における講義を筑波大学の佐藤貴弘教授、永田真一助教が行った。

その中では、2022 年度にかけて実施した ASEAN9 各国（当時フィリピンは不参加）の事業カウンターパートを務める行政官を対象としたアンケートおよびインタビュー調査結果、分析結果、併せて本年度カンボジアをモデル国と選定し、パラスポーツの実情、周辺環境についてパラスポーツ当事者を対象としたアンケートおよびインタビュー調査結果、分析結果が全体に共有された。また佐藤教授、永田助教から併せて「研究方法」について、実例を用いた講義が行われた。

併せて日本体育大学、本事業のプロジェクトリーダーを務める岡出美則教授から、昨年度のアクションプラン策定時の振り返りと「ASEANにおけるインクルーシブな体育教師教育の現状と課題」に係る講義が展開された。

続いて 7 日、8 日に、2022 年 2 月の第 1 回オンライン・ワークショップにて各国カウンターパート自身により、各国事情を踏まえ策定された「体育教師教育強化・改善に関するアクションプラン」の実施進捗に係る中間発表、情報共有、課題についての議論、ワークショップ実施期間中の講義、情報共有、議論等の結果を反映する形でのアクションプラン一部再考を行うと同時に、改訂および日本人専門家への相談機会を設けた。（第 1 回ワークショップにて、アクションプランの具体例として、ベルリンアジェンダ³、カザンアクションプラン⁴、アンタナナリボ宣言⁵を紹介、UNESCO の提案する SMART recommendation⁶の作成手続きに即して、アクションプランの作成方法を説明した。）尚、各国の情報共有に関しては、発表と司会を順次行う形式を取った。これにより、前年度同様、各国のカウンターパート間に顔の見える、より密で双方向な関係づくりを意図した。

結果的に非対面式（オンライン）の開催であれ、プレゼンテーション、ディスカッション、情報交換などを通じ、当初の目的であった ASEAN 各国カウンターパートおよび日本側の事業関係者の横の繋がり、コミュニケーション基盤の形成、連携体制の構築が達成されたものと理解している。また各国の体育教師教育システムの質の向上、障がい者スポーツを取り巻く環境改善に対するカウンターパートのモチベーションの更新に資する結果となったものと捉えている。

5 障がい者スポーツに関する調査実施および結果分析

ASEAN 各国の障がい者スポーツの実態調査については、各国の障がい者スポーツ担当のカウンターパートと筑波大学のプロジェクトメンバーが 2022 年 4 月にかけて、2021 年度に策定されたアンケート調査票を用いた調査およびオンラインでのインタビュー形式での調査が併せて実施された。

³ Berlin Agenda in 1999 by ICSSP

<https://www.icsspe.org/content/world-summit-physical-education>

⁴ Kazan Action Plan(2017, MINEPSVI)

<https://www.sportanddev.org/en/document/un-reports-un-resolutions/kazan-action-plan>

⁵ UNESCO(2019) The Antananarivo Recommendations Conference

[The Antananarivo Recommendations - UNESCO Digital Library,](https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000370641)

<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000370641>

⁶ UNESCO(2021) How to influence the development of quality physical education policy: a policy advocacy toolkit for youth, Questions to Develop SMART Recommendations (p31-33)

<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000375423>(2021.3.22)

また、プロジェクトメンバーは、同調査結果を踏まえ、カンボジアをモデル国と選定し、障がい者スポーツの実態を深掘りし、他の ASEAN 各国カウンターパートに調査結果および分析結果を共有する目的にて、同国パラアスリートおよびコーチを対象に、アンケート調査およびオンラインでのインタビュー調査が実施された。その結果は、先ず同プロジェクトメンバー間で共有、議論された後、英国研究者の協力を得て、更に多角的な議論、分析が成され、論文と言う形での事業成果が示されるに至ったことは、大きな進展であると考えている。それは、これまで ASEAN 各国の障がい者がスポーツを通じて社会参加し易い環境、インフラ整備の進捗、社会のインクルージョン（包摂）に対する理解度、当事者の意識、考えや障がい者スポーツの抱える課題等を明らかにする調査が成されて来なかった経緯があったことによる。また、インクルーシブな体育授業の実現に向けた体育教師教育システムにおける課題への新たな気づきを示すことにも繋がった。

この機会を設定したことで、各国の障がい者スポーツカウンターパートのみならず、体育教師教育カウンターパートの障がい者スポーツに関する認識を新たにし、理解度を深めることが出来た。また、筑波大学関係者と障がい者スポーツカウンターパートとの間に、より深く強固なネットワークが構築できたものと評価する。この関係は、更なる調査研究を実施するにあたり不可欠と考えており、その意味では追加調査の実施に向け、必要な前提条件、環境整備が進んだものと考えている。

6 成果と残された課題

● 成果

今回のワークショップを通じて、各国の実情やニーズに即した体育教師教育の強化・改善を目的としたアクションプランを、それぞれ進捗はことなるものの、各国が実施準備および実施に着手したこと、また、その実施に向けた国内の体制づくりに関して直面している課題等を各国間で共有することができた。

また、事後に参加者を対象に実施したアンケートでは、本年度実施の第 2 回オンライン・ワークショップで得られた情報、知識および事業運営に対する参加者の満足度は非常に高く、当初のワークショップ開催様式から変更が生じたものの、ワークショップの開催の目的は達成できたと考えている。

特に各国カウンターパートとの情報共有ディスカッションを通して、各国カウンターパート間で「血の通った」良好な関係へ発展させることが出来たものと考えている。また、日常的なやり取りを通じ、日本側プロジェクト事務局と各国カウンターパート間に前年度構築された信頼関係をより親密且つ本音ベースで話の出来るオープンな関係性へと深化させることが出来た。その一例として、寺岡英晋助教（日本体育大学）がインドネシア・カウンターパートの依頼に応じ、同国参加者向けのオンラインセミナーに講師として招かれ、講演を行った事例や、同じくインドネシア・カウンターパートを通じ、同国教育大学（Universitas Pendidikan Indonesia）が主催する体育・スポーツをテーマとした夏季研修会（Summer School Seminar）に日本側関係者が招待を受け、参加するなど、徐々に本事業における活動が信頼関係の醸成、パートナーシップ強化に繋がっていると捉えている。

更にこの関係深化は、各国内のカウンターパート間にもみられた。体育教師教育と障がい者スポーツの担当省庁が異なるケースもあり、また同省庁内の同僚であっても、所属先が異なることから、お互いを知らないケースも散見された。その上、前年度のカウンターパートから後を引き継ぎ、本

年度から新規選任されたカウンターパートもみられ、必ずしも本事業開始前に各国のカウンターパート間で人間関係がみられたわけではなかった。

しかし、本年度の第 2 回オンライン・ワークショップでは、日本人専門家からの講義、情報提供、助言の他、活発な議論、情報交換を通し、前年度策定された体育教師教育に係るアクションプランの客観的視点からの見直し、改訂がなされるとともに、各国内のステークホルダー、省庁をまたぐ実施開始の筋道が表明される等、前年度に増して積極的、且つより現実に応じた提案項目が多く見られた。今後の各国間、各国内での省庁間でのネットワークの有効活用、グッド・プラクティスの横断的共有への具体的なアクションへ繋がる切っ掛けが多く見受けられたことは、本年度の活動における最も重要な成果であったと考えられる。また 2022 年 10 月にタイ、プーケットにて実施された第 5 回日・ASEAN スポーツ高級実務者会合公開セッションにおいて、プロジェクトリーダーである岡出美則教授（日本体育大学）および佐藤貴弘教授（筑波大学）から本プロジェクトの成果が紹介されたことにより、各国に本プロジェクトの存在が広く周知されていく契機となったと考える。

その他、本年度よりフィリピンが新規参加することとなり、ASEAN 全 10 か国が出そろった意義も大きいと捉えている。同国カウンターパートの参加により、議論の活性化に資すると共に、国を超えたやり取りの機会が各段に増加した手応えを得ている。当初の ASEAN 全体としての事業参加を通じたパートナーシップ強化の前提条件が整ったことは、2021 年度当初以来、ASEAN 事務局を通じて再三同国に働きかけを行ってきた努力が最終的に結実したものと前向きに評価したい。

● 課題

他方、ASEAN10 か国各国間および各国カウンターパート間に、本事業目的に関する理解度、本事業への参加に期待する事柄や思惑が大きな格差があり、ASEAN 各国が一堂に会し、ある共通の目的、方向性を目指す事業の運営上の難しさがあったことも事実であり、各国の課題、ニーズに沿った精度の高いアプローチを限られた時間、資源でいかに各国の目的に沿って実現していくかについては今後の検討課題であると考えている。フィリピンの参加の遅れも、同国における ASEAN 全体の方針、目標、事業に求める内容（経済的なメリットに直結しない）等に対する見解の相違、利害に対する思惑、判断に起因すると推察される。また、例えば、講義、情報共有を行う上で、理解度の高いレベルに合わせるのか、平均を採用するのか、または理解度の低い国の理解促進に重点を置くのか等、参加国数、参加カウンターパート数が多く、それぞれの立場も異なるだけに、判断が難しい点があり、フォローアップの実施方法も含め、引き続き対処法については議論してゆくべき点の一つであるかもしれない。

また、ラオスのような PETE が専門家ではなく、政策に直接携われない立場のカウンターパートや、ベトナムのようにカウンターパートひとりが本プロジェクトを抱えているケースを鑑みると、ラオス国内やベトナム国内のチーム作りの支援についても今後検討していく必要があると考える。

その他、タイおよびフィリピンで選任されたカウンターパートが途中で交代する事案も発生したことは、事業 2 年目に生じた課題の一つとして捉えている一方、各国内で行われるプロセス故、ASEAN 事務局や日本体育大学として介入は出来ない為、事業目的、活動内容および選任条件を事前

に明確に伝達するなど、各国にとってより理解のしやすい形での提示が今後一層求められる。

ミャンマーの本事業へのかかわり方については同国内動向に係る情報収集、関係機関間での共有等に基づき慎重な事業運営が求められ、対処に係る検討、調整に長い時間を要した。結果的に当初計画された活動の一部が実施できなかった点は改善が要される。

また、各国カウンターパート間の人間関係については、ある一定の深化が見られたものの、今後体育教師教育および障がい者スポーツ分野の政策提言を前提とした議論、グッド・プラクティスの共有、情報交換を、ASEAN域内において国境を越えて行いやすいコミュニケーションプラットフォーム等のスペース、機会、仕掛けの具体的な構築・活用案の提示、引いては仲間意識の醸成については、事業終了後にカウンターパートが中心となって、継続的に活動、運営されてゆくことを事業目的の一つとするならば、次年度にさらに一段上のステージに向上させる努力・工夫は不可欠であるとする。これらを含め、双方向での信頼関係性向上の確立が求められる。

障がい者スポーツ分野で実施したアンケート、インタビュー調査については、「言語の違い」から多くの難しさに直面し、結果の取り纏めに時間を費やすこととなった。今後アンケート、インタビュー調査をカンボジア以外の国で実施していく際には、現地と調査する側の両方の文脈を把握している人材を確保することが望まれる。

その他、作成されたアクションプランを各国のステークホルダー間で各国における実態、ニーズ、社会的文脈および新たな変化に応じ改訂、洗練化していく過程や手法支援するとともに、その過程を通して各国カウンターパート並びに彼らの所属部署や同僚の政策提言能力の向上にもつなげて行く支援していくことも今後の取り組み課題として残された。同時に、これまでの2年間で収集できたデータは、日本の制度設計や運営を客観的視点から検討していく際にも役立つデータであったと考えられるASEAN各国から学ぶべき取り組み、課題へのアプローチは数多くあり、このような事業および人間関係を通して、日本も又、ASEAN各国からの学びを通し、今後インクルーシブ且つ持続可能で良質の体育実現に向けた制度の見直しも求められる時期に差し掛かっていると考えるに至った。

第2節 事業実施計画と実施方法

1 体育教員の人材育成に資する支援（前年度から継続実施）

①協力戦略策定

前年度に引き続き、スポーツ庁が ASEAN 各国と協働して実施した同分野のニーズ調査結果および2021年度の本事業活動実績に基づく。尚、協力戦略については、2022年5月13日開催のASEAN事務局、スポーツ庁とのキックオフミーティング内にて、議論の上、内容を確定した。

②体育教員の人材育成研修

2021年度の本事業活動実績の大きな柱である2022年2月開催の第1回オンライン・ワークショップの成果である、ASEAN各国の実情、ニーズに即して策定された体育教師教育に係るアクションプラン、構築された情報共有ネットワーク基盤およびその他収集された各国基礎データをベースに、2022年度は概ね下記の項目、流れを踏襲する形で、体育教師教育分野の事業活動は進められた。尚、実施に係る各国の中間報告に加え、2023年3月5日～8日に第2回オンライン・ワークショップ内で下記の事項が実施された。

- ASEAN各国カウンターパート（体育教師教育、障がい者スポーツ）との打ち合わせ（2022年7月～8月：8か国、10月：ミャンマー、12月：フィリピン）
- ASEAN各国における2月策定体育教師教育に係るアクションプランの実施状況中間報告
- 当該アクションプラン実施過程における課題の抽出、共有
- ASEAN各国カウンターパートとの情報・意見交換
- 当該アクションプラン記載内容の改訂（より実態に即した内容へ）
- 当該アクションプラン実施計画の見直し
- 事業成果発表に向けた検討・準備

● カウンターパートの選任

先ず、本年度のカウンターパートの再選定は前年度同様、ASEAN事務局を介して、選出依頼状を発出し、各国SOMS⁷へ依頼する手続きを踏んだ。カウンターパートの選定は前年同様、体育教師教育並びに障がい者スポーツに関連した政策設定並びに運営業務に携わり、本課題に関して英語での情報交換に支障がないこととし、前年度からの継続性を念頭に同人材の再任を基本としつつ、各国の事情に応じ、新たな人材も適宜任命された。各国2名のカウンターパートが体育教師教育と障がい者スポーツに関わり、連携して稼働できる体制を確保することで、プロジェクトの円滑な展開、進捗が期待された。

● 前年度に策定された体育教師教育に係るアクションプランのベースについて

尚、前年度の取り組んだ各国の実態を踏まえたアクションプラン案の作成にあたり、UNESCO(2021) How to influence the development of quality physical education policy: a policy

⁷ ASEAN Senior Officials Meeting on Sports (SOMS)

<https://asean.org/our-communities/asean-socio-cultural-community/sports/>

advocacy toolkit for youth⁸で提案されている分析手法を適用、各国が置かれている状況、解決すべき課題を踏まえ、長期的課題、短期的課題並びにそれらの優先順序を踏まえ、それらの解決に向けたアクションプランの作成が目指された経緯があった。

UNESCO の上記文書では、1)効果的な政策作成に向けた基礎づくり、2)提案の目的設定、3)国内状況の分析、4)提案文書の配布先並びにネットワーク構築、5)ソーシャルメディアの活用並びに 6)若者の参加を促す計画作成という一連の手続きが示されており、各手続きに関わる現状確認のためのチェックリストが示されている。また、各国や国内各地の実態を踏まえた柔軟な計画作りが提案されている。

このような様式を活用して情報を共有することで、ASEAN 各国が他国並びに自国の実態と経験の共有が可能になるとともに、相互支援に向けたネットワークの構築が可能になると考えた。また、同文書は、政策作成、実行に関わるステークホルダーを 3 層に分類しており、このような分類を踏まえて各国のステークホルダーを整理することで、政策の効果的な実行に向けた体制を具体的に検討しやすくなると想定した。

加えて、同文書で紹介されている SMART(Specific, Measurable, Attainable, Realistic, Time-bound) recommendations の形式に即したアクションプラン作成を求めることで、具体性と実現可能性を踏まえたアクションプランの作成を試みるのが容易になると意図した。

なお、同文書以外にも教師効果の評価方法、教師教育プログラムの評価方法、モニタリングシステム、ICSSPE の教師教育プログラムの評価指標、UNESCO の QPE⁹、SHAPE America¹⁰の提案してきた体育教師教育スタンダード等の評価枠組みについてもアクションプラン作成時に活用している。

③連携体制の構築に資する今後の協力策の提案

対象 10 か国のカウンターパート並びに体育教師教育プロジェクトメンバー間でワークショップでのプレゼンテーションを通して、各国が策定したアクションプランの実施段階において直面する問題や課題を抽出、共有するとともに、その解決策についても情報共有を行った。また、前年度に引き続き、日本体育大学に配置する特別研究員を介し、対象 10 か国カウンターパート並びに日本側プロジェクトメンバーとの連絡調整の円滑化、関係強化に努めた。

このような体制でプロジェクトを運営することを通じ、正確な情報共有を踏まえた論議を継続することで、前年度以降構築されつつあった各国の担当者間並びに日本側のプロジェクトメンバー間の相互支援関係が強化され、体育教師教育および障がい者スポーツ分野における双方向且つ持続可能な協力関係がより一層強固に構築されていくことが期待されている。

⁸ UNESCO(2021) How to influence the development of quality physical education policy: a policy advocacy toolkit for youth.

<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000375423>(2021.3.22)

⁹ UNESCO Quality Physical Education (QPE)

[Quality Physical Education \(QPE\) Policy Project | UNESCO Inclusive Policy Lab](#)

¹⁰ SHAPE America

[Physical Education and Health Education-Shape America](#)

2 障がい者スポーツの発展に寄与する調査研究（前年度から継続実施）

本年度当初、先ず本事業における各国障がい者スポーツ分野のカウンターパートを対象に、アンケート調査およびオンラインでのインタビュー調査が、筑波大学関係者により組織された障がい者スポーツプロジェクトチームにより 2022 年 4 月に実施された。その後の本年度内での障がい者スポーツに係る調査研究は、概ね下記項目を柱に進められた。

- モデル国（カンボジア）における障がい者スポーツアスリートおよびコーチを対象としたアンケートおよびインタビュー調査
- ASEAN 各国における障がい者スポーツに係る調査分析結果、論文の共有
- 障がい者スポーツに係るアクションプランの新規策定作業

● 調査研究（アンケート調査・インタビュー調査の実施、結果分析）

障がい者スポーツプロジェクトチームは前年度に倣い、日本並びにアメリカでの障がい者スポーツ、インクルージョン教育の研究者、スポーツパラリンピック支援関係者、Tsukuba International Academy of Sport Studies (TIAS)¹¹においてアフリカ、アジアでの障がい者スポーツの普及、啓蒙活動、ASEAN における障がい者スポーツ支援に関わってきた研究者でプロジェクトチームを構成した。

先ず ASEAN 各国から選任された障がい者スポーツ分野のカウンターパートを対象とした調査については、前年度に量的データが収集可能なアンケート調査票の配布、回収を通して実施すべく準備が進められた。その際、同調査票の設問設定には、対象各国共通の設問を設定することで、各国に共通した課題と各国固有の課題を抽出できるようにすることを意図した。尚、同調査票については、各国主要言語に翻訳し、各国カウンターパートへ展開した。また、各国のカウンターパートに英語に精通した人材選定を依頼したことで、調査票の調査対象者への配布、回収が円滑に実施でき、またインタビューを確実に実施できる体制が前年度より引き続き維持された。

また、同調査票の内容に沿って、9 か国（2022 年 4 月時点でフィリピンは事業への参加表明未了のため本調査実施対象外）の障がい者スポーツを取り巻く社会環境全般、インフラ整備状況や公的機関の支援システム等についてのインタビュー形式での聞き取り調査も実施された。

結果として、多くの ASEAN 諸国で障がいに対する差別や偏見は根強く残っており、障がい者の社会参加が制限されている現状を垣間見ることが出来た。また、本事業の障がい者スポーツ分野の各国カウンターパートは概ね、草の根レベルでの障がい者のスポーツへの積極的な関わり、参画の重要性に気付くと同時に、超えるべき障壁も依然多く存在することも認識していることが確認された。尚、マレーシアやラオスでは、国レベルで障がい者スポーツを促進する動きがあることも、例示をもって示されていた。

¹¹ Tsukuba International Academy of Sport Studies (TIAS)

[Japanese | TIAS2.0 \(tsukuba.ac.jp\)](https://www.tiias.ac.jp/)

他方で、多くのカウンターパートがパラリンピックなどエリートスポーツでの成功が、障がい者スポーツ促進に資するとの見解を持っていたが、それは多くの場合で「根拠の薄い神話」に過ぎないというのが、現在の世界レベルの通説である。この背景には、ASEAN 諸国の多くで、障がい者スポーツに係るインフラ整備が遅滞しており、行政側の障がい者スポーツに対する関心を高める上では、パラリンピックなど多くの目に触れやすいレベルでの可視化された成果がより理解されやすいという実情が潜在的にあることが遠因となっていると考えられる。この問題については、各国における草の根レベルでの障がい者スポーツ促進に特化した予算確保、資金調達に係る政策提言が、解決策の一例として想定される。

- 障がい者スポーツに係るアクションプランの新規策定作業

上記を踏まえ、各国の障がい者スポーツを取り巻く環境、取り組み、その他の社会的要因等に応じた形での、より現実可能な障がい者スポーツ促進に的を絞ったアクションプランの策定を行うことが求められる。それを視野に、本年度カンボジアのパラアスリートおよびコーチを対象に行った追加調査（アンケートおよびインタビュー調査）の結果を、2023 年 3 月実施の第 2 回オンライン・ワークショップにて ASEAN 諸国に対しモデルケースとして共有した。それを自国の現状に投影し、検討した上で、また障がい者スポーツを行う当事者の観点も反映させつつ、本事業カウンターパート自身が、他の ASEAN 各国とアクションプランの草案を策定、その後自国でステークホルダーを巻き込みながら、プラン自体をブラッシュアップし、実際の政策提言に繋げることを促して行くこととした。

3 プロジェクトメンバーの活動

前年度同様、体育教師教育並びに障がい者スポーツに関して各々独立したプロジェクトチームをそれぞれ日本体育大学と筑波大学に設置し、各分野の事業実施に当たった。なお、岡出が特別研究員とともに、二つの事業の方針並びに進捗状況を把握しながら、円滑な事業運営・管理に努めた。

体育教師教育分野のプロジェクトメンバーは、本年度改めて ASEAN10 か国から選出されたカウンターパートへのプロジェクトの目的および本年度事業計画に係る説明の後、前年度策定された各国のアクションプランの実施に係る中間報告を受け、各国の進捗、直面する課題を特定し、その解決に向けたアイデアを協同的に検討し、必要に応じカウンターパートに対して質問、追加情報の提供依頼等を行った。他方、当初 ASEAN10 ケ国のカウンターパートとのオンライン・ワークショップもしくはオンラインによる情報共有を 9 月以降実施し、12 月までに 10 か国における進捗状況を把握、フォローアップを定期的に行うことを想定していたが、フィリピンのカウンターパート選出過程に大幅な遅延、タイのカウンターパートの交代等が生じた。また折からの新型コロナウイルスの感染拡大が断続的に続いたことや各種調整を要したこと等もあり、本年度対面で行う計画であった本邦研修（ワークショップ）の開催可否の検討、開催方法に係る決定判断に常に困難が伴った。

障がい者スポーツ分野でのプロジェクトメンバーは、ASEAN 各国（前年度フィリピンは不参加の為、全 9 か国）の障がい者スポーツ普及に関わる組織の現状把握を目的としたアンケート調査およびインタビュー調査を 2022 年 4 月に了し、収集データ整理、分析、論文策定等、段階を経て開

催された。調査票は、本事業が採択されて以降、前年度にプロジェクトチームで作成し、2022 年 2 月末に対象 9 か国のカウンターパートに対して調査票を配布、併せて本年度初頭にオンラインでのインタビュー調査を実施することができた。その後、調査結果の分析、考察を行い、論文を投稿した。尚、現在査読結果を待っている過程である。

既述のカウンターパートを対象とした調査に加え、プロジェクトメンバーはカンボジアをモデル国と選定し、障がい者スポーツ当事者（パラアスリートおよびコーチ）を対象に追加調査を行う目的で、アンケートおよびインタビュー案を、英国チェスター大学所属の研究者の助力を得て、検討、準備を重ね、2022 年 9 月～10 月にかけて、同調査をオンラインにて実施することが出来た。その際、カンボジア現地に拠点を置き、現地の体育、障がい者スポーツ事情にも精通するカンボジア人スタッフを抱える日本の特定非営利活動法人「ハート・オブ・ゴールド」の協力、支援を受けた。

最終的には、体育教師教育および障がい者スポーツのプロジェクトメンバーが協働にて、ASEAN10 か国のカウンターパートを対象に 2023 年 3 月上旬に計 4 日間のオンラインでの日本人教員研修者発表大会視察（英語同時通訳付き）および第 2 回オンライン・ワークショップを無事に開催することが出来た。

4 今後の協力の方向性・戦略の提案

本年度開催した第 2 回オンライン・ワークショップにて ASEAN10 か国内での体育教師教育に係るアクションプランの実施準備および実施段階での課題、それらの解決の選択肢について、10 か国のカウンターパートおよび日本関係者で情報共有、議論、検討することが出来た。

また障がい者スポーツに関する ASEAN 各国の現状把握、課題意識を共有することができた。また、その課題解決に向けた国内資源を各国カウンターパートが確認、それらの改善に向けた国内ネットワークを構築していくための障がい者スポーツ促進に特化したアクションプランも新たに作成された。

今後は各分野のアクションプランの洗練化、更新作業、エビデンスの収集、取捨選択、アクションプランへ取り込む作業と並行して、各国内のステークホルダーを巻き込んだ形で、その実施に向けた取り組みを定期的に支援、モニタリングを継続して行く。また、各アクションプランの実施、達成に向けた ASEAN 域内および日本を含めた相互支援体制の基盤を構築して行く。また、ASEAN Council of Physical Education and Sport(ACPES)¹²もしくは東南アジア競技大会（Southeast Asian Games および Southeast Asian Para Games）等での成果発表を促していく。ACPES での発表を通じ、国内外の研究者等とのネットワークが構築され、各国が自律的に体育教師教育システムの質の向上および障がい者スポーツの促進に長期的、短期的視点のもとで取り組めるよう発展することが期待される。

¹² ASEAN Council of Physical Education and Sport(ACPES)

[ASEAN – Council of Physical Education and Sport \(wordpress.com\)](https://www.acpes.org/)

このような取り組みを中長期的視点から、継続的に促して行く上では、日・ASEAN スポーツ担当大臣会合内に体育教師教育並びに障がい者スポーツに関わる部門、ワーキンググループを開設し、定期的に ASEAN 各国間のエビデンスに基づいた情報交換を進める目途にて、その中心的役割を果たして行くことが期待される。また、各国間の日常的コミュニケーション、情報交換、議論機会を担保する目的で、プラットフォームの構築、活用、運営等の検討、可能性も示唆される。

尚、これらの取り組みは、JICA のスポーツと開発ポジションペーパー（2016）、「スポーツと開発」事業取り組み方針で示されている方針（2018）にも合致するものであり、将来的には国内において JICA と連携したプロジェクト展開、Edu-Port ニッポン¹³と連携した事業展開を促す具体的な働きかけも必要となると想定する。

5 事業成果の共有・発信

本事業に関しては、2022 年 10 月に対面（タイ、プーケット）および対面・オンライン併用で開催された第 5 回日・ASEAN スポーツ担当大臣会合公開セッションにて本事業プロジェクトリーダーである日本体育大学、岡出美則教授および筑波大学、佐藤貴弘教授より事業紹介および体育教師教育および障がい者スポーツ各分野の進捗報告が行われた。今後は SEA Games もしくは SEA Para Games 等、ASEAN 有識者、スポーツ関係者、各国政府関係者に向けた進捗および成果発表に繋げるべく、調整、準備を進める。また、ACPES（ASEAN 体育スポーツ評議会）での発表促進を通して ASEAN の研究者間での情報共有、交流を活性化させて行くための具体案アプローチも検討して行く。

同時に日本国内向けには、日本体育大学 HP での報告書の公開並びにスポーツを通じた開発支援に関わる研究機関、JICA や関連 NPO への報告書送付並びに JICA 地球広場や日本体育大学でのセミナーや高校生向け出前授業等を通して、体育教師教育および障がい者スポーツに関心をもつ次世代への情報発信を前年度に引き続き試みて行く所存である。

6 事業報告書の作成

本事業報告書は、前年度に倣い、1) 体育教師教育並びに 2) 障がい者スポーツの 2 本の柱に即して日本語で作成した。本報告書の完成は、2023 年 3 月末とした。

体育教師教育に関しては、ASEAN 各国における体育教師養成並びに現職教員に対する体育教師教育制度、周辺環境の持続可能性という観点、国によってはインクルーシブな体育教師教育の実現を目途としたアクションプランの実施報告と、2023 年 3 月実施の第 2 回オンライン・ワークショップで得た情報、知識および同国カウンターパート間での議論結果を反映させたアクションプランの改訂内容を追記した資料を収録した。

障がい者スポーツについて、本年度実施した ASEAN 各国カウンターパート、モデル国に選定し

¹³ Edu-Port ニッポン <https://www.eduport.mext.go.jp/>

たカンボジアのパラアスリートおよびコーチを対象としたアンケート、インタビュー調査結果の分析、考察に加え、ASEAN各国における障がい者のスポーツを通じた草の根レベルからの社会進出促進の重要性の理解、インフラ整備に向けた予算確保等に係る政策提言の方向性についてプレゼンテーション資料に含め収録した。

第3節 事業の目標と期待される成果

- 本事業全体のアウトプット

本事業では、各々国情が異なる10ヶ国を対象としている（前年度不参加のフィリピンは2022年11月に参加表明、12月にカウンターパートを選任済み）。そのため、体育教師教育並びに障がい者スポーツに関わり保有している資源並びに直面している課題を共有することが不可欠である。前年度、本事業では体育教師教育並びに障がい者スポーツに関するASEAN各国の現状とその改善に向けたロードマップ作成に必要な基礎的データの収集、分析を通して、日本並びにASEAN諸国が双方向的な協力関係を構築していく過程で必要な各国の課題の抽出、各国間での共有並びにアクションプランの立案を行った。その作業を行うにあたり、体育教師教育については各国の課題を反映、解決策を明示したアクションプランを、障がい者スポーツについては各国の抱える課題と改善策に関わる整理された情報の取り纏めを前年度における本プロジェクトのアウトプットとして各国カウンターパートに示した。

- 体育教師教育のアウトカム

体育教師教育ではASEAN各国の現行システム、社会の趨勢、ニーズおよび周辺環境（インフラ）に応じた体育教師教育の改善に向けたアクションプランがアウトプットとして得られ、本年度その内容に沿った実施準備・着手、各国内のステークホルダーへのアクションプラン案の共有、新たな課題の抽出、実施を促した。各国カウンターパートは、ASEAN内他国の状況を知ることを通し、自国の現行制度を客観視し、より高い視座から体育教師教育、体育自体を考える機会になったとの意見も寄せられた。今後、アクションプランで提案された体育教師教育に関する各種政策、例えばカリキュラム評価、モニタリングシステム、インクルーシブな体育教師教育並びに教師教育プログラムの充実に向かうこと、それに対応してゆく個人並びに組織の継続的な成長、能力向上およびノウハウの蓄積が今後のアウトカムとして期待される。

- 障がい者スポーツのアウトカム

障がい者スポーツについては、本年度実施した各国の障がい者スポーツカウンターパートを対象にアンケートおよびインタビュー調査を行ったことで、各国の障がい者スポーツの実情、対象各国が共通して抱える課題に関する情報、分析・考察結果、論文がアウトプットとして得られた。また2022年9月～10月にかけて実施したカンボジアのパラアスリートおよびコーチを対象としたアンケート、インタビュー調査により、当事者の置かれた現状、当事者目線での障がい者スポーツの普及、促進に向けて取り組むべき課題が整理され、関連する情報、分析・考察結果、論文が同様にアウトプットとして得られた（本論文は2023年3月現在査読、加筆中）。今後、その達成に向けたアクションプランの作成がアウトカムとして期待されている。更に、障がい者スポーツカウンターパート並びに各国組織の課題発見並びに課題解決能力の向上が長期的視点から見たアウトカムとして、同様に期待される。

- ASEAN各国のカウンターパートを介した個人レベルおよび組織間ネットワーク構築

各課題に関連したこれらのアウトプットを得る過程で醸成される信頼関係、ASEAN域内および日本を含んだ国内外の人的交流、組織的ネットワークの他、担当者個人や対応組織の体育教師教育並びに障がい者スポーツに関する課題、関連情報の整理、知見の習得、課題解決に向けた政策提言能

力、提言内容を実現し、具現化して行く能力の向上もまた、今後の事業実施範囲での重要なアウトカムとなる。

体育教師教育に関しては、前年度に各国より共有された基礎情報を踏まえ、自国の体育教師教育制度並びにプログラムの開発に向けた課題とその解決に向けた改善策を UNESCO(2021)How to influence the development of quality physical education policy: a policy advocacy toolkit for youth で示されている SMART 等を活用しながら、2022 年 2 月の第 1 回ワークショップ内で作成している。SMART は、Specific, Measurable, Attainable, Realistic, Time-bound の略であり、現状と将来を見据えながら、具体的な提案をする手がかりとなる。このような共通フォーマットを活用して各国が自国の状況を客観的且つ正確に把握し、それを他国と共有することで、前年度事業終了時点では、各国がそれぞれの実情を踏まえつつ、また広い視点で体育教師教育に関わり、今後中長期および短期的に取り組むべき課題とその解決に向けた提案文書、アクションプランが提出された。例えば、養成段階と現職教育に分けた課題整理や両者の連携に関わる課題、中等教育段階以降の体育専科、小学校での体育授業実施に向けたクラス担任の力量形成、小学校、幼稚園で専任制等に分けて、解決すべき課題の整理がなされていくことになった。本年度では他国の共有する情報や、日本人専門家が示す情報、知識及び助言を受け、各国カウンターパート自身が策定済みのアクションプランの内容を改めて客観的に見直し、自国の文脈に落とし込み、アクションプラン自体に改訂を加える機会を持つことが出来たことは、より実態に即した実施を見込むうえで不可欠な作業、過程であった。

この作業を 10 か国が情報を共有しながら進めたことで、ASEAN 内での横の繋がり、各国内で同じような立場、身分と言える省庁職員であるカウンターパート間の人的ネットワークが今後さらに発展、強化されるベースを築くことに繋がったものと考ええる。この人的ネットワークは、各国がプロジェクトの遂行に関して困難に直面した際には有効な相互支援システムとして機能し、専門職学習集団（Professional Learning Community）として成長してゆくことが今後期待される。そのため、ワークショップでは、共通の概念である SMART を踏まえた体育教師教育に関するアクションプランの作成とともにそれを実行、モニタリング、改善するための持続可能且つ双方向の連携体制づくりについても、継続的に取り組んで行くこととした。

- ASEAN 各国の障がい者スポーツに係る情報の整理と取り組む課題の明確化

障がい者スポーツに関しては、2023 年 6 月にカンボジアで ASEAN パラゲーム（ASEAN Para Games）¹⁴が開催されることに伴い、ASEAN 各国のステークホルダー間で、障がい者スポーツの普及、周辺インフラの整備への関心・意識が徐々に高まっていることが報告されている。その一方、障がい者スポーツ普及のための組織、制度作り、取り巻く社会環境が国により大きな違いがあり、抱える問題点や取り組むべき課題が一律に整理されていない現実がある。そこで、各国の事情を踏まえた目標の設定と課題整理は必須であると考えられる。それは、どこかの組織・部署がどの程度の規模で、何を目的に何を担当するのかの役割分担や立場、普及における問題点、取り組むべき課題と課題解決に資する資源が様々異なるためである。そこで、ASEAN における障がい者スポーツ普及

¹⁴ASEAN パラゲーム（ASEAN Para Games）

[APSF – Asean Para Sports Federation – Asean Para Sports Federation](#)

の現状を、同じフォーマットを用いた調査結果を踏まえて整理することで、取り組むべき課題の優先順序が各国の実態に応じて明らかにされたものとする。

- 日本の行う「スポーツを通じた開発支援」、国際社会でのプレゼンス向上へのメリット

前年度に引き続き、このようなプロジェクトに ASEAN10 か国および日本の研究機関が関与することは、当該国並びに日本の関係者双方に恩恵が大きいと考えられる。例えば、当該国においては、UNESCOを含む、国際的な動向を踏まえた体育の授業の質改善に向けた、持続可能なシステム開発に向けた知見を得ることで、国際的な動向を踏まえた担当者の政策立案、提案、遂行能力の向上が期待できる。殊に、体育教師教育と障がい者スポーツに関わる担当者を各国から各 1 名、計 2 名が互いに連携しながら本事業に関わる体制を取ることで、UNESCO の提唱してきた包摂的な Quality Physical Education (QPE)¹⁵の実現に向け、学校教育内外での健康な生活習慣の育成や社会的包摂の推進に向けた施策立案、実行に向けた連携体制が、各国内において担当者個人を越えて、組織的に構築されていくことが期待される。また、ASEAN 各国が協働、連携した体育教師教育モデルの構築に向けた互惠関係を構築していくための人的及び組織間のネットワークが構築されていくことが期待される。

このような個人的、組織的ネットワークの構築過程で、当該国の文化的、社会的、歴史的資源を踏まえた、長期的、短期的視点に立つ、持続可能な課題解決を担える人材育成が可能になっていくことも期待される。また、そのような人材が育成されていく過程で、より安定した社会システムの構築に必要な施策作成、実行に向けたステークホルダー、協働者、理解者等の人材が波及的に関係省庁内外で増えていくことが長期的視点から期待される。

また、このような人材とともに協働的にプロジェクトを継続的に展開していくことにより、日本国内において当該国の実情に関する正確な情報を踏まえた、現実的な支援策の検討や支援事業の形成がしやすい環境が段階的に整ってゆくことに繋がる。それは、スポーツ庁、外務省、JICA 等が各々取り組んでいた事業の内容に関わる情報や各国の実態に関する情報を個々の組織を越えて共有、蓄積することで、国内機関が互いの長所を活かし、補完し合いつつ、ASEAN 諸国とより密で良好な関係づくりに資するものと期待される。また、このプロジェクトを通して、International Conference of Ministers and Senior Officials Responsible for Physical Education and Sport (MINEPS)¹⁶が展開してきた良質の体育、包摂の実現に向けた政策立案、実行に ASEAN 内で関与し得る、日本国内での人材育成も進むものとする。

スポーツを通じた開発支援は、2000 年台に入り、急速に展開されてきたが、東南アジアにおける各国の実態に関する正確な情報は、日本ではそれほど多くの関係者間で共有されているわけではないのが現状である。その状況は、欧米諸国においても同様である。そのため信頼される支援体制の構築、情報の整理、蓄積、共有が可能になることで、日本が国際社会において特に ASEAN 各国を

¹⁵ UNESCO Quality Physical Education (QPE)

[Quality Physical Education \(QPE\) Policy Project | UNESCO Inclusive Policy Lab](#)

¹⁶ International Conference of Ministers and Senior Officials Responsible for Physical Education and Sport (MINEPS)
[International Conference of Ministers and Senior Officials Responsible for Physical Education and Sport \(MINEPS\) \(unesco.org\)](#)

対象に「スポーツを通した開発支援」のイニシアチブを取ってゆく能力、ノウハウと共にその可能性が高まることが期待される。また ASEAN の自律的な行動を促す取り組みは、国際的にも貴重な情報として発信可能である。それにより、ASEAN 発の体育教師教育モデルや障がい者スポーツモデルが、学術面からも政策的にも国際的にも発信、普及、活用されていくことも期待される。国際社会に向けた体育教師教育および障がい者スポーツに係る日本からの情報発信能力の向上が期待されるのはもとより、スポーツを通した開発支援における日本のプレゼンスを ASEAN 内のみならず、国際社会に示すものとなる。

ボスニア・ヘルツェゴビナにおけるスポーツを通した信頼醸成プロジェクトに日本が貢献しえた理由は、日本が長らく国際社会において支援国から信頼されるプロジェクトを現地のニーズを踏まえて展開されてきたからだと言える。ミャンマーやカンボジアにおける支援についても同様である。プロジェクトに派遣される専門家が機能し、能力を発揮するためには、専門家が対応すべき課題やその課題解決に向けた前提条件が明確になっていることが重要である。プロジェクトとして対応すべき課題形成には、特に事前の調査やその調査を効果的に進めるためのノウハウの蓄積並びにその遂行能力が問われることになる。

政策レベルを視野に入れながらスポーツを通した開発支援を展開するための知見や人材、システムの育成、構築は、我が国では緒についたばかりである。そのため、今後は現在までに蓄積されてきた知見、経験を踏まえた日本の国際貢献、さらには日本国内の課題解決に向けた取り組みをより充実させる時期を迎えているとも考えられる。その意味で、本事業は体育、スポーツを通した日本の国際貢献並びに日本国内のシステムや環境整備にとっても重要だと考えている。

第2章 第2回オンライン・ワークショップ実施概要

以下に、本年度実施した第2回オンライン・ワークショップ実施概要を記載する。

■日時：2023年3月5日（日）～8日（水）

（3月5日：日本時間）11：00～12：00、12：30～16：30

（3月6～8日：日本時間）10：30～17：30 内昼休み1時間を含む

■開催方式：Zoomを活用したオンライン開催

■実施方式：Zoom Meetingでのオンライン開催

URL：<https://zoom.us/j/95604802128?pwd=eFpoeGgvelovOHETzJybHVWZlljUT09>

■実施目的：本事業向けにASEAN全10か国から体育教師教育および障がい者スポーツ各分野に事業担当者を選任されたカウンターパートを対象とした、

- ①日本人専門家からの講義、アップデートされた情報の提供、
- ②各国におけるアクションプラン実施に係る取り組みや課題の全体共有、
- ③日本人専門家を交えた各国間でのディスカッション、
- ④アクションプラン内容の再検討、改訂、
- ⑤同実施段階における各種能力開発、
- ⑥ASEAN各国及び日本関係者間における持続可能且つ双方向の連携、協働基盤（ハード面）およびパートナーシップ（ソフト面）の強化

■参加者：

1) 各国カウンターパートおよびオブザーバー【23名（実施後、オブザーバー数も加算）】

	国名	氏名	所属	担当
1)	ブルネイ	Mr. Haji Muhammad Azrin HAJI AJI	Ministry of Education	PETE
		Ms. Pengiran Nurhaziqah Azmina binti PENGIRAN SAHMINAN	Ministry of Education	SPD
2)	カンボジア	Ms. HOU Sitthisophealai	National Institute of Physical Education and Sports (NIPES)	PETE
		Mr. YI Sopheaktra	National Paralympic Committee of Cambodia	SPD
3)	インドネシア	Ms. Hilda ILMAWATI	Ministry of Education	PETE
		Ms. Mesa Rahmi STEPHANI	Ministry of Education	SPD
		Mr. Sugito ADI	Ministry of Education	OBS
4)	ラオス	Ms. Chanhthone KHAMKONG	Ministry of Education and Sports	PETE
		Ms. Latsame VITHAYA	Ministry of Education and Sports	SPD
5)	マレーシア	Ms. Solehah MISRON	Ministry of Education	PETE
		Ms. Rafidah binti ABU BAKAR	Ministry of Youth and Sports	SPD
6)	ミャンマー	Mr. Zaw Tun Aung	Ministry of Education	PETE
		公務により欠席 (Mr. Ko Ko Htay)	Ministry of Education	-
		Prof. Than Than Htay	Myanmar Paralympic Sports Federation	SPD
		Mr. Phoye Mg	Ministry of Education	OBS
7)	フィリピン	Prof. Ma. Vanessa G. VINARAO	Ateneo de Manila University	PETE
		Mr. Walter Francis K. TORRES	Philippine Sports Commission	SPD
8)	シンガポール	Mr. Derrick CHEE	Ministry of Culture, Community, and Youth	PETE
		Ms. Kelly FAN	Singapore Disability Sports Council	SPD
9)	タイ	Dr. Chalitpol SUEBMAI	Ministry of Tourism and Sports	PETE
		Dr. Taweechoak PONGDEE	Ministry of Tourism and Sports	SPD
		Ms. Paveena SIRISUTHIKUL	Ministry of Tourism and Sports	OBS
		Ms. Surangkana SURIYAKHAM	Ministry of Tourism and Sports	OBS
10)	ベトナム	公務により欠席 (Mr. NGUYEN Trong Kien)	Ministry of Education and Training	-
		Mr. DANG Van Sau	Vietnam Sports Administration	SPD

※PETE：体育教師教育、SPD：障がい者スポーツ、
OBS：オブザーバー参加者（アシスタントを含む）

2) ASEAN 事務局【2名】

	氏名	役職
1)	Dr. Roger Yap CHAO JR.	Assistant Director/Head of Education, Youth and Sports Division (EYSD)
2)	Ms. Larasati INDRAWAGITA	Senior Officer

3) スポーツ庁国際課【3名】

	氏 名	役 職
1)	原口希	参事官（国際担当）付 専門官（国際担当）
2)	堀江瑠美	参事官（国際担当）付 事業担当
3)	山田純里	参事官（国際担当）付 事業担当補佐

4) 日本側関係者（プロジェクトメンバー）【8名】

	氏 名	所属先
1)	岡出美則（プロジェクトリーダー）	日本体育大学（体育教師教育）
2)	近藤智康	日本体育大学（体育教師教育）
3)	鈴木康介	日本体育大学（体育教師教育）
4)	奥村拓郎	日本体育大学（体育教師教育）
5)	山口拓	筑波大学（体育教師教育）
6)	下窪拓也	新潟医療福祉大学（体育教師教育）
7)	佐藤貴弘	筑波大学（障がい者スポーツ）
8)	永田真一	筑波大学（障がい者スポーツ）

5) 特別研究員【2名】

	氏 名	所属先
1)	計谷サカエ	日本体育大学（事業担当）
2)	宍戸雄	日本体育大学（事業担当）

■資 料：

1)（岡出教授：体育教師教育分野 プレゼン資料）

Workshop on Promoting Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport for People with Disabilities (SPD)-Training Programme-

https://drive.google.com/file/d/1KmKXLCH8WDJrC39rKqyuX8it-04OU6Hf/view?usp=share_link

2)（佐藤教授、永田助教：障がい者スポーツ分野 プレゼン資料①）

Promoting Sport for People with Disabilities (SPD) Report of the Completed Interview Studies

https://docs.google.com/presentation/d/1rhkT4FeGNWwqtpdNcFGrt5Oec5aToIFExYynXiC8CH4/edit?usp=share_link

3)（佐藤教授、永田助教：障がい者スポーツ分野 プレゼン資料②） Research Method

https://docs.google.com/presentation/d/1oG1Yp3212XHAemV5zVYWvukmNRLITEFG0FMbGur4aXU/edit?usp=share_link

4)（第2回オンライン・ワークショップ参加用マニュアル：参考）

https://drive.google.com/file/d/1p09wt9b_Dkd9Y4_OIAc27ucaHvKmRh4v/view?usp=share_link

■第2回オンライン・ワークショップ 実施プログラム

日付		日本時間	プログラム
3月5日 (日)	午前	11:00	オリエンテーション
	午後	12:00	休憩
		12:30	令和4年度各都道府県教育委員会長期研修生等合同発表大会視察 (於：日本体育大学世田谷キャンパス記念講堂、英語同時通訳付)※プログラム詳細は別表ご参照のこと。
		16:30	終了
3月6日 (月)	午前		第2回オンライン・ワークショップ開始
		10:30	1) 開会セレモニー (30分) a) ASEAN事務局 開会のあいさつ b) スポーツ庁 挨拶 c) 主催者 挨拶 d) 写真撮影
		11:00	2) 参加者自己紹介 (1時間)
	午後	12:00	3) 筑波大学 佐藤教授および永田助教 講義 (1) 本事業における障がい者スポーツに係る調査および分析結果について (1時間)
		13:00	休憩
		14:00	4) 筑波大学 佐藤教授および永田助教 講義 (2)+質疑 研究方法について (1時間30分)
		15:30	休憩
		16:00	5) 日本体育大学岡出教授 講義+質疑 本事業で明らかになった ASEAN 各国におけるインクルーシブな体育教師教育の現状と課題の検討方法 (1時間30分)
		17:30	終了
3月7日 (火)	午前	10:30	6) 22年2月策定体育教師教育改善・強化アクションプラン 実施状況報告 (1) 20分+10分×3 (1時間30分)
			(発表) ブルネイ (ファシリテート) カンボジア (発表) 10:30-10:50 (質疑) 10:50-11:00
			(発表) カンボジア (ファシリテート) インドネシア (発表) 11:00-11:20 (質疑) 11:20-11:30
			(発表) インドネシア (ファシリテート) ラオス (発表) 11:30-11:50 (質疑) 11:50-12:00
	午後	12:00	休憩
		13:00	7) 22年2月策定体育教師教育改善・強化アクションプラン 実施状況報告 (2) 20分+10分×3 (1時間30分)
			(発表) ラオス (ファシリテート) マレーシア (発表) 13:00-13:20 (質疑) 13:20-13:30

			(発表) マレーシア (ファシリテート) ミャンマー (発表) 13:30-13:50 (質疑) 13:50-14:00
			(発表) ミャンマー (ファシリテート) フィリピン (発表) 14:00-14:20 (質疑) 14:20-14:30
		14:30	休憩
		15:00	8) 22 年 2 月策定体育教師教育改善・強化アクションプラン 実施状況報告 (3) 20 分+10 分×2 (1 時間)
			(発表) フィリピン (ファシリテート) シンガポール (発表) 15:00-15:20 (質疑) 15:20-15:30
			(発表) シンガポール (ファシリテート) タイ (発表) 15:30-15:50 (質疑) 15:50-16:00
		16:30	休憩
			9) 22 年 2 月策定体育教師教育改善・強化アクションプラン 実施状況報告 (4) 20 分+10 分×2 (1 時間)
			(発表) タイ (ファシリテート) ベトナム (発表) 16:30-16:50 (質疑) 16:50-17:00
			(発表) ベトナム (ファシリテート) ブルネイ (発表) 17:00-17:20 (質疑) 17:20-17:30 (中止) ※ベトナム PETE カウンターパートが公務により不参加のため
			当該の 30 分間は各国カウンターパートと日本人専門家の相談、 ディスカッション機会とした。
		17:30	終了
3 月 8 日 (水)	午 前	10:30	10) 次年度における成果報告を目途とした発表内容の準備、 国ごとの議論 (1 時間 30 分)
	午 後	12:00	休憩
		13:00	11) 各国アクションプラン改訂版の紹介(1) 10 分+10 分×3 (1 時間)
			(発表) ブルネイ (ファシリテート) カンボジア (発表) 13:00-13:10 (質疑) 13:10-13:20
			(発表) カンボジア (ファシリテート) インドネシア (発表) 13:20-13:30 (質疑) 13:30-13:40
			(発表) インドネシア (ファシリテート) ラオス (発表) 13:40-13:50 (質疑) 13:50-14:00
		14:00	休憩
		14:15	12) 各国アクションプラン改訂版の紹介(2) 10 分+10 分×3 (1 時間)
			(発表) ラオス (ファシリテート) マレーシア (発表) 14:15-14:25 (質疑) 14:25-14:35
			(発表) マレーシア (ファシリテート) ミャンマー (発表) 14:35-14:45 (質疑) 14:45-14:55

		(発表) ミャンマー (ファシリテート) フィリピン (発表) 14:55-15:05 (質疑) 15:05-15:15
	15:15	休憩
	15:30	13) 各国アクションプラン改訂版の紹介(3) 10分+10分×4 (1時間20分+10分)
		(発表) フィリピン (ファシリテート) シンガポール (発表) 15:30-15:40 (質疑) 15:40-15:50
		(発表) シンガポール (ファシリテート) タイ (発表) 15:50-16:00 (質疑) 16:00-16:10
		(発表) タイ (ファシリテート) ベトナム (発表) 16:10-16:20 (質疑) 16:20-16:30
		(発表) ベトナム (ファシリテート) ブルネイ (発表) 16:30-16:40 (質疑) 16:40-16:50 (中止) ※ベトナム PETE カウンターパートが公務により不参加のため
		当該の 20 分間は岡出教授より総括および追加的にインクルーシブな体育教師教育に係る講義機会とした。
	16:50	14) 閉会セレモニー a) 主催者 閉会の挨拶：日本体育大学 岡出美則教授 b) 写真撮影
		各国カウンターパートの日本人専門家への個別相談機会および 各国カウンターパート同志の情報交換機会を急遽設けた。
	17:45	終了

■第 2 回オンライン・ワークショップ終了後も継続的に連絡、やり取り、コミュニケーションが図られる旨、参加者間にて改めて確認された。

■各国のプレゼンテーションおよび質疑応答内容については、以下第 3 および 4 章ご参照のこと。

(別表) 3月5日(日) 令和4年度各都道府県教育委員会長期研修生等合同発表大会プログラム

本発表大会は、公益財団法人日本学校体育研究連合会が主催した。ASEAN各国カウンターパートは日本の現職体育教師教育の実態、課題等に触れる機会として、Zoom 上にて英語同時通訳付きの配信映像を視聴した。尚、質疑についてはチャットおよび WhatsApp を通じて行なわれ、回答は岡出教授が発表者より聴取、ASEAN 各国カウンターパートにフィードバックした。

日付		日本時間	終了
3月5日 (水)	午後	12:30	開会挨拶(公) 学校体育研究連合会副会長 岡出美則
		令和4年度各都道府県教育委員会長期研修生等合同発表(1)	
		12:35	1) 運動有能感を高める体づくりの運動遊び ー受容感に着目したお互いを褒める活動を中心としてー 生沼美紗樹
		12:50	2) 運動好きな児童を育てる体育授業の研究 ー振動系を中心とした鉄棒遊びの教材開発ー 山口 剛史
		13:05	3) 自己と仲間のよさと課題を見つけ伝え合う体育学習 ー考えを共有する活動を通してー 白田利江
		13:20	4) 「運動やスポーツとの多様な関わりを実践できる生徒を育てる保健体育科学習指導」ー動きを可視化する活動を通してー 隈本 真
		13:35	休憩
		令和4年度各都道府県教育委員会長期研修生等合同発表(2)	
		13:50	5) 児童生徒の「投げる力」を高めるための体育科学習指導の在り方ーネット型ゲーム(ボールゲーム)の学習を通してー 小川 正博
		14:05	6) 「体育自己効力感を高める保健体育科学習指導」 ールートマップを活用した学習活動を通してー 立石 哲平
		14:20	7) すべての児童が運動の楽しさや喜びを味わうことができる体育授業 ーサッカー教材における、課題解決に向けた児童の主体性を引き出す指導の工夫ー 江口竜太
		14:35	8) ネット型の学習内容と学習過程の系統性の検討 ーキャッチバレーボールにおけるオーバーハンドパスを簡易化した動きを手掛かりにー 木村 昭仁
		14:50	休憩

令和4年度各都道府県教育委員会長期研修生等合同発表(3)	
15:05	9) 「運動遊びを楽しむ子供を育てる低学年体育科学学習指導」 ～思考を促す発問を通して～ 小田 珠樹
15:20	10) ベースボール型「ティーボール」における児童の状況判断力を伸ばす授業の在り方 中間貴之
15:35	11) 児童が主体的に学び、運動の楽しさや喜びを味わえる体育科学学習指導の在り方 －小学校第4学年「ベースボール型ゲーム」における、自己決定の場の工夫とサクセスカードを活用したゲームの実践を通して－ 佐藤 良太
15:50	12) 一人ひとりがプレイ原則を理解し、適切な意思決定ができるハンドボールの授業 －「わかる」と「できる」を結ぶ、授業支援ツールの活用と少人数による学習機会の保障－ 佐藤 香里
16:05	13) 知識の必要性を認識できる体育理論の授業 －体験活動を取り入れた「教えて考えさせる授業」を通して－ 布田 健人
16:20	閉会挨拶 (公) 学校体育研究連合会副会長 菅原健次
16:30	終了

第3章 ASEAN 各国の体育教師教育に係るアクションプラン実施状況（中間報告）

■各国のプレゼンテーション



ASEAN-JAPAN Action on Sports (Phase iii, 2022)

"Promoting Physical Education Teacher Education (PETE)
and Sport For People With Disability (SPD)"

Implementation Progress of the Action Plan Developed in the Last Workshop

(Country) Brunei Darussalam
(Representatives)

Mr. Haji Muhamad Azrin HAJI AJI /

Ms. Pengiran Nurhaziqah Azmina Binti Pengiran SAHMINAN



Outline of your developed action plan

Area of Concern	Objective	Indicator to Measure Outcome	Action	Timeline
1 The development of an action research project for all heads of departments in the national schools of their choice in Physical Education. <i>(if you can measure it, you can improve it)</i>	<ol style="list-style-type: none"> Collection of best practices of What Want Well, Even Better If, in all secondary and primary schools in Brunei relating to Physical Education. An annual plan for Physical Education Teachers in Brunei to adopt best practices in Physical Education. Physical documents of all action research projects to be compiled and shared as teaching resources. Shared during an annual conference of Physical Education for those involved and presentation and feedback and rewards system for having positive impact in schools. 	<ol style="list-style-type: none"> Transformation to a learned society that practices action research programs. Yearly progression and presentation by head of departments in every school. (Primary and Secondary School). Physical booklet produced, compiled and available online as well under OneDrive Physical Education for teachers. 	<ol style="list-style-type: none"> Provide professional development on how to create the action research for all Head of Departments in schools (Primary and Secondary). Continue to monitor the progress of the Head of Departments on action research through OneDrive. To facilitate the compilation of the action research annually. 	2023 - 2028

Outline of your developed action plan

	Area of Concern	Objective	Indicator to Measure Outcome	Action	Timeline
2	The implementation of a standardized Physical Education Resource for all national schools (just like other English, Math & Science subjects have their own respective textbooks)	<ol style="list-style-type: none"> 1. To gather resources and identify best practices that can be used as a reference for Physical Education teachers in Brunei. 2. To have a working committee set up to start collecting the resources from other countries eg. currently referencing neighboring countries. 3. The local authors through the Curriculum Development Department are able to produce booklet / printed materials published in Brunei for PE teachers' references. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. All Physical Education teachers will have access to the same resources that can be used nationwide. 2. A list to be compiled as the main resources / Compile the resources through OneDrive. 3. All teachers can use the textbook as a point of reference in the teaching and learning in Brunei. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Nominate Physical Education teachers as committee members to gather and compile the resources they find as a point of reference to be used in Physical Education classes. 2. Appointment letter to the committee members to give responsibilities to undertake the task at hand. 3. Committee members consult with the Curriculum Development Department in developing a framework for a Physical Education resources book in Brunei to be used by Physical Education teachers. 	2023 - 2028

Outline of your developed action plan

	Area of Concern	Objective	Indicator to Measure Outcome	Action	Timeline
3	To revise the current PE framework and introduce the PE options in the Higher Education Institutions (A-levels, National Diplomas, Higher National Diplomas, Degrees)	<ol style="list-style-type: none"> 1. Develop and establish A-level Physical Education subject / modules via Cambridge or other examination bodies. 2. To provide pathways for post Secondary Education in Physical Education. 3. To introduce the degree program in Physical Education in any local university or other Higher Institutions. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Clear written memo from Ministry of Education to implement A-level Physical Education program in all higher sixth form institutions. 2. Demand from students from schools during roadshows and online surveys. 3. Continuation in degree program after A-level Education in local university. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Propose to the Ministry of Education the advantages of the Physical Education subject. 2. Roadshow to the current secondary students for another pathway to other institutions. 3. Go to the proper channel including vice-chancellor in the local university, Permanent Secretary in Higher Education to propose a PE program due to demand and supply. 	2023 - 2028

• Task: Increasing students with SEN involvement in sports participation

	Area of Concern	Objective	Indicator to Measure Outcome	Action	Timeline
4	Active involvements in sports participations for students with special needs or persons with disabilities in primary schools, secondary schools, national and international levels.	<p>1. Encourage the students with SEN to participate in the sports events at school levels.</p> <p>2. Increase the number of sports competition events for students with SEN at the school levels.</p> <p>3. Increase SPD to represent country for International Para Games.</p>	<p>Yearly Planned the sports events with the Department of Co-curriculum Education (primary and secondary level) and MYCS & NGOs (National/International level).</p> <p>To provide data collection of the number of students with special needs participation in each sport event at school level.</p> <p>2022 - Students with SEN has joined to participate in: Secondary Level: <ul style="list-style-type: none"> Brunei Darussalam Schools Games (Track & Field Event)- Representing cluster </p> <p>2023 - Students with SEN are offered to join below event this year: Primary Level: <ul style="list-style-type: none"> Kids Athletics Festival (Basic RJT Skills) Secondary Level: <ul style="list-style-type: none"> Unified Badminton Unified Bocce School Competition Brunei Darussalam Schools Games (Unified Bocce, Track & Field Event) – Representing cluster </p>	<p>PE teachers & SEN teachers to ensure students with SEN to join PE class in school.</p> <ul style="list-style-type: none"> PE teachers to adapted/modified PE lesson according to their needs. <p>Sports Roadshow/Motivational talks from Para athletes to students/ parents/ guardians.</p> <ul style="list-style-type: none"> To raise support from parents/guardian to encourage students / persons with disabilities to join sports. <p>Active discussion and collaboration with the relevant stakeholders.</p> <ul style="list-style-type: none"> Ministry of Youth, Culture and Sport Ministry of Education (Department of Co-Curriculum Education & Department of Special Education) Paralympics Councils Brunei Darussalam Special Olympics Brunei Darussalam 	2023 - 2028

(下記ページ以降は 2023 年 3 月以前に更新された情報)

Outline of your developed action plan

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Short term	2022	To submit report to Madam Permanent Secretary of Education	Report compiled and written, submitted to SUT office	SUT office received	Memo letter dated 02nd of June	Madam Permanent Secretary of Education
	2023 1st quarter	To inculcate a culture of action research among physical education teachers and coaches	Physical education HODs from each cluster plan an action research to improve in their respective school	School improvement plan is implemented in the physical education development level	Presentation in each subject based committee member meeting	HODs Cluster levels Principals Curriculum department
Medium term	2022 4th quarter	Present working paper	Presentation to SUT office	To gain support by the top management regarding implementation	Appointment to be made	SUT office
	2023 1st quarter	Pilot school to attempt action research component	School selected and CPD given to physical education teachers and coaches	School improvement plan is implemented in the physical education development level	Presentation in each subject based committee member meeting	Principal of school
Long term	2023	Cascade to Director of Schools on Working Paper	To deliver presentation to the Director of School	To gain support and provide timeline of project paper	Appointment to be made	Director of Schools

Outline of your developed action plan

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Short term	2022	Encouraging the students with SEN to participate in the sports events at school levels.	<ul style="list-style-type: none"> PE teachers & SEN teachers to ensure students with SEN to join PE class in school – to prepare them for competition. 	Students with SEN has joined to participate in: Secondary Level: <ul style="list-style-type: none"> Brunei Darussalam Schools Games (Track & Field Event)- Representing cluster Data collection : 65 students has participated in 4 track & field event.	Discussion between Department of Co-curriculum Education & Department of Special Education has been done.	<ul style="list-style-type: none"> Department of Co-curriculum Education Department of Special Education Special Olympics Brunei Darussalam
Medium term	2023-2025	Increase the number of sports competition events for students with SEN at the school levels.		Students with SEN are offered to join below event this year: Primary Level: <ul style="list-style-type: none"> Kids Athletics Festival (Basic RJT Skills) Secondary Level: <ul style="list-style-type: none"> Unified Bocce School Competition Brunei Darussalam Schools Games (Unified Bocce, Track & Field Event) – Representing cluster 		
Long term	2023-2027	Increase SPD to represent country for International Para Games.	<ul style="list-style-type: none"> Scouting from grassroot level Roadshow/Motivational talks from Para athletes to students/ parents/ guardians 	To raise support from parents/guardian to encourage students / persons with disabilities to join sports.	PCBD has conducted roadshow at school level last year.	<ul style="list-style-type: none"> Ministry of Youth, Culture and Sports Paralympics Council Brunei Darussalam Relevant NGOs

1-1 : Summary of the Action Plan Developed

(Please summarize briefly here the main points stipulated in your action plan.)

1. Development of an action research project
2. To choose a pilot school to implement actionable items first
3. Implementation of a standardised Physical Education Resource
4. To revise the current PE framework
5. To introduce PE options in Higher Education Institutions
6. To provide opportunity on an academic level and a sports level
7. To increase students with special needs/persons with disabilities in the sports participations in all levels.

1-2 : Implementation Progress

(Please describe here the implementation progress at this moment of your action plan.)

The report has been submitted to the Permanent Secretary's office for further action dated 02nd of June

Awaiting callback on the actionable items needed

Pilot school chosen to spearhead initiative

Collaboration between Co-curriculum Education Department and ministry of sports and ministry of education regarding CPD initiated

1-3 : Stakeholders in Your Country

(Please describe the stakeholders who will possibly be involved in the process of implementation of your action plan .)

SUT Core Education

SUT Higher Education

Director of Schools

Principals

SBC Physical Education

Physical Education teachers

Students

Ministry of Youth, Culture and Sports

Department of Co-Curriculum Education

Department of Special Education

1-4 : Obstacles and Issues Related to Implementation

(Please describe the obstacles and the problems which were or could be detected in the process.)

Covid

Prioritisation of Project

Cooperation from stakeholders

Bureaucratic process of policy implementation

1-5 : Resources, Advantages & Favorable Factors

(Please describe the resources available and the favourable factors you can count on for the implementation here.)

Networking with neighbouring ASEAN counterparts on best practices that has been done in the respective country

Cooperation from stakeholders that see this as an opportunity to facilitate change to raise standards

Presentation Template



ASEAN-JAPAN Action on Sports (Phase iii, 2022)

“Promoting Physical Education Teacher Education (PETE)
and Sport For People With Disability (SPD)”

Implementation Progress of the Action Plan Developed in the Last Workshop

(Country) Cambodia
(Representatives)

Ms. HOU Sitthisophealai/ Mr. YI Sopeaktra



Outline of Your Developed Action Plan

• Task:

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Short term						
Medium term	2022 - 2025	1. To develop textbooks for B.A. in Physical Education Program at NIPES 2. To create a 2-year Physical Education teacher education program as a credit system by using the current B.A. in Physical Education Program at NIPES (Suggestion from Prof. Taku from the PETE and SPD Training Program on the 7 th of March 2023)	For objective 1: - Collect necessary information for textbooks compilation - Choose the most motivated teachers to develop textbooks by subjects - organize teams in NIPES to compile textbooks by subjects in cooperation with NPO/NGO Hearts of Gold For objective 2: - Draft the Curriculum Framework for 2-year/Diploma Program in Physical Education Teacher Education by using the current B.A. in PE Program and align with the National Standards of Accreditation of Committee of Cambodia	1. Textbooks for B.A. in Physical Education Program 2. Curriculum Framework, Syllabus, and updated textbooks of the current 2-year Physical Education Teacher Education Program using Credit System in NIPES		NGO/NPO Hearts of Gold
Long term						

Outline of Your Developed Action Plan

• Task:

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Short term						
Medium term	2022 - 2025	2. To create a 2-year Physical Education teacher education program as a credit system by using the current B.A. in Physical Education Program at NIPES	<ul style="list-style-type: none"> - Held several meetings with NIPES' management team, meetings with NIPES teacher trainers to discuss about the draft of the Curriculum Framework for 2-year Diploma Program - Submit the draft of the Curriculum Framework for 2-year/Diploma Program to NPO/NGO Hearts of Golds to request for feedback from experts - organize 3 consultative workshops to discuss and finalize 2-year curriculum framework and credit-transfer system in cooperating with NPO/NGO Hearts of Gold - submit the curriculum framework to MoEYS for official approval 	2. Curriculum Framework, Syllabus, and updated textbooks of the current 2-year Physical Education Teacher Education Program using Credit System in NIPES		NGO/NPO Hearts of Gold
Long term						

Outline of Your Developed Action Plan

• Task:

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Long term	2022 - 2028	1. To develop human resources at NIPES	<ul style="list-style-type: none"> - Conduct three types of assessments: class monitoring, self-assessment, and assessment by the students at least once per semester for both 2-year and B.A. in PE Teacher Education Program - Provide as many opportunities as possible to NIPES staff, especially teacher trainers to attend training courses, to continue their study, or to attend in-service training course - Provide more opportunities to all teacher trainers to discuss and exchange each other's teaching experience and problems and to find possible solutions - Ask the staff's feedback on their feeling or difficulties and discuss possible solutions - Ask the staff to complete the questionnaires after each workshop at NIPES. - Classroom monitoring in lower and upper secondary schools 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Teacher trainers at NIPES have good ability in teaching in both 2-year and Bachelor Program in Physical Education Teacher Education through utilizing ICT 2. Good feedback from the students in NIPES 3. Good feedback from the PE teachers in the in-service training program 4. Students of NIPES become good quality and professional teachers of Physical Education to teach students including students with disabilities in lower and upper secondary schools 		<ul style="list-style-type: none"> - MoEYS - PoEs - Lower and Upper Secondary Schools - NGO/NPO Hearts of Gold

Outline of Your Developed Action Plan

• Task:

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Long term	2022 - 2026	To develop a monitoring program to improve the quality of Physical Education Teacher Education Program in NIPES	<ul style="list-style-type: none"> - Develop three types of assessment system: class monitoring, self-assessment, and assessment by the students at least once per semester for both 2-year and B.A in PE Teacher Education Program - Conduct three types of assessment system - Collect the results of the three types of assessment and develop the summative assessment of their teaching - analyze and discuss the result of the assessment - Give feedback to the teachers after the assessment and ask for teachers' self-reflection - Present the assessment result in the assessment meeting 	<ol style="list-style-type: none"> 1. High numbers of teacher trainers at NIPES attain higher scores in the assessment sheet through classroom observation 2. High score results in students' learning 		NGO/NPO Hearts of Gold

Outline of Your Developed Action Plan

• Task:

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Long Term	2022 - 2027	To support the graduate students in in-service training programs	<ul style="list-style-type: none"> - Do classroom observation in PE subject in their teaching in schools after the training program - Do physical fitness test and survey for the students at the beginning of the school year and at the end of the school year and compare the result. - Carry out extra classes to upgrade the degree of graduate students to bachelor's degrees 	<ol style="list-style-type: none"> 1. High numbers of graduate students attain higher scores in the assessment sheet through classroom observation 2. High numbers of children in school involving in PE activities in schools and improve better health both mentally and physically 		<ul style="list-style-type: none"> - MoEYS - PoEs - Lower and Upper Secondary Schools - NGO/NPO Hearts of Gold (in JICA Project)

1-1 : Summary of the Action Plan Developed

(Please summarize briefly here the main points stipulated in your action plan.)

1. Developing textbooks for B.A in Physical Education Program at NIPES
2. Assessing and revising the current 2-year physical education teacher education program in NIPES into a credit system
3. Developing human resources in NIPES
4. Developing a monitoring program to improve the quality of Physical Education Teacher Education Program in NIPES
5. Supporting the graduate students in in-service training program

1-2 : Implementation Progress

(Please describe here the implementation progress at this moment of your action plan.)

- **1st prioritized task (Objective 1):** through cooperation and support from NGO/NPO Hearts of Gold, we have developed a textbook for a subject in BA in PE Program named, 'Pedagogy and Methodology of Teaching Physical Education.' In this activity, a number of workshops were held at NIPES in which 13 members in the textbook development committees were involved. They were trained during the workshops on the procedure of writing a textbook based on Cambodian context. They also have to read each chapter of the lessons translated from a core reference book called 'Instructional Model for Physical Education' mainly used for developing this subject's textbook and have to discuss and reflect to Cambodian context. The committee members are teacher trainers who teach different subjects in BA Program. One of them is teaching this subject, another is the syllabus writer of this subject, and others are teaching different subjects. So, through involving in the first textbook development process, they will be able to use their knowledge and skill to develop the textbook of the subjects they have been teaching for the next years.
- **1st prioritized task (Objective 2):** NIPES team has been comparing the subjects taught in 2-year program with the subjects taught in B.A. in PE Program. However, due to the time constraint, there has not been any activities taken on the assessment result and on how we could update the 2-year training program to a better one yet.
- **2nd prioritized task:** 4 management staff, 3 teacher trainers, 1 deputy chief in charge of monitoring the B.A Program were sent to attend a short training course at NIPPON Sports Science University in Japan in the project of developing NIPES to be a university, under the support by NPO/NGO Hearts of Gold. They also shared their knowledge and experience on what they had acquired from this training course through the workshops held at NIPES with other teacher trainers under support by NPO/NGO Hearts of Gold. In addition, based on request from NIPES, 3 PE teachers who graduated from NIPES and just finished their Bachelor's Degree from Vietnam were given a scholarship by MoEYS to pursue their Master's Degree in the major related to Physical Education and Sports at Bach Ninh University in Vietnam from 2022 till 2024. In 2022, we held a 5 day in-service training course on 'Research Methodology' to all teacher trainers of NIPES who have the 2-year training program certificate of Physical Education Teacher. Through a project with NPO/NGO Hearts of Gold, NIPES signed 3 MOUs with three universities namely: University of Nigeria Semarang (Indonesia), Sarinnakharinwirot University (Thailand), and Kasersat University of (Thailand).

1-2 : Implementation Progress (Cont')

- **3rd prioritized task:** an observation sheet has been developed under discussion between NIPES and NPO/NGO Hearts of Gold and has been used during classroom observation in B.A Program. However, we have not reviewed this observation sheet based on the result of classroom observation yet. The schedule of doing classroom observation has been set up once per semester for B.A Program, under cooperation with NPO/NGO Hearts of Gold, but it has not been implemented in the 2-year training program yet. In support of NPO/NGO Hearts of Gold, we conducted assessment workshop and PE Instructor Training workshop in end of 2022 and early 2023 in which Prof. Dr. Okada Yoshinori and Prof. Yamaguchi Taku went to train the participants about the assessment and development of assessment tools. The teachers and the management teams understand better about the assessment and the importance of doing assessment and evaluation of the Physical Education Teacher Education Program in NIPES. Through the group discussion, we developed the assessment tools for the teachers' self-assessment survey and the students' survey for the B.A course based on the knowledge acquired from professors in the workshop
- **4th prioritized task:** due to the cut down of budget by the Ministry of Economic and Finance since Covid-19 pandemic in 2020, NIPES could not afford to carry out in-service training program to support graduate students on new PE teaching methodologies. What we could do in 2022 is just to do classroom observation in PE subject in their teaching in some schools in a several provinces this year and give them feedback on their teaching. The physical fitness test to the students at the beginning and at the end of the school year are not done by NIPES.

This year, we held a meeting with all management staff of NIPES to review this action plan. So, there is small updates in the content of this action plan.

1-3 : Stakeholders in Your Country

(Please describe the stakeholders who will possibly be involved in the process of implementation of your action plan .)

-To make our action plan implemented well, we would like to request for NPO/NGO Hearts of Gold to continue to support NIPES in carrying out all the actions in the four prioritized tasks in our action plan

- Other related parties: Ministry of Ed

1-4 : Obstacles and Issues Related to Implementation

(Please describe the obstacles and the problems which were or could be detected in the process.)

- Lack of human resources with high capacity to assess and review the 2-year training program
- Most teacher trainers have families. So, it's quite difficult to send them abroad to continue their degree.
- Even though the teacher trainers have passion to continue their degree abroad, but because of their low ability in English language, it's quite difficult for them to apply to continue to study in other countries.
- NIPES has no budget to support their study either in Bachelor or Master Degree.
- To get all NIPES staff to have higher motivation to work for the development of NIPES during this reform is quite difficult. Many of them are used to their old habits of work in the past.
- Some of them do not work on well with each other. They have different ideas and a sense of group solidarity among all of them still remain low due to their personal problems with each other in the past. To get them to have the same idea as one, to cooperate with each other very well honestly is still not an easy one.

1-5 : Resources, Advantages & Favorable Factors

(Please describe the resources available and the favourable factors you can count on for the implementation here.)

- **Try to request for budget from MoEYS and Ministry of Economic and Finance to implement some activities such as textbook development and supporting the graduate students**
- **Under MOU between MoEYS and NPO Hearts of Gold, NIPES could cooperate with NPO Hearts of Gold to implement this action plan**
- **Use the current B.A Curriculum Framework as a base for reviewing and revising the current 2-year Physical Education teacher education program**
- **Try to find scholarships to send the teachers to learn English in Cambodia**
- **Cooperate with Teacher Training Department in sending teachers who are majored in Education Studies, Khmer Language, English language, and ICT to attend in-service training program.**

Questions and Consultation

(Please describe your questions and the matters to be consulted with the Japanese experts.)

- **How could we motivate the management staff and teachers to work well together to implement this action plan?**
- **How could we bring good solidarity among all staff?**
- **How could we change their mindset from working for individual profit only to working for the profit of NIPES?**
- **How could we successful in reaching all the objectives in the action plans while the staff capacity is very limited and sending them abroad is quite hard due to their families circumstances and their language ability.**

Feedback, Opinions, Suggestions from Project Members.



ASEAN-JAPAN Action on Sports (Phase III, 2022)

“Promoting Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport For People With Disability (SPD)”

Implementation Progress of the Action Plan Developed in the Last Workshop

(Country) Indonesia
(Representatives)



Ms. Hilda ILMAWATI/ Ms. Mesa Rahmi STEPHANI

Outline of Your Developed Action Plan

• Task 1 : PETE FOR DISABILITY

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Short term	started in 2023	Improving teachers' ability in teaching students with disabilities and providing human resources.	a. Conduct FGD with stakeholder, community (volunteer), society (parents), people with disability, researcher (disability), teacher.	Recommendation and legal academic document.	Legal academic document that was accepted by stakeholders.	Ministry of Education and Culture, Ministry of Youth and Sports affairs, and Ministry of Social affairs, and Ministry of Women Empowerment and Child Protection
Medium term	started by 2024 and 2025		a. In-service program. Advocating “Balai Besar Guru Penggerak” as part of GTK to establish an in-service program to give basic knowledge of Teaching PE to disabled students b. Advocating universities in Indonesia to open specific majors to prepare Physical education for disabled students.	a. Specific major for Physical education for disability in University. b. Recruitment for Physical education teachers for disability students.	a. A legal agreement between governments and universities to open specific majors for physical education for disability. b. A legal document of the requirements of a Physical education teacher.	Ministry of education and culture of Republic Indonesia National Civil Service Agency

Outline of Your Developed Action Plan

• Task 1: PETE FOR DISABILITY

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Long term	started by 2030	Improving teachers' ability in teaching students with disabilities and providing human resources.	Advocating the National Civil Service Agency to open recruitment for PE teachers who teach disability students.	An improvement for in-service programs.	Competencies score of physical education teacher.	Ministry of education and culture of Republic Indonesia National Civil Service Agency

Outline of Your Developed Action Plan

• Task 2: OPTIMIZING QUALITY OF PHYSICAL EDUCATION TEACHER NON DISABLED STUDENTS.

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Short term	started in 2023	a . Strengthen Physical Education teacher quality both in pedagogical, physical literacy, and academic domain in PE, Sports, and Health. b. Establish the national framework for integrating Physical literacy in the national curriculum.	a. Conduct FGD with stakeholder, community (volunteer), society (parents), researcher, teacher. b. Legal academic document that was accepted by stakeholders in the Ministry of Education and Culture, Ministry of Youth and Sports affairs, and Ministry of Social affairs, and Ministry of Women Empowerment and Child Protection.	Recommendation and legal academic document	Legal academic document that was accepted by stakeholders.	Ministry of Education and Culture, Ministry of Youth and Sports affairs.
Medium term	started in 2025		Advocating Indonesia Ministry of Education and Culture to establish a program that can optimize the role of the professional learning community/In service as the closest and easiest access to improve PE Teacher quality.	Professional Learning Community (PLC).	Committee for quality assurance and monitoring of PLC	Ministry of education and culture of Republic Indonesia

Outline of Your Developed Action Plan

- Task 2: OPTIMIZING QUALITY OF PHYSICAL EDUCATION TEACHER NON DISABLED STUDENTS.

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Long term	started by 2030	Improving teachers' ability in teaching students with disabilities and providing human resources.	Advocating Indonesia ministry of education and culture, Indonesia Ministry of Youth and Sports Affairs to establish a committee that organizes Physical Literacy	Physical Literacy integrated into the national curriculum	Committee that organizes the Physical Literacy Program in Indonesia	Ministry of education and culture of Republic Indonesia

Outline of Your Developed Action Plan

- TASK 3: STANDARDIZED SPORTS EQUIPMENT AND FACILITIES.

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Short term	started by 2025	Ensure that standardized sports and/or learning equipment and facilities can	Conduct a survey for the sport equipment supply in all public and private schools.	Data and recommendation of sports equipment facilities supply	Ratio of sports and modified equipment is one child to one equipment.	Ministry of education and culture of Republic Indonesia
Long term	started by 2035	optimize teaching quality for students with disability and non-disability	Advocating and showing evidence to stakeholders about how critical the impact of sports facilities is towards teaching and learning quality. The institution involved in this action is Indonesia ministry of education and culture, Indonesia Ministry of Youth and Sports Affairs.	Standard sports equipment are available for all stages of schools and Modified equipment for physical education in primary school and students with special needs.	Open space at schools is equal to the amount of students.	Ministry of education and culture of Republic Indonesia

Outline of Your Developed Action Plan

TASK 4: TEACHING RESOURCES

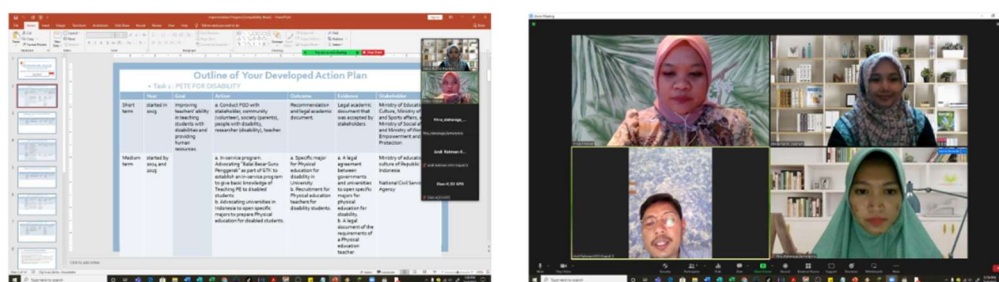
	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Long term	started by 2030	Establish an official platform that provides resources of teaching guidelines and tutorials. This is useful for all teacher programs both in pre-service and in-service.	Advocating stakeholders to make a committee from ministry of education and culture, and ministry of communication and information to provide the resources. * Committee : IT Developer, researchers on PE, PE practitioners.	High-quality digital resources of books, guidelines, or tutorials.	a. Web based resources for Physical Education Teachers b. Amount of teachers have joined as member and subscribers c. Web visitors average per day and per month	Ministry of education and culture of Republic Indonesia

1-1 : Summary of the Action Plan Developed

(Please summarize briefly here the main points stipulated in your action plan.)

1. We are focusing on short-term program delivery in 2022-2023.
2. Conduct a discussion with Professor Okade on how to prioritize the programs of the four programs of the Indonesian action plan.
3. Conduct initial communication with parties who will be involved in the implementation of the program, will work together with the Baai Guru Penggerak for Banten and school representatives, trainers, and practices in physical education for disabilities.
4. Contact the ASEAN Secretariat in Indonesia to report on the status of the program in its early stages.
5. If the communication process with several institutions is successful, then we will start implementing the program to the target program.

Meeting with Asean Secretariat and Ministry of Youth and Affairs



1-2 : Implementation Progress

(Please describe here the implementation progress at this moment of your action plan.)

Ms. Mesa and I prepare an advocacy plan for stakeholders to implement a short-term action plan. We agreed to start the implementation in collaboration with **Balai Besar Guru Penggerak Banten (in-service teacher)** (near Jakarta) and West Java and Universitas Pendidikan Indonesia (**pre-service teacher**)

1-2 : Implementation Progress (updated Information)

A team from Indonesia conducted advocacy on September 28, 2022, with the head of "Balai guru penggerak" as part of the Ministry of Education, Dr. Sugito Adi, related to the implementation of the in-service programs for the short-term plan in the PETE component.

Some points that we agree on are:

1. The Balai Guru Penggerak will facilitate the organizing committee, participants will be representing all regions in Indonesia and publication.
2. The implementation of the program will be conducted through video conferencing and podcasts.
3. This activity is possible to be implemented between October and November of 2022.

1-3 : Stakeholders in Your Country

(Please describe the stakeholders who will possibly be involved in the process of implementation of your action plan .)

1. Balai besai guru penggerak as part of Ministry of education and culture of Republic Indonesia.
2. Public University as part of Ministry of education and culture of Republic Indonesia.
3. National Paralympic Committee Indonesia as part of Ministry of Youth and Sports affairs for SPD.

1-4 : Obstacles, Issues and potential Advantages Related to Implementation

(Please describe the obstacles and the problems which were or could be detected in the process.)

- In Indonesia, there has been a **transformation of institutions as** a result of the implementation of the MERDEKA curriculum program of the Ministry of Education in April 2022. As a result, this new institution has only been in operation for the **past few months**. However, the role of this institution is to **enhance** the skills of educators in Indonesia. Therefore, this is **consistent** with the action plan we developed.
- National Sports Grand Design/ Desain Besar Olahraga Nasional (DBON) which was launched by the Ministry of Youth and Sports affairs have a tremendous impact on funding and sports programs priority in Indonesia

1-4 : Obstacles, Issues and potential Advantages Related to Implementation (updated information)

(Please describe the obstacles and the problems which were or could be detected in the process.)

A team from Indonesia conducted advocacy on September 28, 2022, with the head of "Balai guru penggerak" as part of the Ministry of Education, Dr. Sugito Adi, related to the implementation of the in-service programs for the short-term plan in the PETE component.

The obstacle faced is not being able to provide facilities that have implications for the fulfillment of costs in this activity. The reason is that this activity has not been included in the calculation of the ministerial budget for 2022. However, this activity is still possible to be carried out.

1-5 : Resources, Advantages & Favorable Factors

(Please describe the resources available and the favourable factors you can count on for the implementation here.)

Questions and Consultation

- (Please describe your questions and the matters to be consulted with the Japanese experts.)

1. Do observers have permission to participate in the workshop?
2. How to prioritize the programs of the four programs of the Indonesian action plan.? (in order to make the goal more feasible).
3. Can we invite professors from Japan to be the keynote speaker in the implementation of our program? For instance, in the online seminar as the implementation of in-service programs for teachers in Indonesia.

Questions and Consultation

Feedback, Opinions, Suggestions from Project Members.

We would like to thank you to The committee for the direction of the workshop. We are also delighted to join this workshop. We hope this project reaches success.



ASEAN-JAPAN Action on Sports (Phase iii, 2022)

"Promoting Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport For People With Disability (SPD)"

Implementation Progress of the Action Plan Developed in the Last Workshop

(Country) Lao PDR
(Representatives)



Ms. Chanhthone KHAMKONG/ Ms. Latsame VITHAYA

Outline of Your Developed Action Plan

• Task:

	Year		Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Short term	2021-2022		Support for learning and teaching on Physical Education and Teacher	-Organizing some trainings on the using of ICT tool for officers who teaching on Physical Education within Physical Education College - Completing the Diploma and Bachelor degree courses on Physical Education Teacher	-Teachers have capability on organizing the online learning and teaching on Physical Education -The number of Physical Education Teachers across the country increase 97 teachers in 2021-2022	Agreement and Action Plan	- Ministry of Education and sports. - Public Sports -Department of sport for All, Physical and Art Education, -Physical Education College
Medium term	2022-2023		The curriculum content for primary school update	- Organizing for meeting to <u>discussion</u> for update the curriculum	The context of physical course for primary school is improved with a more consistency and comprehensive and appropriate with the current society.		The research institute for Education Sciences
	2023-2024		Support for learning and teaching on Physical Education and Teacher	- Open the curriculum for summer for 4 sommers	- The teachers who teach PETE from Diploma to update the knowledge to Bachelor in Physical Education <u>Collage</u>		-Department of sport for All, Physical and Art Education,

Outline of Your Developed Action Plan

• Task:

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Long term	2021-2025	<p>1. A number of people practicing exercise and playing sport-gymnastics increase compare to the total population; a number of sporting officers and athletes in all level meet the standard of sub-regional, regional and international level (4%)</p> <p>2. A number of administrative officers, technicians, referees, trainers and athletes are updated both quality and quantity.</p> <p>3. Learning and teaching on Physical Education and sport playing for primary school increase to 70%, Secondary School rise to 80% and College increase to 55%</p>	<p>1-2. Public Sports Department, Department of Physical and Art Education, local education sectors and concerned sectors (organization of activity for exerciser, promoting about sports health, trainer about sports word and sports coaches)</p> <p>3. Research and Science Institute organize meeting for researching and improving some context and detail to be more consistency and appropriate to the current condition</p>	<p>1. Lao population are healthy both physical and mind. Sporting officers, athletes and professional athletes meet the standard level contributed to raise up the nation's role in international and creating the great pride for Lao population</p> <p>2. A number of managers, technicians, referees, trainers and athletes increase to 588 people in 3 types of sports, 5 people for international level for public sport, 294 people for 2 type of sports and 5 people for international Paralympic</p> <p>3. Learning and teaching on Physical Education are widely practiced. A number of physical education officer increase. A number of student increasingly participate sport competitions in domestic, region and international</p>	<p>1. Notice, Agreement on responsible committee and action plan</p> <p>2. Notice, Agreement on responsible committee and action plan</p> <p>3. Request letter for meeting on course improvement, agreement and concerned documents</p>	<p>-Ministry of Education and sports</p> <p>- Public Sports Department,</p> <p>- Department of Sports for all, Physical and Art Education,</p> <p>- local education sector and Lao population</p> <p>- Ministry of Education and Sport, Center for Education and Sport Science Research, BQUA Project</p>

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Long term	2021-2025	<p>4. Upgrading administrators, physiotherapists, referees, coaches sports with disabled at the provincial capital and international levels.</p> <p>5. Promote disabled people in Laos to exercise, playing sports and participate in sports competitions for disabled people in the nationwide and at the regional-international level 5% per 5 years..</p> <p>6. Create and upgrade legislation under the disabled sports Law and update the handbook disabled sports.</p> <p>7. Establish sports clubs for disabled, village level sports units, district, provincial and capital sports clubs.</p> <p>8. Organize sports competitions for the disabled nationwide and participate in the Asean para games, paralympic games and Qualification Event.</p> <p>9. Collection data-statistics of sports for people with disabilities nationwide,</p>	<p>Sports Development plan for the disabled</p> <p>-Strengthen sports for the disabled in all provinces.</p> <p>- Follow up and encourage the organization of sports activities for the disabled 2023</p> <p>- Revise the handbook of sports regulations for disabled 2024.</p> <p>- Create and update legislation under the law on sports for disabled 2024</p> <p>- Build strength for referees, coach sports disabled 2025</p> <p>- Build strength for physiotherapists sports disabled 2025</p> <p>Plan of competition 2023 – 2025</p> <p>-Participate in Xiengkhuang para games competition across the country 3th 2023.</p> <p>- Participate in the Asean para games competition 12th 2023 Cambodia.</p> <p>- Participate in the Asian para games competition 4th 2023 hangzhou, China</p> <p>- Participate in the paralympic games competition 17th 2024 France</p> <p>- Participate in the Asean para games competition 13th 2025 Thailand</p>	<p>1) The establishment of sports units at the village level, sports clubs for the disabled at the district and provincial capital levels.</p> <p>2) Promote disabled people to exercise, play sports and participate in international disabled sports competitions to celebrate various important national and annual days.</p> <p>3) The administration of sports for the disabled should be strengthened from the center down to the local areas.</p> <p>4) Organize competitions and participate in sports competitions for disabled persons.</p>		

1-1 : Summary of the Action Plan Developed

(Please summarize briefly here the main points stipulated in your action plan.)

1. All type of public both sex and aging practice normorly exersicing and sport playing reach to 39% or increase 7.3%;
2. Upgrading manager and administrative officers, referee, sport and public athelic trainers of Capital/provinces in 2021-2022 increase to 1.154 people (366 female), 6 type of sports, lower than the target 1.492 people (Targeted 2.646 people);
3. Support disable people practice exersicing, playing sport and participating the annually paralumpic competition. Organizing the paralumpic competition in order to cerebrate the important National and International days (National Disabled People Day, there are 1.336 people (504 female) or 1% of total disabled people over the country in 2021-2022 participate the National and International Disabled People Day.

1-2 : Implementation Progress

(Please describe here the implementation progress at this moment of your action plan.)

1. Support the implementation of public sport and athletic by establishment of village, district, Province and Capital sport clubs over 2021-2025 whereas firstly prioritizing on the growth rate of village sport club, secondly focusing on district and provincial sport club. In 2021-2022 there are 118 village sport club and 118 district sport clubs
2. Training for physical education teacher of secondary school that lacking of physical education teacher with the proportion of 50% of total number of secondary school across the country in order to support all level of school to have capability on the learning and teaching of 3 types and 5 principles of education systems

1-3 : Stakeholders in Your Country

(Please describe the stakeholders who will possibly be involved in the process of implementation of your action plan .)

There are some budget and technical support for Physical education work, capacity building for teacher and sport for disabled people namely a budget from government, Ministry of Education and Sports, Public Sport Department, Department of Physical and Art Education, concerned sectors, Vietnam, KOICA, TICA, ADDP and JICA

1-4 : Obstacles and Issues Related to Implementation

(Please describe the obstacles and the problems which were or could be detected in the process.)

1. the 15th Goal of Education and Sport Sector under the agreement of the National Assembly on support public in all SEX and aging to participate in practicing exercise and playing sport is to reach 34% of total population in 2021. The actual practice, however, reach 33.82%, lower than the target 0.18% due to the outbreah of COVID-19 in several communities, provinces.
2. The improvement of infrastructure, building, learning and teaching instruments and other facilities could not supply to the demand due to the limitation of budget.
3. There is a limitation of mobilizing, advocacing, participating of public on sport and athlelic, physical education, art and sport education in school of community and local. The assignment of capacble officers in these work is inconsistency. Those are the reasons and main obstacles in improving both quality and quantity of these works
4. Lacking of investment and budget allocation for development of public sport and athlelic, physical education, art and sport education of school from Central to local levels
5. Student enrolment rate for Physical Education College and Art Education in 2020-2021 and 2021-2022 highly decreased, the student enrollment was lower than availability quota, physical education diploma course could not opened, less popularity for this career, lacking of government quota for formally officer. Besides, the physical education course of 3 stakeholders is semilarly namely: Physical Education College, Physical Sport Institute and Physical Sport Science Faculty of National University of Laos.
6. Budget allocation for public sport and athlelic implementation of Sport and Education Cabinet of District, Province and Capital was not sufficient to the plan that causing the work could not be operated as good enough

1-4 : Obstacles and Issues Related to Implementation

1) what PE teacher educators in Lao PDR are doing at the teacher education colleges or at universities,

(Answer①)→Physical education teachers in Lao PDR has a role on conducting the learning- teaching in which a physical education teacher in colleges and university has hours of teaching not more than 14 hours in a week. The teachers in primary or secondary school, however, has not more than 16 hours of teaching in a week. Besides of teaching mandate, some teachers works on the administration, technical work and conducting other activities such as being a referee for many sports within the country and international as well as conducting a research and analysis on the learning and teaching.

2) how the PE teacher educators in Lao PDR are working, or how they seek to improve their teaching capacity in PETE, and

(Answer②)→Physical education teachers in Lao PDR conduct their duty on learning-teaching on physical subject based on the physical curriculum defined by Ministry of Education and Sport, leading to participate in the sport and physical education activities both domestic and international level and contributing on the sport work across society. In addition, physical education teachers are also learning and improving their own skill such as upgrading education qualification for Bachelor, Master and Ph.D degree within and outside the countries, participating in short, medium and long term trainings and workshops in order to expand their own knowledge and skill for improvement the efficient learning and teaching.

3) what are the reasons why PETE teachers are situated in such conditions.

(Answer③)→ 1) Many physical education teacher has not yet become government officers due to the limitation of quota

2) Lacking on physical education teacher in many school

3) Decreasing a number of physical education students (decreasing 80% in comparing with previous years)

4) Limitation budget for supporting physical education teachers or cancellation of many physical education activities

4) what sort of ideas/strategies your government/ministry has for solutions to the problems, and the reasons why, based on your expertise.

(Answer④)→: in order to mitigate the above issues, Ministry of Education and Sport defined some policies as following:

1) Separating volunteer teachers into 3 categories: ❶ waiting list and continuing on class teaching, ❷ encouraging teachers to upgrading their education qualification

through providing small fund or discharge of tuition fee, ❸ encouraging to further improve their skill in vocational studying and labor skill improvement based on their ability.

2) For some local area or schools in remote rural area that lacking of physical education teachers, the Ministry assign other field teachers with sport skill and talent to teach supplementary on the physical education subject

3) Establishing and strengthening network between public and private schools in accepting physical education students and improving physical education curriculum for consistency using in the current situation.

4) Allocating budget to the important activities particularly on human development for instance curriculum development, training on teaching and analyzing for strengthening quality of education

1-5 : Resources, Advantages & Favorable Factors

(Please describe the resources available and the favourable factors you can count on for the implementation here.)

Physical Education work, capacity building for teacher and sport for disabled people are depended on Ministry of Education and Sport and paid attention by government. Physical Education subject is one of the national learning course and there are available officers for this assignment. It is showed that the concerned officers are promoted to be the referee of several sports, participating in training course for skill and knowledge upgrading within domestic and international level.

Questions and Consultation

1. Development personal of administrative personnel, physiotherapists, referees, coaches and athletes with disabilities at the national and international level.
2. There is also a lack of training equipment for athletes with disabilities Solutions: Propose international organizations for assistance in upgrading short-term, medium-term and long-term for administrative personnel, physiotherapists, referees, coaches and athletes with disabilities for the national federations of sports disabled sports.
 - Responsive sports equipment for the disabled
3. development skill of teaching and leaning and , referees, coaches,
 - upgrading short-term, medium-term and long-term for gymnastic, football, volleyball and other about teaching and learning physical



ASEAN-JAPAN Action on Sports (Phase iii, 2022)

“Promoting Physical Education Teacher Education (PETE)
and Sport For People With Disability (SPD)”

Implementation Progress of the Action Plan Developed in the Last Workshop

(Country) Malaysia
(Representatives)

Ms. Solehah MISRON/ Ms. Rafidah ABU BAKAR



Outline of Your Developed Action Plan

• Task: Strengthening PETE in Inclusive Education Program

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Short term	2022-2023	Increase knowledge and skills on special education over PETE	Developing a module on special education in the Inclusive Education Program (IEP).	1 Module	A module of special education in the Inclusive Education Program	<ul style="list-style-type: none"> • MOE • State Education Department • District Education Office • School
Medium term	2023-2024		Developing a module on teaching PE for pupils with SEN who need maximum support in Inclusive Education Program	1 Module	A module on teaching PE for pupils with SEN who need maximum support in Inclusive Education Program	

Outline of Your Developed Action Plan

• Task: Strengthening PETE in Inclusive Education Program

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Long Term	2024-2030	Increase knowledge and skills on special education over PETE	Training for pre-service PETE on special education in IEP	Numbers of pre-service PETE attend training on special education in IEP	The effectiveness of the training	<ul style="list-style-type: none"> MOE State Education Department District Education Office School
			Training for in-service PETE on special education in IEP	Numbers of in-service PETE attend training on special education in IEP	The effectiveness of the training	

Outline of Your Developed Action Plan

• Task: CPD for PETE in Inclusive Education Program

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Short term	2022-2023	Equip PETE with Individual Educational Plan Applied to PE in IEP	Training on Individual Educational Plan to PE in IEP for officers at State Education Department and District Education Office.	Number / Percentage of PETE attending training on Individual Educational Plan Applied to PE in IEP	Report on training	<ul style="list-style-type: none"> MOE State Education Department District Education Office School
Long Term	2023-2028		Training on Individual Educational Plan to PE in IEP for officers at school levels	Number / Percentage of PETE attending training on Individual Educational Plan Applied to PE in IEP	Report on training	
	2026-2028		Conducting a study on the effectiveness of IEP in PE among PETE	Report study on the effectiveness of IEP in PE among PETE	Overview on the effectiveness of IEP in PE among PETE	

Outline of Your Developed Action Plan

- Task: Develop quality of pupils with SEN in sports

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Long Term	2023-2026	1. Strengthen inter-agency partnership (between MOE and Minister of Youth).	Conducting Talent Identification Program.	Number of Talent Identification Program.		<ul style="list-style-type: none"> • MOE • Ministry of Youth • State Education Department • District Education Office • School
			Developing PETE as paralympic sport coaches.	Number of teachers as paralympic sport coaches.		
	2023-2030	2. Develop the quality of pupils with SEN in sports.	Conducting Seminar / Online Conference. (To be approved by higher level authority)	Number of participants attending seminar/ conference.		
			Conducting Town Hall. (To be approved by higher level authority)	Number of participants attending town hall.		
			Increasing the number of pupils with SEN participating in international sports - SEA Paralympics, ASIA Paralympics.	Number of pupils with SEN participating in international sports- SEA Paralympics, ASIA Paralympics.		

1-1 : Summary of the Action Plan Developed

(Please summarize briefly here the main points stipulated in your action plan.)

1.Task 1: Strengthening PETE in Inclusive Education Program

- 1.1 Developing a module on special education in the Inclusive Education Program (IEP).
- 1.2 Developing a module on teaching PE for pupils with SEN who need maximum support in IEP.
- 1.3 Training for pre-service and in-service PETE on special education in IEP.

2.Task 2: Continuous Professional Development (CPD) for PETE in Inclusive Education Program


- 2.1 Training of Individual Educational Plan in PE for IEP to officers at State Education Department , District Education Office and teachers.
- 2.2 Conducting study on the effectiveness of Individual Educational Plan in PE among PETE.

3.Task 3: Developing quality of pupils with SEN in sports

- 3.1 Conducting Talent Identification Program.
- 3.2 Developing PETE as paralympic sport coaches.
- 3.3 Conducting Seminar / Online Conference. (To be approved by higher level authority)
- 3.4 Conducting Town Hall. (To be approved by higher level authority)
- 3.5 Increasing the number of pupils with SEN participating in international sports - SEA Paralympics, ASIA Paralympics.

1-2 : Implementation Progress

(Please describe here the implementation progress at this moment of your action plan.)
Progress as of 8 March 2023:

1.Task 1: Strengthening PETE in Inclusive Education Program		
1.1	Developing a module on special education in the Inclusive Education Program (IEP).	One modul on Inclusive Education Program (IEP) has been produced. 
1.2	Developing a module on teaching PE for pupils with SEN who need maximum support in IEP.	In progress.
1.3	Training for pre-service and in-service PETE on special education in IEP.	In progress.

1-2 : Implementation Progress

(Please describe here the implementation progress at this moment of your action plan.)
Progress as of 8 March 2023:

Task 2: Continuous Professional Development (CPD) for PETE in Inclusive Education Program		
2.1	Training of Individual Educational Plan in PE for IEP to officers at State Education Department , District Education Office and teachers.	34 Master Trainers at State Education Department and District Education Office have attended the training.
2.2	Conducting study on the effectiveness of Individual Educational Plan in PE among PETE.	NA

1-2 : Implementation Progress

(Please describe here the implementation progress at this moment of your action plan.)

Progress as of 8 March 2023:

**Notes: Task 3 has been reviewed and below is the latest statement.

- 3.Task 3: Developing quality of pupils with SEN in sports
 - 3.1 Conducting Talent Identification Program.
 - 3.2 Developing PETE as paralympic sport coaches.
 - 3.3 Conducting Seminar / Online Conference. (To be approved by higher level authority)
 - 3.4 Conducting Town Hall. (To be approved by higher level authority)
 - 3.5 Increasing the number of pupils with SEN participating in international sports - SEA Paralympics, ASIA Paralympics.

1-3 : Stakeholders in Your Country

(Please describe the stakeholders who will possibly be involved in the process of implementation of your action plan .)

1. Ministry of Education Malaysia
2. Ministry of Youth Malaysia
3. State Education Department
4. District Education Office
5. Teachers

1-4 : Obstacles and Issues Related to Implementation

(Please describe the obstacles and the problems which were or could be detected in the process.)

-NA-

1-5 : Resources, Advantages & Favorable Factors

(Please describe the resources available and the favourable factors you can count on for the implementation here.)

1. Laws and policies
2. Data and evidences
3. Leadership and management
4. Finance

Presentation Template



ASEAN-JAPAN Action on Sports (Phase iii, 2022)

"Promoting Physical Education Teacher Education (PETE)
and Sport For People With Disability (SPD)"

Implementation Progress of the Action Plan Developed in the Last Workshop

(Country) Myanmar
(Representatives)

Mr. Ko Ko Htay/ Prof. Than Than Htay
Mr. Zaw Tun Aung



Prioritize your tasks to be achieved from items you have selected in the task sheet for task analysis

1st prioritized Task:

	Year	Goal	Action you would take	Expected Outcome (Indicator)	How to gather evidence(Date)	Stakeholder you need to advocate
Short term Goal	2023	cover up PE teachers by country-wide	Junior PE Teacher Training & Refresher Courses	15% cover by National Level	>Shortage and less cover up all over the country > One intake in a year > 45 days program > Select by fitness Tests	By the guideline of National Task Force for PETE
Medium Term goal	2024	Cover up PE teachers by country-wide	Junior PE Teacher Training & Refresher Courses	20% cover by National Level	>Shortage and less cover up all over the country > Two intake in a year > 45 days program > Select by fitness Tests	By the guideline of National Task Force for PETE
Long term goal	2025	Cover up PE teachers by country-wide	Junior PE Teacher Training & Refresher Courses	30% cover by National Level	> Two intake in a year > 45 days program > Select by fitness Tests	By the guideline of National Task Force for PETE

Prioritize your tasks to be achieved from items you have selected in the task sheet for task analysis

2nd prioritized Task:

	Year	Goal	Action you would take	Expected Outcome (Indicator)	How to gather evidence(Date)	Stakeholder you need to advocate
Short term Goal	2023	Refresh for PE teacher to be QPET	Refresher course for PE teacher Collaboration for HR	30% of Appointed JPE Teacher	Updated Rules & Regulations in every event	By the guideline of National Task Force for PETE
Medium Term goal	2024	Refresh for PE teacher to be QPET	Refresher course for PE teacher Collaboration for HR	30% of Appointed JPE Teacher	Updated Rules & Regulations in every event	By the guideline of National Task Force for PETE
Long term goal	2025	Refresh for PE teacher to be QPET	Refresher course for PE teacher Collaboration for HR	40% of Appointed JPE Teacher	Updated Rules & Regulations in every event	By the guideline of National Task Force for PETE

Prioritize your tasks to be achieved from items you have selected in the task sheet for task analysis

3rd prioritized Task:

	Year	Goal	Action you would take	Expected Outcome (Indicator)	How to gather evidence(Date)	Stakeholder you need to advocate
Short term Goal	2023	Football Field& Gymnasium for school sport	> Budget Allocation by NESP(2021-2030)	18 States& Regional Level of MOE	> No Systematic Field & Gymnasium > Lack of Football Field& Gymnasium for school sport	By the guideline of National Task Force for PETE
Medium Term goal	2024	Football Field& Gymnasium for school sport	> Budget Allocation by NESP(2021-2030)	64 Districts Level of MOE	> No Systematic Field & Gymnasium > Lack of Football Field& Gymnasium for school sport	By the guideline of National Task Force for PETE
Long term goal	2025	Football Field& Gymnasium for school sport	> Budget Allocation by NESP(2021-2030)	330 Townships level of MOE	> No Systematic Field & Gymnasium > Lack of Football Field& Gymnasium for school sport	By the guideline of National Task Force for PETE

1-1 : Summary of the Action Plan Developed

Please summarize briefly here the main points stipulated in your Action Plan developed in February during our online workshop.

1. In Prioritized task 1. To fill up the 70% vacant of Physical Education teacher in secondary and High school.
2. In Prioritized task2. Refresher course for PE Teacher to promote the awareness of QPE and updated Rules and regulations of sports.
3. In Prioritized task3. To fill up the Football Field& Gymnasium for school.

1-2 : Implementation Progress

Please describe here the implementation progress at this moment of your Action Plan. (ex. What you have done for its implementation this year)

1. Physical Education Sport Coaching Refresher course have been opened in 14 States/Regions in July 2022.

Objectives

- TO PROMOTE THE AWARENESS OF SPORT BASIC COACHING SKILLS OF PE TEACHERS
- TO DELIVERED THE UPDATE RULES AND REGULATIONS OF SPORTS

No. of Regions/ States	No. of Coaches	No. of Participants	Duration
14	98	971	3 Days

1-2 : Implementation Progress

Myanmar Schools Games(2022-2023)(MSG)

Duration - 1 December 2022 to 27 January 2023

Events - Football, Volleyball, Sepak Takraw,
Track & Field

Coach&players - Over 1700 from all states & regions

Collaboration and Cooperation with Ministry of Sport and Youth Affair

Myanmar Schools Games(2022-2023)(MSG)



[illegible]

Myanmar Schools Games(2022-2023)(MSG)



1-2 : Implementation Progress

Football Field & Gymnasium for school sport

As the first step of fulfill the sports fields & Gymnasium for school, football fields and amphitheaters were built in 13 schools in Nay Pyi Taw.

Implementation progress of the Action Plan Developed(For 1st Prioritized Task)
To fill up the 70% vacant of Physical Education teacher in secondary and High school.

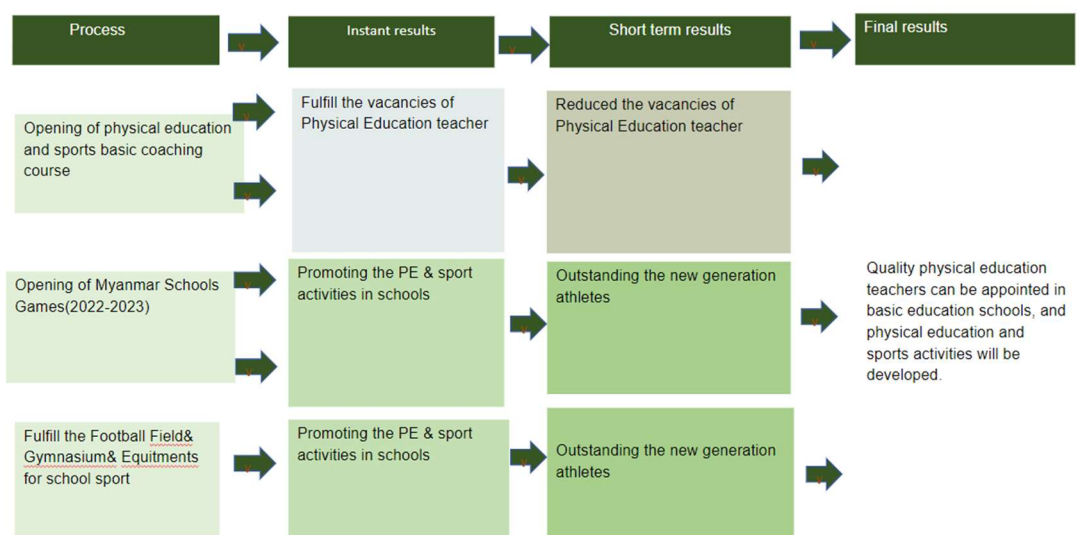
Physical Education and Sport Coaching Course (No-21)

Duration - 45 Days(15 April to 30 May)
Instructors - 50 (Retired PE teachers, PE Teacher of Educational Colleges/Universities and sport experts)
Participants - 400(Primary Teacher 2 years experience and experts in (1) sports)
Courses - Coaching 7 sports subjects(football,volleyball ,basketball, track&field, badminton, sepaktakaraw, tabletennis), Methodology and Child psychology

M&E in the situation of Teaching Physical Education in Schools

- Teaching according to the monthly content of Physical Education Subject in Schools
- Regular Physical Education and Sports activities in Schools

Outcome links of selected activities in NESP(Myanmar)



1-3 : Stakeholders in Myanmar

Please describe all the stakeholders who will possibly be involved in the process of implementation of your Action Plan.

1. DM of MOE
2. DG of DBE
3. Physical Education section of DBE
4. Experts of Physical Education
5. Directors and Assistant Directors(PE) of all States and Regions

1-4 : Obstacles and Issues Related to Implementation

Please describe the obstacles and the problems which were or could be detected in the process.

- 1.Allocation of Budget is limited
- 2.Appointed of PE Specialization is under 70%
- 3.Updated the Playground to be playable

1-5 : Resources, Advantages & Favorable Factors

Please describe the resources available and the favourable factors you can count on or use for the implementation here.

- 1.By the collaboration of MOSYA to use the Playground
- 2.Annual PETE Training
- 3.Annual Sport Festival

: Additional Information (1)

some additional information on participants and content of the course such as PE teacher in secondary school or classroom teacher or PE implementation guideline for secondary school or elementary school.

1) the actual progress and general information of PE teacher training/education for the elementary school level

→In Elementary school, Guardian teacher of the class are responsible for PE subject Teaching.

In progress to be able to separately appoint Physical Education teacher for elementary, we are submitting to the Union Civil Service Organization through the Ministry of Education.

2) the information

-on the participants of the courses for PE teachers for elementary, secondary and high school, and also for classroom teachers,

→Secondary physical education teachers who have been appointed as physical education teachers are selected as primary school teachers with (2) years of experience and experts in (1) sports and given a 45-day training course called "Physical Education Teacher Training."

-on the contents of the courses for PE teachers for elementary, secondary and high school, and also for classroom teachers

→In the 45-day physical education teacher training course, in addition to 7 sports subjects(football, volleyball, basketball, track&field, badminton, sepahtakaraw, tabletennis), Teaching Methodology and Teaching child psychology. After these training, the participants are appointed to the Secondary school as a Junior PE Teacher.

2 years' experience and satisfactory performance of Junior PE Teacher are promoted to high school as a Senior PE Teacher.

At present, the recruitment of physical education specialist teachers is underway in primary schools There are 70% vacancies Junior PE Teacher in middle schools and 40% vacancies Senior PE Teacher in high schools.

-on the PE implementation guideline for elementary, secondary and high school, respectively.

→As a PE implementation guidelines, monthly table of contents are used to implement the PE teaching in all school(elementary, secondary, high school).

: Additional Information (2)

Who would be physical education teacher from elementary school teacher ?

→all primary teachers in Elementary schools have been taught physical education at educational colleges. So all primary teachers are physical education teachers. Therefore, the appropriate primary teacher (or guardian teacher of the class) assigned by the school principal is responsible for teaching physical education in Elementary schools.

How to recruit physical education teacher candidates from elementary school teachers ?

→In regions and states, primary teachers with 2 years of experience and experts in (1) sports who wish to attend physical education teacher training are selected by the trainee selection committee.

The trainee selection committee examines the trainees' sports skills and physical fitness skills (push ups, standing long jump, sit-ups, 100M running, 400/800M running) and allows those who are qualified to attend the training.

The Training management committee has selected Physical Education Experts(including retired) who have obtained the PE Diploma in foreign countries (such as Germany, Australia and China) and Sports Experts as instructors of the course. Training Modules, syllabus are developed by these PE and Sport Experts.

The Training supervision committee and all activities of the PE Teacher training are carried out by the Department of Basic Education. Not affiliated with any educational college/university.

If elementary school teacher have to take 45t days training, should they leave school ?

→After the training, all participants got promotion from Primary teacher to Junior PE Teacher and appointed to the Secondary School.

**Welcome to your ...
Positive feedback and Cooperation**

THANK YOU.



ASEAN-JAPAN Action on Sports (Phase III, 2022)

“Promoting Physical Education Teacher Education (PETE)
and Sport For People With Disability (SPD)”

Implementation Plan & Progress of the Action Plan

(Country) The Philippines
(Representatives)



Ms. Ma. Vanessa G. VINARAO / Hon. Comm. Walter Francis K. TORRES

INTRODUCTION

Global
Relevance



Ensure inclusive and equitable quality education and
promote lifelong learning opportunities for all

National
Relevance



Improve Education and Lifelong Learning
(Improve Competencies of Teachers)

Sectoral
Relevance



- ✓ Promote relevant and quality Higher Education
- ✓ Broaden access to quality higher education
- ✓ Education of high level professionals
- ✓ Development of responsible and effective leadership



- ✓ Expand Access to Basic Education
- ✓ Improve Quality and Relevance
- ✓ Modernize Education Management and Governance



- ✓ Excellence in sports performance by Filipinos
- ✓ Increased participation in sports by Filipinos

Action Plan

Implementation Period: 2023-2028

	Task	Objective
1	Improve the quality of education for students in PE and allied degree programs	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Revitalize/ Enhance the Physical Education curriculum for pre-service degree program in PE, sports, and allied fields
2	Professional development of teachers	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Enhance PE teachers' pedagogy to promote student learning ➤ Promote establishment of Doctorate Degree programs in PE and sports in more HEIs in the Philippines ➤ Strengthen professional leadership roles and responsibilities ➤ Promote and provide support for the positive mental health and wellbeing in HEIs

Action Plan

Task 1: Improve the quality of education for students in PE and allied degree programs

Period: 2023-2028

Year	Goal/Objective	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
2023-2026	Curriculum and Instruction (Curriculum Adaptation) Revitalize/ Enhance the Physical Education curriculum for pre-service degree program in PE, sports, and allied fields	a. Conduct review/assessment and enhancement of the PE course learning offerings <ul style="list-style-type: none"> ➤ Organize a series of curricular sessions and advocacy programs with various stakeholders ➤ Engage in benchmarking activities and establish strategic partnerships with local and international institutions with an adapted PE curriculum 	Revised and enhanced PE curriculum for pre-service degree program in PE, sports, and allied fields	Revised PE curriculum	Responsible agency: CHED Participating agencies: -HEIs (PE Department), DepEd, PSC, ILRCs, and PAASCU Beneficiaries: Pre-service students and LWDs

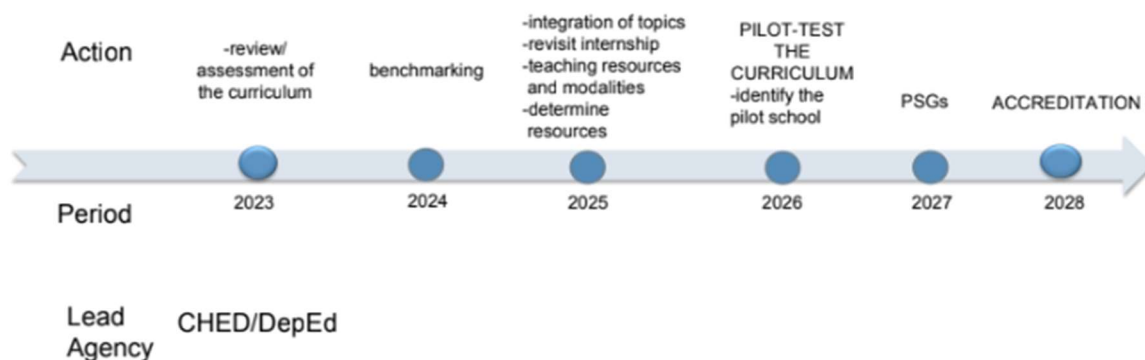
Action Plan

Task 1: Improve the quality of education for students in PE and allied degree programs

Period: 2023-2028

Year	Goal/Objective	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
2024		<ul style="list-style-type: none"> ➤ Enhance the curriculum <ul style="list-style-type: none"> - integrate topics on health-promotion and other programs, such as mentoring or peer-to-peer program - revisit internship and exchange programs - application of different teaching and learning modalities, models/good practices (such as Inclusion models from local and international partners) - preparation for Licensure Exam for Teachers - LET for PE/SPED - determine resources needed for implementation ➤ Pilot-test the curriculum – identify the pilot school; enhance support services 			

ENHANCED CURRICULUM



Action Plan

Task 1: Improve the quality of education for students in PE and allied degree programs

Period: 2023-2028

Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
start by 2027		b. Develop and issue of PSGs on adopting and implementing the enhanced curriculum	Developed and issued policies, standards, and guidelines (PSGs)	PSGs issued by CHED on their curriculum and instruction	
start by 2028		c. Undergo CHED/PAASCU/DepEd accreditation requirements for quality assurance ➤ Periodic assessment and evaluation of the PE course learning activities	Accredited HEIs, ILRC/SPED Centers	Report on % of accredited HEIs, ILRC/SPED Centers - accredited by CHED, PAASCU, DepEd partner organizations on their curriculum and instruction	

Action Plan

Task 2: Professional development of PE teachers

Period: 2023-2028

Year	Goal/Objective	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Start by 2023	Pedagogy Enhance PE teachers' pedagogy to promote student learning	a. Revisit training and competency requirements <i>(ensure that these are still relevant and responsive to current and future educational demands)</i>	Enhanced training and competency requirements/standards	Policy on the revised training and competency requirements	Responsible agency: CHED
Start by 2024		b. Strengthen continuing capacity building programs <i>(competency and outcomes- based, adaptive and inclusive)</i> Skills training include, among others, Adaptive Pedagogy, Adapted PE, Presentation Skills, Research, Leadership, Innovation and Technology, Health and Well-being, Student Guidance. Inclusive Education <i>(Training Programs should also be in consonance with the revised curriculum (new course offerings for BPED))</i>	PE teachers meet the competency requirements/standards (including licensure within the set period of time upon hiring) PE teachers capacitated	Performance assessment results Report on the conduct of capdev activities	Participating agencies: -HEIs/ILRC, PSC Beneficiaries: LWDs, Pre-service candidates, and In-service teachers

Action Plan

Task 2: Professional development of PE teachers

Period: 2023-2028

Year	Goal/Objective	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Start by 2024		c. Provide access to teaching resources, such as use of IT/ICT systems	Availability and accessibility of teaching resources in HEIs	Report on HEIs with available and accessible teaching resources	Responsible agency: HEIs/ILRCs
2023 (ongoing)		d. Continue to forge strategic partnerships/collaboration with professional associations (local or international) in PE, sports, ILRC/SPED	Active membership of teachers in PE and SPED in any local or int'l professional associations Collaborative engagements with local and international partners (e.g., in teacher training, sharing of ICT resources, curriculum development, etc.)	Report on active members of local or int'l professional associations MOA/MOU and partnership agreements with local and international partners; report on collaborative activities	Beneficiaries: Pre-service candidates, In-Service teachers Participating agencies: CHED, HEIs, PSC, partners associations/organizations

Action Plan

Task 2: Professional development of PE teachers

Period: 2023-2028

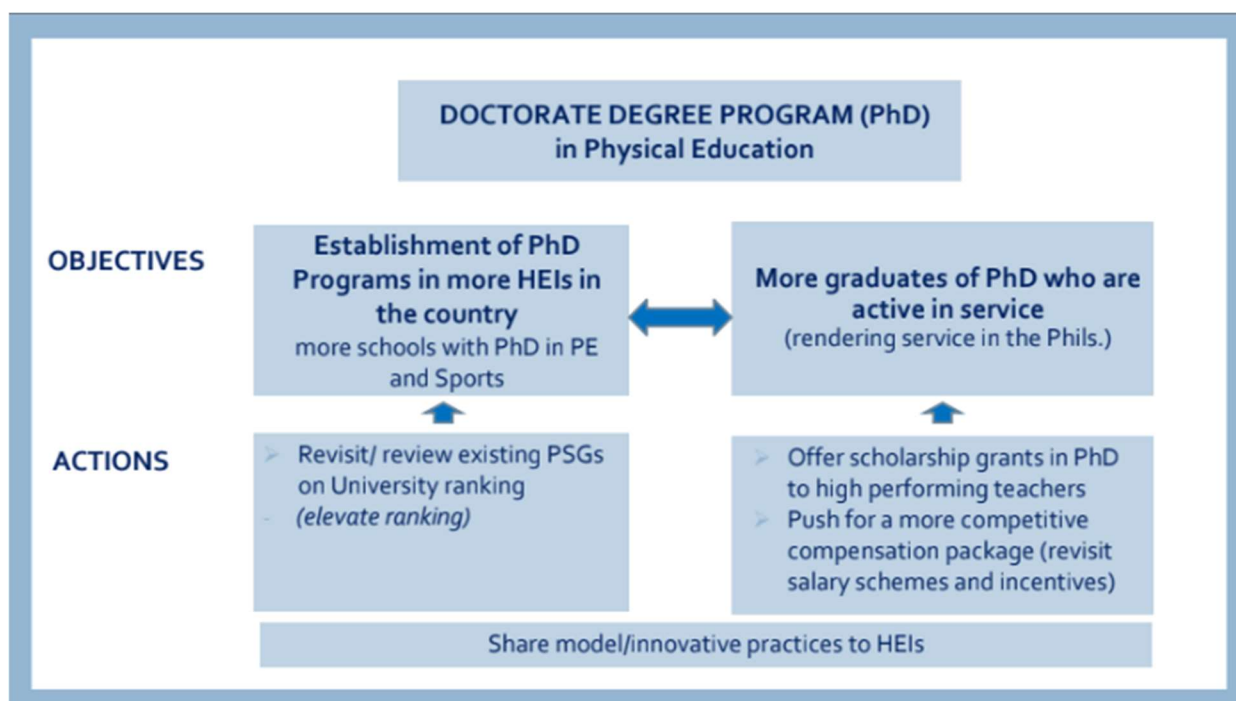
Year	Goal/Objective	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Start by 2024		e. Conduct of studies/research ➤ Formulation of research agenda <i>(extensive, to be used as bases for development of policies and programs)</i>	Studies/Research conducted	Studies/research	Responsible Unit: CHED, DepEd, HEIs (PE Department), ILRC/SPED, PSC

Action Plan

Task 2: Professional development of PE teachers

Period: 2023-2028

Year	Goal/Objective	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Start by 2025	Career development Promote establishment of Doctorate Degree programs in PE and sports in more HEIs in the Philippines, and PE teachers to pursue PhD	a. Elevate ranking of HEIs offering PhD in PE and Sports <i>(Review/Enhance PSGs on University ranking)</i>	More HEIs are offering doctorate degree programs	Report on HEIs offering Doctorate degree programs	Responsible agency: CHED, DepEd, PSC, HEIs Beneficiaries: Pre-service candidates, In-Service teachers
		b. Offer scholarship grants and push for a more competitive compensation package <i>(to encourage teachers)</i>	Scholarship grants (PhD) offered to high performing teachers Incentivize and offer more attractive compensation for PhD holders Return of service of recipients of scholarship grants	Report on recipients of scholarship grants (in active service)	
		b. Share model/innovative practices to HEIs	b. Activities conducted to share model/ innovative practices (fora, symposium, etc.)	Report on activities conducted and shared model/ innovative practices	



Action Plan

Task 2: Professional development of PE teachers

Period: 2023-2028

Year	Goal/Objective	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
2023 (ongoing)	Leadership Strengthen professional leadership roles and responsibilities	Bolster and sustain implementation of mentoring program (peer mentoring approach for in-service retention)	Implementation of mentoring program in HEIs	Report on HEIs implementing mentoring program	Responsible unit: HEIs (Administration and PE Department)
2023	Health and Well-being Promote and provide support for the positive mental health and wellbeing in HEIs	Promote implementation of programs in HEIs on mental health and wellness (for faculty and students) ➤ Infuse mental health in syllabus, curriculum and learning activities ➤ Conduct MH promotion activities in schools	Mental health and wellness programs/activities are implemented in HEIs	Report on HEIs implementing mental health and wellness programs/activities	Responsible unit: HEIs (Administration and PE Department) Beneficiaries: Pre-service candidates, In-Service teachers, other personnel involved in the teaching-learning environment

1-1 : Summary of the Action Plan Developed

- Strategies/ actions are anchored on national thrusts and priorities for implementation in 2023-2028 and focuses on addressing key issues/problems
- Priority tasks:
 - Revitalize/ Enhance the Physical Education curriculum for pre-service degree program in PE, sports, and allied fields**
Target beneficiaries: Pre-service (students in BPEd)
 - ✓ Relevant and evidence-based (*leveraging data*)
 - ✓ Prepare students in satisfying requirements and set standards (to include licensure exams)
 - ✓ Application of different teaching and learning modalities
 - Professional development of PE and para teachers (upscale performance levels)**
Target beneficiaries: In-service teachers (PE, Sports and allied educators/professionals)
 - ✓ Enhance teachers' pedagogy to promote student learning
 - ✓ Promote establishment of doctorate degree programs in HEIs
 - ✓ Strengthen professional leadership roles/responsibilities
 - ✓ Promote and provide support for the mental health and wellbeing of teachers

1-2 : Implementation Plan of the Action Plan for this Year 2023

(Please describe here the implementation plan/timeline of your action plan.)

Coordinate with the TWG of CHED and DepEd on physical education, sports and allied fields for the implementation of the action plan:

- Identify champions to generate support
- Prioritize actions based on readiness for implementation (e.g. available resources)
- Possible activities for inclusion in 2024 budget proposal

1-3 : Stakeholders in Your Country

(Please describe the stakeholders who will possibly be involved in the process of implementation of your action plan .)

1. CHED – Commission on Higher Education
2. DepEd
3. PSC
4. HEIs – Higher Education Institutions (Administration and PE Department)
5. Pre-service students
6. In-service teachers/faculty

Others:

- SPED/ILRC – Special Education/Inclusive Learning Resource Center
- Accreditation agencies (____PAASCU)
- Learning resource providers
- Professional associations
- Partner institutions/organizations (local and international)

1-4 : Obstacles and Issues Related to Implementation

(Please describe the obstacles and the problems which will be found or may be detected in the process of implementation of the contents and your ideas on the Action Plan.)

- Availability of resources (human resources/trained and licensed, budget)
- Leadership (commitment and follow through of the action plan and other initiatives)

1-5 : Resources, Advantages & Favorable Factors

(Please describe here the resources available and the favourable factors in your country which you can count on for the implementation of the Action Plan and your idea.)

- With existing/presence of policies, standards, and guidelines (i.e., Teacher Competency Standards, Qualification Standards, Curriculum Standards, Performance Assessment tools)
- Among the national priorities in the Philippine Developmental Plan 2023-2028 is improving the capacities of teachers
- The Vice President of the Philippines also holds a key position as the Secretary of the Department of Education
- Currently adapting flexible modalities – teaching-learning process, collaboration, etc.
- Taking part in this project – ASEAN-Japan

Questions and Consultation

- (Please describe your questions and the matters necessary to be consulted with the Japanese experts on the Action Plan and your idea.)

1. Presence of best practices, benchmarks on adapted PE, pedagogy, technology, and application of IT in the teaching-learning environment for PE, sports, and SPED.
2. Do you have existing studies on future trends in PE, sports, and allied fields? **Existing mechanisms/policies/guidelines for SPD?**
3. Existing exchange programs and scholarship grants offered
4. Possibility of availing scholarship grants for high-performing Filipino teachers
5. What challenges have you encountered on PETE? And how were you able address these challenges?

THANK YOU!

Have a happy and
healthy afternoon!

REFERENCES:

- 1 <https://www.officialgazette.gov.ph/2013/05/15/republic-act-no-10533/>
- 2 <https://chedro1.com/wp-content/uploads/2019/07/CMO-No.-80-s.-2017.pdf>
- 3 20220311-RA-11650_Inclusivity in Learning
- 4 <https://pdp.neda.gov.ph/philippine-development-plan-2023-2028/>
- 5 Nadia Laura Serdenciuc / *Procedia - Social and Behavioral Sciences* 76 (2013) 754 – 758 5th International Conference EDU-WORLD 2012 - Education Facing Contemporary World Issues Competency-Based Education – Implications on Teachers' Training
- 6 <https://www.theguardian.com/world/2022/nov/17/the-school-with-18000-students-educating-the-philippines-booming-population>
- 7 <https://www.teachercertificationdegrees.com/careers/physical-education-teacher/> - Minimum Qualifications for PE Teacher Career - Global Standards
- 8 DO No. 044, s 2021 - Policy Guidelines on the Provision of Educational Programs and Services for Learners with Disabilities in the K to 12 Basic Education Program
- 9 https://www.google.com/url?sa=i&url=https%3A%2F%2Fen.wikipedia.org%2Fwiki%2FFlag_of_the_Philippines&psig=AOvVaw0xYP_pyHxY1M9HlU-42Nfp&ust=1677739832157000&source=images&cd=vfe&ved=0CBEQjhxqFwoTCKjyrLCSuv0CFQAAAAAAdAAAAABAD
(Photo of Philippine Flag)
- 10 DO No. 044, s 2021 - Policy Guidelines on the Provision of Educational Programs and Services for Learners with Disabilities in the K to 12 Basic Education Program
- 11 UNCRPD, 2006; Section a @1, RA 72771
- 12 Philippine Sports Commission Vital Documents for Philippine Sports
- 13 Philippine Statistics Authority (2022) - PH_SDGWatch_Goal04_27Dec2022
- 14 <https://www.gmanetwork.com/news/sports/othersports/387457/philippine-normal-u-teams-with-indonesian-school-for-phds-in-pe/story/>
- 15 https://en.wikipedia.org/wiki/Paraprofessional_educator
- 16 <https://www.who.int/data/gho/data/major-themes/health-and-well-being>
- 17 <https://www.teacherph.com/depd-senior-high-school-qualification-standards/>
- 18 DepEd-CHED-PSCLogos <https://www.google.com/search?q=depd+ched+psc+logos&ei=>



ASEAN-JAPAN Action on Sports (Phase iii, 2022)

“Promoting Physical Education Teacher Education (PETE)
and Sport For People With Disability (SPD)”

Implementation Progress of the Action Plan Developed in the Last Workshop

(Country) Singapore
(Representatives)

Mr. Derrick CHEE/ Ms. Kelly FAN



Outline of Action Plan

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Short term	2023-2024	Cement awareness by PE teachers, and review current set-up	Expand in-service training course/ devt of expanded course	Positive feedback and support from PE teachers	Formalised feedback	MOE, MCCY, ECDA, National Institute of Ed, Para sports agencies, parents
		Ensure resource network for PE teachers	Set up Community of Practice (COP) for PE teachers	> teachers joining COP, improved repository	Monitoring mechanism	
		Estb milestones for students w disabilities	Identify milestones for improved outcomes	Formalised masterplan for PE	Implementa tion of such action plans	

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Medium term	2024-2025	Support students w disabilities in PE and outside school curriculum	Identify and secure required resources for post trg teacher <u>suppt</u>	More students w disabilities continuing in sport outside school	Improved student satisfaction in PE	MOE, MCCY, SportSG, National Institute of Ed, Para sports agencies
		Consolidate COP data and guidelines for reference	Institutionalise recording of cases, expertise in COP	Recognition of COP as national standard	Statistics on COP growth, cataloguing, referencing	
		Finalise achievable milestones for students, which PE teachers can fulfil	Formalise milestone into action plan, masterplan	Formalised masterplan for PE	Acceptance and implementation	

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Long term	2025-2027	Students w disabilities enjoy lifelong benefits from sport	Roll-out of training programme of PE teachers	Steady state of training programmes, frequent reviews	National surveys	MOE, National Institute of Ed, Para sports agencies
		Achieve better outcomes in PE for students in disabilities in mainstream schs	Publish nati repository, add guidance principles on disability sports to PE curriculum	Improved student satisfaction; qualitative observations of improved outcomes	National surveys	
		Students w disabilities complete education journey w shared quality experiences	Introduction of shared milestones and guidelines for success	Qualitative observations of improved outcomes ofr students with disabilities during <u>sch</u> years	Commissi oned study on long term effects of policy	

1-1 : Summary of the Action Plan Developed

1. Training a more professional teaching force/ strengthen teaching solutions
2. Setting up a Community of Practice to promote sharing of best practices and expertise on inclusive PE and sports
3. Set mirror milestones in the PE journeys for students with and without disabilities

1-2 : Implementation Progress

- ❖ Long-term endeavour that requires the buy-in of the Ministry of Education and disability sports agencies
- ❖ 2023: Development of a PE curriculum for SPED; Review of Disability Sports Master Plan and alignment with Enabling Masterplan

1-3 : Stakeholders in Your Country

- ❖ Ministry of Education
- ❖ Ministry of Culture, Community and Youth
- ❖ Singapore Disability Sports Council
- ❖ National Institute of Education

1-4 : Obstacles and Issues for the process of Implementation

TBC

1-5 : Resources, Advantages & Favorable Factors

- ❖ The issue is not so much resources, but more on mindset shifts, and whether the policy is efficient, effective and sustainable, compared to the current situation.

Questions and Consultation

TBC

Feedback, Opinions, Suggestions from Project Members.



ASEAN-JAPAN Action on Sports (Phase iii, 2022)

“Promoting Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport For People With Disability (SPD)”

Implementation Progress of the Action Plan Developed in the Last Workshop

(Country) Thailand
(Representatives)

DR. Chalitpol SUEBMAI/ Dr. Taweechoak PONGDEE



Outline of the Development of the Action Plan

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Short term	on-going project	<ol style="list-style-type: none"> 1. Improve and ensure equal the accessibility to PE for both normal and disable students 2. Develop and improve the potential of teaching and learning for Non-PE teachers in primary school (special education needs schools and inclusion schools) 3. Promote physical fitness and health for both normal and disable students in primary schools across the country 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Integrating with relevant organizations; 1.1 project fund from ThaiHealth Promotion Foundation 1.2 seek schools networking under MOE's supervision 1.3 establish the Committee for deciding the PE curriculum by inviting relevant stakeholders (PE experts, Bureau of Academic Affairs, MOE) 2. Develop two PE curriculums with PE experts; 2.1 Teaching physical activities for disable students 2.2 Teaching PE for Non-PE teachers 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Both normal and disable students in special schools and inclusion schools improve their physical fitness and health 2. Continuously support both normal and disable students' basic sport skills to be further success as national athletes 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Physical Fitness Testing and Assessment for both normal and disable students 2. Qualities of Non-PE teachers' lesson plan 	MOE, MOTs, National Sports Policy Committee, National Disable Sports Associations, NPC-Thailand, ThaiHealth Promotion Foundation, Dept. Empowerment of Persons with Disabilities

Outline of the Development of the Action Plan

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Mid Term	3 years plan	<ol style="list-style-type: none"> 1. Improve and ensure equal the accessibility to PE for both normal and disable students 2. Develop and improve the potential of teaching and learning for Non-PE teachers in primary school (special education needs schools and inclusion schools) 3. Promote physical fitness and health for both normal and disable students in primary schools across the country 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Conduct and evaluate training course (as a pilot project) in primary schools nationwide (special education needs schools and inclusion schools) 2. Expand training courses in schools nationwide (special education needs schools and inclusion schools) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Both normal and disable students in special schools and inclusion schools improve their physical fitness and health 2. Continuously support both normal and disable students' basic sport skills to be further success as national athletes 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Physical Fitness Testing and Assessment for both normal and disable students 2. Qualities of Non-PE teachers' lesson plan 	MOE, MOTS, National Sports Policy Committee, National Disable Sports Associations, NPC-Thailand, ThaiHealth Promotion Foundation

Outline of the Development of the Action Plan

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Long Term	5 years plan	<ol style="list-style-type: none"> 1. Improve and ensure equal the accessibility to PE for both normal and disable students 2. Develop and improve the potential of teaching and learning for Non-PE teachers in primary school (special education needs schools and inclusion schools) 3. Promote physical fitness and health for both normal and disable students in primary schools across the country 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Coordinate MOE to disseminate curriculum to schools under their supervision 2. Conduct and evaluate training course (as a pilot project) for Non-PE teachers 3. Expand training courses in schools nationwide 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Both normal and disable students in special schools and inclusion schools improve their physical fitness and health 2. Continuously support both normal and disable students' basic sport skills to be further success as national athletes 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Physical Fitness Testing and Assessment for both normal and disable students 2. Qualities of Non-PE teachers' lesson plan 	MOE, MOTS, National Sports Policy Committee, National Disable Sports Associations, NPC-Thailand, ThaiHealth Promotion Foundation

1-1 : Summary of the Action Plan Developed

- The implementation of previous action plan is not Department of Physical Education mission.
- PE research is not MOE's key priority area

1-2 : Implementation Progress

- The Department of Physical Education is developing curriculum of the teaching physical activities for disable students in primary schools (an on-going project)

1-3 : Stakeholders in Your Country

- Ministry of Education
- Ministry of Tourism and Sports
- National Sports Policy Committee of Thailand
- Disable Sports Associations of Thailand
- National Paralympic Committee of Thailand
- ThaiHealth Promotion Foundation

1-4 : Obstacles and Issues Related to the Implementation

- Require more cooperation/collaboration between relevant organizations
- PE is not a priority issues under MOE's responsibility
- The Promotion of PE curriculum for disable students is not specify under the National Sports Development Strategy Plan
- No qualified PE teachers at the primary schools

1-5 : Resources, Advantages & Favorable Factors

- Expertise in the area of physical education and sports
- Collaborate the networking among PE experts, relevant sports sector

Questions and Consultation

- We are welcomed all views from Member States and Japan 😊



ASEAN-JAPAN Action on Sports (Phase iii, 2022)

“Promoting Physical Education Teacher Education (PETE)
and Sport For People With Disability (SPD)”

Implementation Progress of the Action Plan Developed in the Last Workshop

(Country) Viet Nam
(Representatives)

Mr. NGUYEN Trong Kien/ Mr. DANG Van Sau



Outline of Your Developed Action Plan

	Year	Goal	Action	Outcome	Evidence	Stakeholder
Short term	2023	Raise awareness of the importance of PE activity	Increase public policy advocacy efforts to advance Physical Education reform.	Improving the status of PE subject and PE teachers	TBC	Policy makers, experts, and PE teachers
Medium term	2024-2025	Improving the qualifications and skills of PE teachers requires appropriate training and supervision.	Instructional skills and techniques through meeting, conference, training program.	Support ongoing professional development for teachers delivering PE	TBC	relevant stakeholders should be encouraged to involve
Long term	2025-2030	Improving PE syllabus and pedagogy to create excitement for PE teachers and students to improve the quality of PE.	Develop PE policies that support the new curriculum	Increase the curriculum time allocation required to facilitate Quality PE with 120 mins/week.	New curriculum	All stakeholders should be encouraged to involve

1-1 : Summary of the Action Plan Developed

(Please summarize briefly here the main points stipulated in your action plan.)

- 1. Create an Evaluation Committee and then propose to the government on PE in Vietnam.**
- 2. Review the current PE Curriculum.**
- 3. Raising awareness of PE ect.....**

1-2 : Implementation Progress

(Please describe here the implementation progress at this moment of your action plan.)

- The PE action plan in Vietnam with information after the workshop has been submitted to stakeholders in the Department of Physical Education in the MOE for review and comments.**

1-3 : Stakeholders in Your Country

(Please describe the stakeholders who will possibly be involved in the process of implementation of your action plan .)

- Colleagues in the Department of Physical Education, MOE, and experts may be involved in the implementation of this action plan.

1-4 : Obstacles and Issues Related to Implementation

(Please describe the obstacles and the problems which were or could be detected in the process.)

- Change in awareness on PE of the stakeholders, policy makers and specially funding sources for implementation.

1-5 : Resources, Advantages & Favorable Factors

(Please describe the resources available and the favourable factors you can count on for the implementation here.)

- Documents and data on PE status in Vietnam compared to other countries in the region.

Questions and Consultation

(Please describe your questions and the matters to be consulted with the Japanese experts.)

- Experience in implementing PE action plan in Japan, evidences and data on the importance of PE and why should be change PE with a new action plan??.

Feedback, Opinions, Suggestions from Project Members.

第4章 各国による質疑応答内容

3月7日 ASEAN PETE+SPD 研修

各国代表がアクションプラン実施の進捗状況についてプレゼンテーション終了後、質疑応答をはじめディスカッションが行われた。以下は各国のディスカッションの内容を主にまとめたものである。

① ブルネイ

【代表者】 Mr. Haji Muhamad Azrin HAJI AJI (PETE)/ Ms. Pengiran Nurhazigah Azmina Binti Pengiran SAHMINAN (SPD)

【発表者】 Mr. Haji Muhamad Azrin HAJI AJI (PETE)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- パイロット校においてどのような点が向上したといえるか。具体的な実践例は。
(日本体育大学/岡出教授)
- パイロット校において、7人のコーチに授業やコーチングの向上を目的としたアクションリサーチを実施するよう依頼した。今は実施段階であるが、具体例はバドミントンコーチが挙げられる。プライオメトリクスエクササイズを改善し、アスリートの能力の向上を図っている。また、フットボールの例でいうと、授業前にジャグリング等のエクササイズを取り入れ、フットワーク能力を向上させるような実践が見られる。尚、2023年の終わりに、この実施状況の結果についてプレゼンをする予定である。(Mr. Haji Muhamad Azrin HAJI AJI)
- この7名のコーチたちが協力して何かを実施することはあるのか。
(日本体育大学/岡出教授)
- まずは、プレアクションリサーチをプレゼンテーションしてお互いに意見を交わす場がある。そこでは、実現可能性等について話し合う。2ターム、3タームとタームごとに進捗状況について話し合う場もある。(Mr. Haji Muhamad Azrin HAJI AJI)
- 障害のある子どもはクラスの中にいるのか。(日本体育大学/岡出美則教授)
- 発達障害の子がいる。いくつかの活動ではその生徒も巻き込むことができるようにクラスを運営している。今のところこれはパイロット校であり、ほかの学校の情報はまだ入手できて

いない。ブルネイの学校対抗の競技大会において、障害者も参加することができるように話し合いが行われ、大会のスケジュールが修正されるなどの実践例も出てきている。

(Mr. Haji Muhamad Azrin HAJI AJI)

② カンボジア

【代表者】 Ms. HOU Sitthisophealai (PETE)/Mr. YI Sopheaktra (SPD)

【発表者】 Ms. HOU Sitthisophealai (PETE)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- ショートタームとロングタームでカリキュラム開発に取り組んでいることが分かった。また、ロングタームで学科開発とアルムナイ開発を進めていることは素晴らしい。何を実際に実施して、何ができなかったのかが認識できるようになったことはとても良い。どのように2年制と4年制のプログラムをどのように分けていくのか。(筑波大学/山口助教)
- 2つのカテゴリーには別々のプログラムがある。4年制プログラムは単位制を活用し、2019年に確立している。2年制プログラムはかなり以前に確立されており、単位制度を利用していない。2年制プログラムはすでに約20年利用されているので、修正が必要である。そのため、このゴールをアクションプランに設定した。これから2年制プログラムは単位移行システムを考えていく必要がある。2年制プログラムを単位制にしていくのは挑戦的である。特に2年制のプログラムからいくつかの教科を削除することはとても難しい。なぜならNIPESの教員は古い考えに従う傾向があるからである。そこで2年制を4年制に移行していくためには技術的支援が必要となる。そのため、ハート・オブ・ゴールドや他の日本の先生方からのサポートが必要で、どのようにより良いカリキュラムにしていくか正しく説明し、現職教員にも納得してもらいながら進める必要がある。(Ms. Hou Sitthisophealai)
- すでにたくさん行うことがあり、両方を運営していくのは時間的にも難しいし、ゴールを達成できない可能性もある。そのため、4年制のプログラムを開発していくことに注力し、4年制を短くすることで2年制コースを進めていくことをアドバイスとしたい。
(筑波大学/山口拓助教)
- オハイオ州立大学が2年制プログラムから4年制プログラムへと発展させている。学科教員は生徒を評価し、評価Bより良い生徒が3年生、4年生でアドバンスコースに進めるようにした。それが効率的な方法かは分からないが、2年生から3年生へと移れる手法かと思われる。
(筑波大学/佐藤教授)

③ インドネシア

【代表者】 Ms. Hilda ILMAWATI (PETE) / Ms. Mesa Rahmi STEPHANI (SPD)

【発表者】 Ms. Hilda ILMAWATI (PETE)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- 学校を設立するうえで、体育に関して義務付けられている文書や施設、用具はあるのか。(例えば、生徒の人数に応じて、このような規模の施設が必要である等)
(日本体育大学/岡出教授)
- 政府は用具などの予算は各学校に割り振っているが、各学校からその予算の内訳が報告として挙がってきておらずデータ化できていないという課題が見受けられる。これらについては基準を作り、最終的には学校ごとにどのような用具を使っているのか報告が挙がってくるというような仕組みを作りたい。(Ms. Hilda ILMAWATI)
- ガイドラインに記されている情報は国によって異なると思う。インドネシアではどのような情報をガイドラインに含めているのか。(日本体育大学/岡出教授)
- 現職教員の研修や、アセスメントを実施している。アセスメントでは地域ごとに差があるがまだまだアセスメントの結果はそこまで高くない。これらに関する文書は教育省のウェブサイトから見る事ができる。体育の教員養成、現職教員に関してはさらに質の向上を目指していきたい。(Ms. Hilda ILMAWATI)
- モニタリングはどのように行っているのか。(マレーシア/ Ms. Solehah MISRON)
- すべての教員はまず教育省が実施するオンラインでテストを受ける。教員歴がある年度に達すると、教育省の中にある小さな機関が実施する教授法と専門性という二つのカテゴリーからなるアセスメントを受ける。このアセスメントで高評価を得た人は、ファシリテーターになるため、低評価を得た人は現職教員プログラムに参加するなどアセスメントの結果に応じて教員を評価し、プログラムを提供するなどの取り組みを実施している。今年は新しいカリキュラムにおける取組の一つである新しいプログラムを開始した。このプログラムはアセスメントではなくセレクションである。すべての教員がこのセレクションを受けることができる。このセレクションで高評価を得た教員は新しいプログラムのメンバーになる。
(Ms. Mesa Rahmi STEPHANI)

④ ラオス

【代表者】 Ms. Chanhthone KHAMKONG (PETE), Ms. Latsame VITHAYA (SPD)

【発表者】 Ms. Chanhthone KHAMKONG (PETE)

【プレゼンテーション】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- 障害者スポーツの活動として、村レベルでのクラブの創設を挙げられ、スポーツ団体をフォローアップしていくこととしていたが、どのように実際に実践されたのか。具体的な例を挙げてほしい。(筑波大学/永田教授)
- 村レベルでの活動では、インターナショナルデーでのエアロビクスやウォーキング、その他競技スポーツを行う等について、政府が公的支援として実施した実例がある。
(Ms. Chanhthone KHAMKONG)
- 課題として予算がないことが挙げられていた。それらの活動は各週に、もしくは各月にという継続的な活動なのか。また、クラブが主導権を持って進めているのか。
(インドネシア/Ms. Mesa Rahmi STEPHANI)
- 首都圏以外の村でも当該の活動に充てる予算は各年計上されている。ただ十分な額ではないため、地方の学校では様々な活動ができない状況がある。またいくつかの学校では活動が全くできないケースもある。一般的に学校では午前中の後、30 分程度の運動をする場合が多いが、サッカーやバレーボール等の競技スポーツは行われていないのが現状である。
(Ms. Chanhthone KHAMKONG)
- それらは政府系のクラブかと思う。草の根レベルからのアプローチではないと想定する。あなたが言われたように人々をスポーツについて教育していくことが論理的なアプローチになる。(筑波大学/永田教授)
- スポーツの参加率がコロナ禍で減少したということだが、その解釈の仕方はとても重要である。コロナの影響でスポーツへの参加減少率0.18%は大きな減少ではない。どうしてコロナ禍でも人々は運動に参加したと考えるか。(日本体育大学/岡出美則教授)
- COVID-19 禍に、多くの学齢期の生徒はウォーキングやインドアスポーツをしていたとの報告がある。その他国際デーにマラソン大会が行われたケースや、ウォーキング、自転車やエアロビクスを促進したことが、結果的にスポーツへの参加減少率を押さえることに繋がったように考える。(Ms. Chanhthone KHAMKONG)

⑤ マレーシア

【代表者】 Ms. Solehah MISRON (PETE) / Ms. Rafidah binti ABU BAKAR (SPD)

【発表者】 Ms. Solehah MISRON (PETE) / MS. Rafidah ABU BAKAR (SPD)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- マレーシアのプレゼン後には、「最大限のサポートが必要とする子どもたちに、体育においてどのようなアクティビティを実施することができるか。」という質問が Ms. Solehah MISRON から投げかけられた。
- 体育において特別なリソースがない場合、他の教育活動を使うことができる。例えば、アルファベットタイピング。紙皿にアルファベットを書いて並べ、生徒にこれを組み合わせて自分の名前通りに並べてもらうように指示する。このような活動に特別な道具は必要ない。まずは認識と精神運動系領域に焦点を当てた活動を考えてみる。これに慣れてきたらソーシャルスキルを身に着けるための活動も取り入れていく。すべてを一度に身に着けることは難しい。また、ポジティブ、ネガティブ、コレクティブフィードバックを取り入れながら指導を行っていくことで生徒の理解度を深めることは一案ではないだろうか。(筑波大学/佐藤教授)
- フィジーでは、ユニークな授業がある。まずは簡単なゲームをする中で、生徒はこのルールをどのように変えることができるのか、適応することができるのか話し合う。この過程から、生徒たちはシンプルなゲームから、どのように自分たちに適応させることができるのか、計画をすることを学び、様々なスキルを身に着けることができる。(筑波大学/山口助教)
- 最大限のサポートが必要とする特別な教育的ニーズを持つ生徒の定義は何か。
(Ms. Solehah MISRON)
- ここではカンボジアの一つの特別支援学校の例を挙げたい。あるクラスは聴覚障害、あるクラスは身体障害等、または学校ごとにある障害を担当する専門家が配属されている場合もある。この場合、体育をすべての生徒が同じクラスの中で実施することは現状、難しく思える。他方でフィジーは障害の程度や種類にかかわらず、一つのクラスの中で体育の授業が実施されている事例もある。(筑波大学/山口助教)

⑥ ミャンマー

【代表者】 Mr. Zaw Tun Aung (PETE), Prof. Than Than Htay (SPD),

【発表者】 Mr. Zaw Tun Aung (PETE)

【プレゼンテーション】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- 体育の教員は特別学級で障害者を教えることに慣れておらず、難しさを感じている。このようなASEANと日本の体育教員養成分野での協力でより多くの体育の先生が我が国で育つことを望む。(Prof. Than Than Htay)
- 教員養成コースには明確な目的と重視されるポイントがあるかと思う。他方、体育教員を養成することとコーチをトレーニングすることが異なると考えられる。ミャンマースクールゲームでもいくつかのスポーツに焦点を当てている。そのため、現在の関心、目的は生徒をトレーニングするということか。学校レベルでは、転がったり、ジャンプしたり、落ちたりといった基礎的な運動能力を養うことが重要かと思う。競技スポーツは異なる機会に異なる設定で行った方が良いのではないかとの印象を持った。(フィリピン/Mr. Walter TORRES)
- プレゼンテーションは基本的に中学校・高等学校の内容であった。小学校での体育教員養成のプロモーションはどのように行われているのか。(日本体育大学/岡出美則教授)
- ミャンマーのシステムでは全ての教員はテストに合格するとまず小学校の先生に就くことができる。そのため、全ての小学校の教員は体育教員の経験もあるものと考えを前提にしている。(Mr. Zaw Tun Aung)
- 小学校向けの Continuous Professional Development（継続的な専門教育）を開発しているが、そのワークショップはまだ続いているのか。(日本体育大学/岡出美則教授)
- 継続的に実施している。小学校の体育教員は毎年アップグレードして行かなければならない。私たち教育省はスポーツを専門とする人材を選出し、それらの先生は体育をコア教科として45日間学ぶことになっている。研修終了後に、小学校体育教員は中学校の体育教員へ昇進する。それが現行唯一の体育教員養成のプログラムである。(Mr. Zaw Tun Aung)
- ミャンマーのスクールゲーム期間中、ただ講義を聞いているだけでなく、経験から学んでいることが覗えた。(フィリピン/Mr. Walter TORRES)
- ミャンマーでは400人の研修生を選ぶ。教育大学から研修を受ける人材を選ぶが、(体育・スポーツコーチングのスライドを見せながら)、このプログラムをよりよくするアイデアがあれば、ぜひ教えて頂きたい。(Mr. Zaw Tun Aung)

⑦ フィリピン

【代表者】 Prof. Ma. Vanessa G. VINARAO (PETE) / Mr. Walter Francis K. TORRES (SPD)

【発表者】 Prof. Ma. Vanessa G. VINARAO (PETE)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- PhD プログラムを設置することについて、北アメリカでは、実際体育に関連する博士課程のプログラムがある。この目標を達成するうえで、アセアン諸国において、現在日本ですでに実施されている博士課程プログラムと連携することも一つの可能性として考えられる。そのうえで、今回の研修はとてもいい機会だと考える。(筑波大学/佐藤教授)
- フィリピンにおいて設置を計画している博士課程の主なコンセプトは何か。
(日本体育大学/岡出教授)
- 体育に焦点を当てたい。スポーツ科学などもコースがあるが、体育はそこまで注目されていない。高等教育が掲げるカリキュラムやグローバルスタンダードでは、体育の位置づけを高くしようとする傾向がみられる。そのうえで、研究、研究者の存在はとても重要である。しかし、すでに多くの教員が博士課程を取るために海外に出ているが、修士号や博士号を取得した後、国や所属していた元の機関に戻ってこないという課題が発生しているのが現状である。(Prof. Ma. Vanessa G. VINARAO)
- 海外で修士や博士課程を取ったが、国に戻らなかったり、元の機関に戻らなかったりするケースが見られる状況に陥ることを防ぐために、事前に文書などで約束を取り交わすといった事例はあるのか。(筑波大学/ 山口助教授)
- ガイドラインはある。しかし、その効力がそこまで強くないためこのような事態が多く起きているという状態である。(Prof. Ma. Vanessa G. VINARAO)

⑧ シンガポール

【代表者】 Mr. Derrick CHEE (PETE)/ Ms. Kelly FAN (SPD)

【発表者】 Mr. Derrick CHEE (PETE)

【プレゼンテーション】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- 長期・短期計画を立てるためには現状がどうなっているのかを確認する精度の高い評価が必要になる。障害者スポーツではどのような指標を活用しているのか。
(日本体育大学/岡出美則教授)
- フィードバックや調査票を活用している。具体的には関係者からのフィードバック、グループディスカッション、調査票を実施し、関係者の考え方にどのように影響しているかを確認している。私たちは関係者からのフィードバックを政策へ反映させ、制度化できるかが問われる。その他、国家調査、委員会での勉強会の結果を指標とし、政策に反映させている。
(Mr. Derrick CHEE)
- いくつかのケースではデータがたくさんあるため分析が難しい。また、いくつかのケースでは目的を将来的に変更して行く必要がある。障害者スポーツを促進させるために変更された目標はあるのか。(日本体育大学/岡出美則教授)
- グループディスカッションや調査票は一般的である。私たちはデータを入手し、それらのデータを分析しながらシステムがどのように障害者に利益となったのかを分析している。シンガポール障害者スポーツ協議会はより草の根レベルでの活動を行う組織である。集められたデータを分析しフィードバックした内容がしっかり政策に反映されたかの検証は必要である。データは実態に基づく、正確なものである必要がある。(Ms. Kelly Fan)
- 良いデータがあるならば良い研究テーマを設定する必要がある。いくつかの国では研究者が少ない。そのような場合大学と協力することが難しい。しかし、省内に良い研究者がいるとより良い研究デザインをすることができる。(日本体育大学/岡出美則教授)
- 省には研究や政策をバックグラウンドにしてきた人材もいる。私たちはどのようなタレントがいるのかも把握しており、大学等と協働して行きたい。(Ms. Kelly Fan)
- もしシンガポールが研究デザインや手法の情報をアセアンの他国に共有するとアセアン各国も良い情報を得られる。(日本体育大学/岡出美則教授)
- アカデミック側は研究を客観的に進め、制度的なことは政策者が進めているのが現状である。
(Ms. Kelly Fan)
- 日本の大学からのインプットは歓迎する。チャレンジはどのデータがより関連があるかということだが、少ない情報より、より多くの情報があった方がより良い。日本は特に障害者スポーツの研究が進んでおり、より良い政策に反映できる。(Mr. Derrick Chee)

⑨ タイ

【代表者】 Dr. Chalitpol SUEBMAI (PETE) / Dr. Taweechoal PONGDEE (SPD)

【発表者】 Dr. Chalitpol SUEBMAI (PETE)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- 授業計画の質を評価する基準は何か。(日本体育大学/岡出教授)
- 現状無いが、体育の専門家に相談し、今後連携をとっていく予定がある。
(Dr. Chalitpol SUEBMAI)
- 様々なステークホルダーがいるが、日常的にかかわりが少ないケースがある。すべてのステークホルダーが一堂に集まり議論をすることのメリットをどう考えるか。すべてのステークホルダーと一緒に体育の促進をしていくためには何が必要か。
(日本体育大学/岡出教授)
- パブリックセクターとの連携、省庁がイニシアチブを取ることが必要と考える。
(Dr. Chalitpol SUEBMAI)
- その場合、すべてのステークホルダーの文脈や立場、意見を検討して行く必要がある。
(日本体育大学/岡出教授)

3月7日に各国代表がアクションプランの実施進捗状況についてプレゼンテーション後に、質疑応答をはじめディスカッションが行われた。そのディスカッションや講義、他国からの情報共有、日本専門家との議論をもとに、現行のアクションプランについて加筆および修正する点を改めて検討の上、発表、共有した。以下はそのディスカッションの内容をまとめたものである。

① ブルネイ

【代表者】 Mr. Haji Muhamad Azrin HAJI AJI (PETE)/ Ms. Pengiran Nurhazigah Azmina Binti Pengiran SAHMINAN (SPD)

【発表者】 Mr. Haji Muhamad Azrin HAJI AJI (PETE) / Ms. Pengiran Nurhazigah Azmina Binti Pengiran SAHMINAN (SPD)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- 障害者のスポーツへの参加にイベントを用いることについて、日常的な体育への参加はどのように促していくのか。体育とスポーツの目標の違いをどのように設定するのか。
(筑波大学/山口助教)
- 障害のある児童生徒が学校での体育にどのように参加していくかはまだ明確ではない。懸念しているのは何人かの教員が、体育を大会に出る前の基礎のスキルの習得の場として考えていることである。教員が教材や教具に工夫をしながら生徒に合わせた体育の授業を構成していく方法をしていくが必要であると考え。 (Mr. Haji Muhamad Azrin HAJI AJI)
- 体育に関連するプログラムを高等教育に導入する上での障害や課題は何か。
(日本体育大学/岡出教授)
- 以前は高等教育に体育に関連するプログラムがあった。しかし需要の低下から、10 年前に停止しているのが現状である。 (Mr. Haji Muhamad Azrin HAJI AJI)
- もちろんたくさんの障害はある。大学レベルでのプログラムを持つためには、人的資源を持つこと、体育スポーツ自体を進めていくことが大事。また、そのシステムをサポートする人や機関を探すことも重要である。(日本体育大学/岡出教授)

- 他の国では、外部からカリキュラム開発を行う機関、部局に専門家を招くことが難しいという意見が挙がった。ブルネイにおいて、外部からこれらの機関に対して専門家を招くことは可能か。(筑波大学/山口助教)
- カリキュラム開発を行う機関はそれぞれの教科のシラバスを作成するなど、外部からの専門家とは別個に、通常独立して動いている。課題はたくさんあるが、この研修で作ったプランを提案することなど、少しずつその機関とコミュニケーションが取れてきている。少しずつだが前に進むことができている。(Mr. Haji Muhamad Azrin HAJI AJI)

② カンボジア

【代表者】 Ms. HOU Sitthisophealai (PETE)/Mr. YI Sopheaktra (SPD)

【発表者】 Ms. HOU Sitthisophealai (PETE)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- NIPES の人材育成について、率直にどのように感じているか。彼らには日本に行く機会やワークショップに参加する機会がある。何人かはプロジェクトのタスクに従事している。どのように能力が向上したと感じているか。（日本体育大学/岡出美則教授）
- 日本に行った NIPES の職員は、帰国後に経験を共有するため、ハート・オブ・ゴールドとのワークショップで他の職員に対してプレゼンテーションを行っている。私が参加したワークショップでは、彼らの教え方やプレゼンテーションスキルが向上していると感じている。また彼らの態度も変わってきた様に思う。彼らは新しい教授法を用いることにモチベーションを持っており、他の NIPES の教員とも協働している。彼らを海外へ送ることで、他の国の体育教員養成がどのようになっているかを知り、体験する機会につながっている。それらをカンボジアの社会的文脈や現状に落とし込み、いかに NIPES 内で教授法を発展させるかを考えるようになった。故に、貴重な機会だと考えている。また、今後も多くの NIPES のスタッフにこのようなコースにも参加し、知識を広げてもらいたい。（Ms. Hou Sitthisophealai）
- 海外へ送るだけでなく、彼らが学んだことを他の職員に情報共有を依頼することは大変重要である。同様の状況は他の国でも見られる。人材は限られているが、他のスタッフに教えること、新しいことに挑戦することへのモチベーションに繋がっているように思う。
（日本体育大学/岡出美則教授）

③ インドネシア

【代表者】 Ms. Hilda ILMAWATI (PETE) / Ms. Mesa Rahmi STEPHANI (SPD)

【発表者】 Ms. Mesa Rahmi STEPHANI (SPD)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- 証拠に基づく結果は人々に体育、障害者のための体育の重要性を理解してもらううえで非常に重要である。今後はアカデミックな調査だけでなく、質的、量的研究に基づいた社会調査を実施していくとさらなる発展が見込めると考える。また、マレーシアの障がい者スポーツに特化した教員についての情報共有をしてほしい。インドネシアとマレーシアは環境が似ている点が多いと思う。マレーシアとインドネシア間の情報共有は有益と考える。
(筑波大学/山口助教)
- マレーシアによる体育教員養成制度、体育の制度のシステム、カリキュラムにおいては 4 つの領域、身体、認知、情緒、社会的領域の 4 つの概念を取り入れている。またインクルーシブ教育プログラムは大きく分けると 3 つある。特別支援教育では、学校によって在籍する生徒の障害の種類が違う。私たちもインドネシアの方々と共に学び、情報共有を続けていきたい。(マレーシア/Ms. Solehah MISRON)
- 体育の先生は多くいるが、障害のある児童、生徒に対しての指導法、指導技術を身に付けていない場合が多い。マレーシアでは体育教員養成課程でこのような指導法を学ぶ機会、スポーツ施設やプログラムはあるか。(Ms. Hilda ILMAWATI)
- この課題をとりあげて各ステークホルダーで連携して今年もしくは来年にトレーニングをスタートさせることもできるかもしれない。(マレーシア/ Ms. Solehah MISRON)
- インドネシアでは、PETE と SPD の連携をより加速させていくために、ワークショップなどを今後もステークホルダーと連携して行っていきたい。(Ms. Mesa Rahmi STEPHANI)

④ ラオス

【代表者】 Ms. Chanhthone KHAMKONG (PETE), Ms. Latsame VITHAYA (SPD)

【発表者】 Ms. Chanhthone KHAMKONG (PETE)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- カリキュラム開発と教員養成の2点を更新したことが確認できた。最初の事項は、地方でのデータが取れることが良い点と考える。2点目の新しい教員養成システムへの移行は挑戦的な取り組みである。その移行過程についてはカンボジアの状況を参考に出来ると考える。教員養成システムの意向について何が難しい点と考えるか。（筑波大学/山口拓助教）
- ラオスでは体育大学で現在、教員養成カリキュラムを設けている。現状出来ることとして、すでに地方で教員として働いている教員に戻ってもらい、教員養成カリキュラムの更新に協力してもらうことを考えている。（Ms. Chanhthone KHAMKONG）
- 1大学のみで行うという理解か。（筑波大学/山口拓助教）
- ①Physical Education College、②Faculty of Sport Science and Physical Education、③Institute of Sports の3拠点になると考える。（Ms. Chanhthone KHAMKONG）
- それらは体育教員養成に同じカリキュラムを使用しているのか。（筑波大学/山口拓助教）
- 体育教員養成とスポーツ科学のカリキュラムがあるが、教育省に従う必要があり、基本的には同じカリキュラムになる。（Ms. Chanhthone KHAMKONG）
- 3つの大学を学士課程に移行したいということか。（筑波大学/山口拓助教）
- おそらく Physical Education College がパイロットとなり、その後他の2校を移行したいと考える。（Ms. Chanhthone KHAMKONG）
- 何名の現職教員を学士にアップグレードさせたいと考えるか。
（カンボジア/Ms. Hou Sitthisophealai）
- 教育省内予算に鑑み、まずは68人をアップグレードさせたいと考えている。
（Ms. Chanhthone KHAMKONG）
- 彼らは現役の体育教員か。（カンボジア/Ms. Hou Sitthisophealai）
- 現職教員である。（Ms. Chanhthone KHAMKONG）
- 彼らは On-the-job-training を通じてアップグレードするのか。それとも休職しないと行けないか。（カンボジア/Ms. Hou Sitthisophealai）
- 彼らは他の県で教員として働いているため、夏休みの期間にプログラムを開講し、それに参加してもらうことを考えたい。（Ms. Chanhthone KHAMKONG）
- Research Institute for Education Sciences はどのような機関か。これはラオスの政府系組織か。

体育の研究者はいるのか。（筑波大学/永田教授）

- 確認後、回答する。（Ms. Chanhthone KHAMKONG）

↓確認後の回答

1. 当該機関は大学研究機関である。
2. スポーツ科学・体育学科は当該機関の 1 つのセクションで、後者に体育教員養成コースが設置されている。
3. また、スポーツのコーチ養成機関としての機能も併せ持つ。

⑤ マレーシア

【代表者】 Ms. Solehah MISRON (PETE) / Ms. Rafidah binti ABU BAKAR (SPD)

【発表者】 Ms. Solehah MISRON (PETE)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- マレーシアが体育教員養成課程で実施しているインクルーシブプログラムの 3 つのモジュールについて教示願いたい。(インドネシア/ Ms. Hilda ILMAWATI)
- この 3 つのモジュールは3つのレベルに分かれ、政府、公的機関にのみに開かれ、一般には開かれていない。このモジュールはインクルーシブ教育の重要性を学ぶことを狙いとし、講義を受講し、テストに合格すると次のモジュールに進み、3つのモジュールをコンプリートする仕組みになっている。全員が対面で受講することは難しいため、オンラインで実施している。(Ms. Solehah MISRON)
- 他方、パラゲームに向けて、学校教員をスポーツコーチとして育成する過程、仕組みはどのようなものか。(インドネシア/ Ms. Hilda ILMAWATI)
- 青年スポーツ省が、NGO と連携してパラスポーツのコーチを養成するためのコースを開いている。(Ms. Solehah MISRON)
- 体育教員がパラスポーツのコーチになれるようなトレーニングを受講することができるのはとても素晴らしいことである。何人の教員がトレーニングを受けるか。
(ミャンマー/ Prof. Than Than Htay)
- 2022 年は 19 人、2023 年は 16 人の教員がこのトレーニングを受けている。
(Ms. Solehah MISRON)

⑥ ミャンマー

【代表者】 Prof. Than Than Htay (SPD), Mr. Zaw Tun Aung (PETE)

【発表者】 Mr. Zaw Tun Aung (PETE)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- 小学校・中学校・高等学校の体育教員の選出評価方法が興味深い。2年間の経験と1つの特別なスキルが必要ということだが、小学校と中学校の体育としての目標に違いがあるのか。中学校の体育教員は7種のスポーツを理解している必要があるかと思うが、中学校と高等学校の体育教員となるためのスポーツ学科は設置されているのか。
(インドネシア/Ms. Hilda ILMAWATI)
- 小、中、高の体育の目的は基本的には同じである。教育心理学面はアップグレードしないと行けません。他方、高等の体育教員になるには、修士課程を了する必要がある。一般的な体育教員のキャリアプランは、小学校、中学校、高等学校とステップバイステップで上がって行く仕組みになっている。また、選出方法は、Pre-serviceの教員とIn-serviceの教員のトレーニングを実施している。体育教員を目指すPre-serviceの生徒は先ず4年間学び、卒業後に小学校教員だけでなく、小学校の体育教員として任命される。その後、45日間のトレーニングを受講し、3年間の教員経験後、中学校の体育教員になる。その後改めて選定、大学の受験資格が与えられ、試験に合格すると2年間の学習後、高等学校の体育教員として任命される仕組みになっている。(Mr. Zaw Tun Aung)
- 2年間の経験と修士課程はプロモーションの一環だと認識した。全ての教員がプロモーションの対象となるのか。(インドネシア/Ms. Hilda ILMAWATI)
- 毎年夏に全ての体育教員対象にリフレッシュコースを設けており、トレーニング、モニタリング後、評価に応じそれらの教員をプロモーションしている。尚、毎年のリフレッシュコースは7日間程度で開催している。(Mr. Zaw Tun Aung)

⑦ フィリピン

【代表者】 Prof. Ma. Vanessa G. VINARAO (PETE) / Mr. Walter Francis K. TORRES (SPD)

【発表者】 Prof. Ma. Venessa G. VINARAO (PETE)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- 何人の PhD 修了者が将来的に生まれることを想定しているか。(筑波大学/山口助教)
- 人数については愚弟的なものはないが、マニラには 210 つの体育やスポーツ、健康に関するプログラムを提供している高等教育機関がある。PhD プログラムを運営するうえではコストが課題となってくるため、パブリックセクター等と連携することが必須となっている。他方、体育の博士号を取得している人材は少ないが、将来的に博士号を取得できる見込みのある人材はいるものとする。継続的にフォローアップを行い彼らが博士号を取得できるよう、体育にフォーカスした PhD プログラムの強化、開設を進めて行くことを推進したい。

(Prof. Ma. Venessa G. VINARAO)

- 論文提出は重要であるが、体育やスポーツ、健康に関連したアカデミックな組織はフィリピンにあるのか。(筑波大学/山口助教)
- いくつかの組織が協働して研究活動を行っている状況である。またその研究はとても短い期間で行われていたため、長期的に行われるケースは少ない。

(Prof. Ma. Venessa G. VINARAO)

- 研究領域は研究者や、PhD ホルダーにとっても重要である。ASEAN Council of Physical Education and Sport (ACPES)など、アセアンのアカデミックな機関とも連携し、フィリピンの研究活動をさらに進めていくことができると考える。研究活動は、大学教員だけでなく、小学校や中学校の先生たちも行い、多くの人で体育に関連した研究分野をさらに発展させていくことができると考える。(筑波大学/山口助教)
- 体育に関するプログラムをゼロから始めることは難しい。ほかの領域と併せて PhD プログラムを作ることにもできる。PhD プログラムは研究方法が重要であり、他の領域と類似点もあり、研究方法に関し学べることが多くあるため、ほかの領域との連携も検討可能と考える。

(筑波大学/永田助教)

⑧ シンガポール

【代表者】 Mr. Derrick CHEE (PETE) / Ms. Kelly FAN (SPD)

【発表者】 Mr. Derrick CHEE (PETE)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- どのように体育教員が障害者を教えられるようになるか皆の意見を伺いたい。
(Mr. Derrick CHEE)
- どのようにインクルーシブ教育を実現させるかの方法によると認識する。多くの障害を持った生徒の障害の応じた異なる指導法を適用しなければならない。特別教育もあると思うが、フィリピンでは基本的には一般の学校がベースになると考える。ただ重度の障害がある場合、一般の学校での対応は難しくなるのが現状であり、その対応は別の基準で考えて行かなければならない。(フィリピン/Ms. Ma. Vanessa G. VINARAO)
- 障害者の重度も一つの視点かと思う。重度が高ければ、通常の学校へ行くことが難しい。この問題はシンガポールの教育省も最近まで直面していた。以前は知的障害より身体障害を持った生徒が多くいる状況があった。他方、重度の知的障害を持っている生徒のいる一方で、軽度の知的障害者の場合、多くの親は子どもを普通の学校に入れたいと考えている傾向がある。問題は一般の学校教員がそのような障害者を教えることに慣れていないという点である。クラスには30人～40人の生徒がおり、その中で軽度な知的障害者に教員は注意を払わなければならない。教員が全体をマネージできなくなると授業自体が進まなくなること考えられる。しかしながら、親に対して障害を持った子どもは普通学級には入れられないと言えないため、彼らは特別学校など他の学校に行かなければならない状況も多くある。(Mr. Derrick CHEE)
- メカニズムとシステムを構築は複雑な問題だが、まずは教員の障害を持った生徒への教育法などに関する能力開発、研修などが求められる。
(フィリピン/Ms. Ma. Vanessa G. VINARAO)
- 脳性まひの児童に対して、特別なカリキュラムがあるか。
(ミャンマー/Ms. Than Than Htay)
- Derrick の発言通り、身体障害者より知的障害者は教員の授業運営が難しくなる。彼らは身体的には何も問題が無い場合が多いことも一因である。シンガポールでは全ての体育教員は身体障害者には「インクルーシブ体育」というモジュールを活用し、いかに体育を身体障害者に広げるかを追求している。フィードバックを聞く限りこれについては現状、上手く機能している印象である。脳性麻痺の生徒には部分的に身体機能を使える生徒もいる。軽度の脳性麻痺の生徒はあまり問題にはならないが、重度の脳性麻痺の生徒にはどのように体育の授業

に参加させるのか、先生と確認して決めるという選択肢を担保している。特別学級は 2～3 校が脳性麻痺の生徒に対応している。今年はそれらの学校で「インクルーシブな体育」を目的としたカリキュラムを始める予定である。（Ms. Kelly FAN）

- 知的障害と身体障害を統一的に考えるモジュールがあっても良いと個人的には考えている。
（ミャンマー/Ms. Than Than Htay）
- 同様なケースはスポーツ分野にもある。例えば、バスケットボールを習いたい、水泳を習いたい場合、障害を持った子供にも教えられるよう、様々な障害に対応できるコーチの育成も必要になる。（Ms. Kelly FAN）
- ミャンマーの場合、省にフィジオセラピストがおり、シンガポールに行き、コースを受講、脳性麻痺および障害者スポーツのクラスを認定、指導する資格を取得した。
（ミャンマー/Ms. Than Than Htay）
- どのように政府を動かしてゆくかについて、国連障害者権利条約があることの意味は大きく、シンガポールを含めて何かしてゆくことが求められている。体育も障害者の権利であり、我々は提供してゆかなければならない。インクルーシブ体育では体育教員が軽度の障害者には授業を提供できる一方、診断されていない障害者もあり、障害を持った生徒への対応はスポーツを得意としない生徒への対応としても生かせると考えている。（筑波大学/永田教授）
- 障害を持った生徒への対応が体育を好きでなく、得意でない生徒にも転用可能という点は興味深い。（Mr. Derrick CHEE）

⑨ タイ

【代表者】 Dr. Chalitpol SUEBMAI (PETE) / Dr. Taweechoak PONGDEE (SPD)

【発表者】 Dr. Chalitpol SUEBMAI (PETE)

【プレゼンテーション内容】 資料に沿って発表

【ディスカッション内容】

- 政策の策定機関と実施機関が異なる場合、決定権の裁量はどのようになっているのか。
(ブルネイ / Mr. Haji Muhammad Azrin HAJI AJI)
- 観光・スポーツ省は体育やスポーツの専門性が高い一方、学校での実施に関しての権限がない。そのため、我々のカリキュラムを学校でも使用できるよう、教育省と連携していかなければならない。予算があれば、体育をもっと広げていくことが出来ると考える。他方、学校の教員は障害のある児童、生徒に対しての指導法に関する知識がないのが現状の課題である。
(Dr. Chalitpol SUEBMAI)
- 外部の専門家などと連携していくのも一つの手段ではないか。
(ブルネイ / Mr. Haji Muhammad Azrin HAJI AJI)
- タイだけの問題だけでなく、政策の策定機関と実施機関が異なる例はよくある。かかる状況下、制度と実施をより円滑に機能させて行くためにはどうしたら良いか。
(筑波大学/山口助教)
- データの収集と関係機関の連携、わが国では組織間の覚書署名なども重要であると考えている。(ブルネイ / Mr. Haji Muhammad Azrin HAJI AJI)
- エビデンスベースのアプローチはとても重要である点は最後に強調したい。
(筑波大学/山口助教)

●アンケート概要：

2023年3月5～8日の4日間に開催された「体育教師教育/障がい者スポーツ」改善に係る第2回オンライン・ワークショップに参加したASEAN計10か国の参加者を対象に、Google Formにて作成されたオンライン・フォームを用い、ワークショップ参加、運営にかかるアンケート調査を実施した。回答方式は概ね4つの選択肢(例:内2つが肯定的、2つが否定的回答の選択肢、例外あり)からの選択式および一部自由記述式とした。

結果、参加した10か国それぞれの政府に任命された体育教師教育カウンターパート(各国1名)、障がい者スポーツカウンターパート(各国1名)およびワークショップに参加した各国オブザーバーらの内、18名の回答を得た。尚、各国少なくとも1名の回答は得られた旨申し添える。

●アンケート実施期間：2023年3月8日(水)～13日(月)

●アンケート実施目的：

得られた結果を踏まえ、改善点の洗い出し、新規アイデアの聴取を通じ、次年度の事業およびワークショップの実施運営向上および事業内容の質向上を図るもの。

●回答状況：

回答者：18名(ASEAN10か国 ※1名ミャンマー・オブザーバーを含む。)

回答回収率：85.7% (全18回答/10か国×カウンターパート各2名+オブザーバー1名)

未回答者：

1) 体育教師教育担当者(PETE:1名)：ベトナム

※ベトナム PETE カウンターパートは ASEAN School Games 開催ホストに係る実地および体制整備のため、今回不参加。

2) 障がい者スポーツ担当者(SPD:2名)：カンボジア、シンガポール

※本文では以下 PETE (体育教師教育)、SPD (障がい者スポーツ) と記載する。

【ワークショップ開催背景と結果の受け止め】

今回、ワークショップのオンライン開催が、実際の実施約1週間前に決まり、ワークショップ自体の開催案内がショートノティスとなったにも関わらず、ASEAN School Games のホスト国としての準備業務によりワークショップに参加がかなわなかったベトナム PETE カウンターパート1名を除き、19名の ASEAN10 か国政府に任命されたカウンターパートの参加が実現したことは、主催者として驚きを持って肯定的に受け止めた。

当初本事業では、本年度日本での対面開催を目指し、準備、調整を行ってきたものの、ハイレベルでの交渉、調整および解決法の模索に時間を要した。

かかる状況下、開催にこぎつけたことは、各国カウンターパートを始め、ASEAN事務局、関係省庁、各国スポーツ高級実務者会議メンバー (SOMS) の見えない努力、協力の賜物と言える。他方で、他力に依存しない形での事業運営について自戒の念も含め、事業主体として以下回答者の改善要望を中心に今一度、謙虚に受け止めたい。

他方、カウンターパートの「対面でのワークショップ開催」を望む声が多い一方、日本側からのより積極的関与、情報提供、障がい者スポーツおよび体育授業に関する実践交流等も要望されていることが分かった。次年度については本事業 3 年目となることも踏まえ、実施時期、場所、内容や事業成果の周知も含め、より効果的な実施方法について総合的に判断して行きたい。

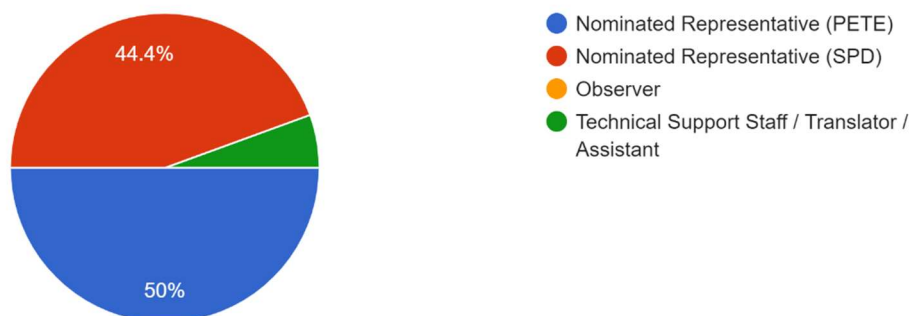
【設問および回答内容の考察】

●ワークショップ参加について

1. Please select your participation status.

18 responses

参加者の属性

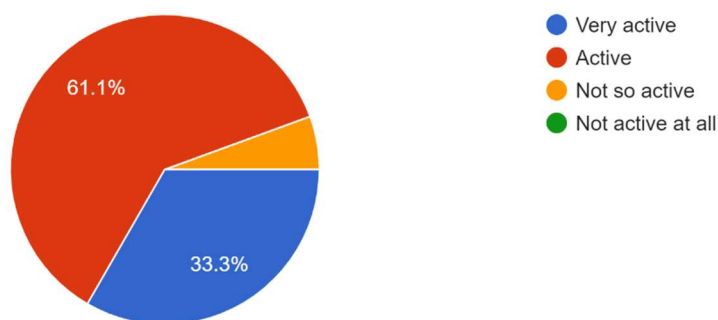


ミャンマーのサポートスタッフ 1 名からのアンケート回答 1 件も、全体の結果に含まれる点、留意する。尚、当該回答者は以下、オブザーバーとして記載する。

2. Did you participate actively in the Training Programme?

18 responses

ワークショップへの参加積極性

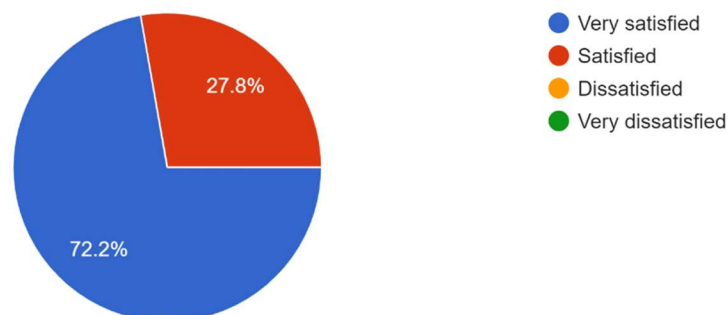


概ね、参加者の積極的参加、関与が得られたものと理解する。他方、「それほど積極的に参加できなかった」（ブルネイ：SPD）は、オンライン形式であったため他業務が同時並行で進行し、その対応に追われたこと、今回初回の参加であった点、国際会議などでの英語による口頭コミュニケーション機会がこれまであまりなかったことに起因する苦手意識があったものと推察される。尚、当該カウンターパートは、英語によるメール、文書のやり取りには全く支障ない旨、申し添える。

3. Are you satisfied with the knowledge and information provided about PE teacher education (PETE)?

18 responses

得た知識・情報に対する満足度

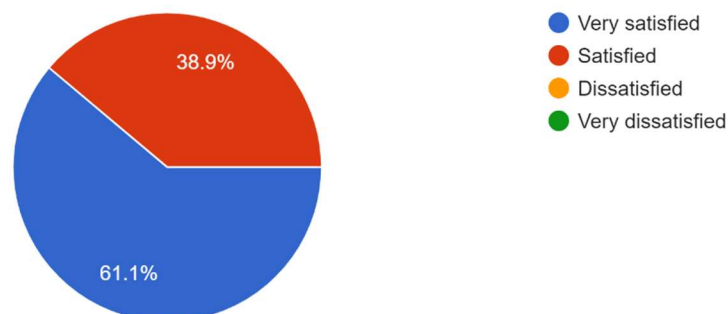


回答者全員から満足したとの回答が得られた。特に PETE カウンターパート以外からも「とても満足している」との回答が得られており、その割合をより高めていることに注目したい。それは、参加者の多くにとって、共有された情報の有用性の高さや学ぶべき情報が多くにあったことに加え、体育教師教育の講義内容に「インクルーシブ」の観点、概念を反映させたことにより、SPD カウンターパートの関心も増した好影響があったものと推察する。

4. Are you satisfied with the knowledge and information provided about Sport for People with Disabilities (SPD)?

18 responses

得た知識・情報に対する満足度

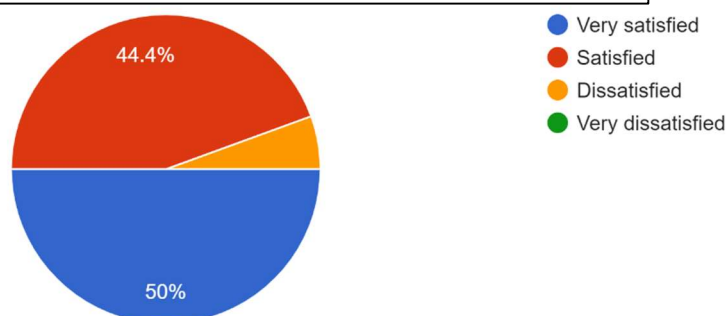


PETE 関連の情報、知識同様、回答者全員から満足したとの回答が得られた。体育教師教育 (PETE) に関して得た情報よりも「とても満足している」の回答割合が僅かに低いのは、カンボジアおよびミャンマーPETE カウンターパート、ブルネイ SPD カウンターパートが PETE 分野で得た情報、知識を「とても満足している」とした一方、SPD に関する情報、知識について「満足している」と評価したことに起因している。「研究手法」にかかる講義内容が、多くを行政官が占めるカウンターパートにより幾分「専門的である」と捉えられた可能性が推察される。しかしながら、それでも高い満足度が結果として得られたものと理解している。研究方法に関する知識、技能は行政官にとって重要であり、自国で人材を確保できている国と現状、それが困難な国が見られることは、ワークショップ内でも指摘されていた。また、行政官自身が企画を立案し、調査を依頼できる人材や組織の有無や成熟度が、より信頼でき、実行可能なアクションプラン作成の第一歩になると考えられる。その意味では、現状把握に向けた課題が共有されたと考えられる。

5. Are you satisfied with the contents of the action plan you revised/created?

18 responses

自身の改訂/作成したアクションプランに対する満足度



概ね、自身の作成もしくは改訂した体育教師教育改善を目的としたアクションプランの内容に満足しているとの回答を得た。他方、「満足できなかった」（ベトナム：SPD）との回答は、今回同国 PETE カウンターパートが本ワークショップを欠席せざるを得なかったこと、同アクションプランについての内容、進捗をカウンターパート間で事前に共有しきれなかったことによる回答と考えられる。インクルーシブな体育教師教育の展開は、複数の省庁、あるいは部署間の連携を必要とするとともに多様なステークホルダーとの関係づくりを求めることになる。この関係づくりは、まさに今回のプロジェクトを通して開始され始めたばかりであり、今後の連携の進展が期待される。

6. Which content on PETE/SPD was the most interesting for you or for your country?

（自身、自国にとって最も関心を引いた体育教師教育/障がい者スポーツのコンテンツはどれか。）

記述式回答は以下の通り。

- ・ Thailand (マレーシア：PETE)
- ・ On content, it is the connection/synergy of PETE and SPD in many aspects, but the most important, is the COLLABORATION AND SHARING OF BEST PRACTICES with one another. Great takeaways from insights generously shared. (フィリピン：PETE)
- ・ The collecting data process, especially Qualitative methodology in PE Lessons and Inclusive PETE, also SPD. (インドネシア：SPD)
- ・ Implementing various way/programs to enhance QPE in Inclusive context. (インドネシア：PETE)
- ・ Curriculum development guidelines for PETE/SPD (タイ：SPD)
- ・ As I had previously only been considering the scope of sports in general, I realized that all of the topics were helpful. I learned from this workshop that focusing on the target group specifically (students, people with disabilities, teachers) will have a more beneficial effect and outcome in the action plan, especially in terms of budgetary control. (マレーシア：SPD)
- ・ Paper Presentations about Physical Education (フィリピン：SPD)
- ・ Information-sharing on the progress of the Action Plan Implementation (ベトナム：SPD)
- ・ Interested in promoting participate learning for people with disabilities and without disabilities (ラオス：SPD)

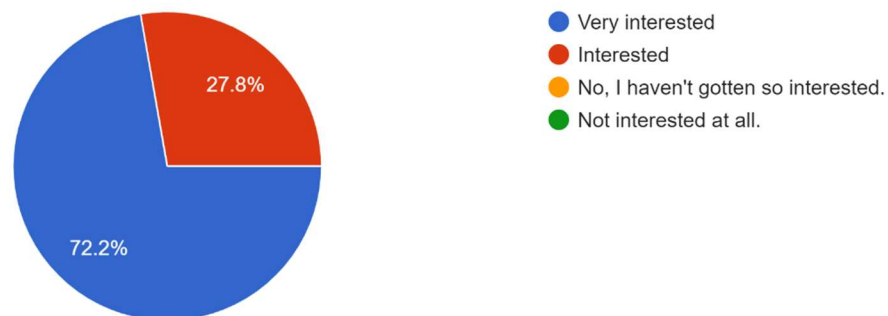
- ・ Both (ミャンマー：PETE)
- ・ As 2 subjects are related subjects, both are very much interested for me as a whole, more on increase production of PE teachers for both abled and disabled schools and disabled sports.
(ミャンマー：SPD)
- ・ Promoting quality of Physical Education teacher education in my country and Developing inclusive Physical Education in the mainstream schools (カンボジア：PETE)
- ・ Physical Education Teacher Training (ミャンマー：オブザーバー)
- ・ The Philippines presentation was beneficial for the development of PETE infrastructure in Brunei (ブルネイ：PETE)
- ・ Regarding Promoting PETE to Special Students (ブルネイ：SPD)

包摂（インクルーシブ）の概念、観点を反映させた形での体育教師教育プログラムの創設、同教員育成システムの確立、自国の社会的文脈に合わせた実施が概ね関心を集めたものと理解する。その他、各国間のグッドプラクティスの共有、協働、研究における定性分析、カリキュラム作りのためのガイドライン、対象者を明確にしたうえでの施策、パイロット校におけるインクルーシブ体育の実施等も同様に関心を集めた。またフィリピンの体育教師教育に係る資源、環境に注目するカウンターパートもいたことが分かった。それは、このように各国が自国の文脈で展開している試みから各国が互いに学び合える関係づくりが進んでいることを示唆するものであり、本プロジェクトが意図してきた専門職学習集団（Professional Learning Community）がインクルーシブな体育教師教育に関わる関心や意識が醸成されてきていることを示唆している。

7. Did you get more interested in the situations related to PETE or SPD of other ASEAN member states?

18 responses

他国の PETE、SPD への興味が増したか



回答者全員から ASEAN 内他国の PETE および SPD の状況への興味が増したとの回答が得られた。他国の PETE、SPD 周辺の環境、情報に各国カウンターパート自身が興味を抱くことが、本事業の実施目的の一つである「ASEAN 域内のネットワーク構築、強化」のベースとなるものと考え、次年度の事業実施次第でそれを確立する条件は概ね揃ったものと認識する。

今後、各国間の個人レベルでの繋がり強化、連絡のやり取りの促進、グッドプラクティスのみならず、課題の共有を通して持続可能なネットワークの基礎を構築できるよう、事業実施主体として活用資源、アプローチ手法を含め長期的視点から検討して行きたい。

8. In which ASEAN member states are you more interested, from your PETE or SPD's viewpoints?
(Ex. Inclusive PETE mentioned in the presentation from Indonesia, and Malaysia)

(体育教師教育および障がい者スポーツの観点から、最も興味をひいたのはどの国か。)

記述式回答は以下の通り。

- PETE from Brunei (pilot school) and the Inclusive Education module from Singapore (フィリピン：PETE)
- PETE mentioned from Brunei, Cambodia, Philippines. Inclusive PETE mentioned from Malaysia, Myanmar, and Singapore. (インドネシア：SPD)
- Malaysia (ラオス：PETE)
- Inclusive PETE implementation program in Malaysia. (Modules-based website platform) (インドネシア：PETE)
- Singapore (タイ：SPD)
- I am interested in action plans from Singapore, Indonesia, and Brunei. Because there are nearly identical implementation methods that can be used in Malaysia (マレーシア：SPD)
- SPD Singapore (フィリピン：SPD)
- Laos and Myanmar (ベトナム：SPD)
- I'm interested to learn new experiences from ASEAN member countries in development PETE or SPDs (ラオス：SPD)
- Malaysia (ミャンマー：PETE)
- Inclusive PETE from Cambodia SPD from Singapore (ミャンマー：SPD)
- Inclusive PETE mentioned in the presentation from Indonesia and problems in inclusive Physical Education raised by Singapore (カンボジア：PETE)
- Singapore (ミャンマー：オブザーバー)
- Philippines and Singapore (ブルネイ：PETE)
- PETE Presentation from Malaysia in inclusive PETE (ブルネイ：SPD)

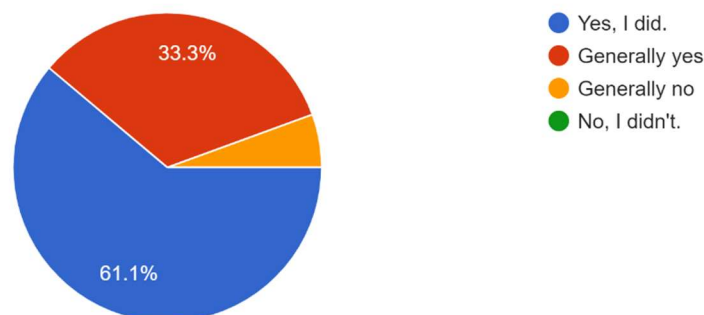
各国のアクションプランの実施中間報告および改善点について、概ね、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピンの PETE および SPD における取組がより多くの関心、興味をひいたとの主旨の結果が得られた。特にブルネイのパイロット校における体育教師教育の実践、インクルーシブな体育に向けよりプラン内容が具体的なインドネシア、既に実施段階にあるマレーシアは特に他国にとっての学び、グッドプラクティスとなり得るとの印象を回答者が受けているものと推察する。

他方、SPD については、シンガポールの取り組みがより多くの関心を集めた。今後、これらの関心事項に応じた複数国による勉強会、情報交換の場等、オンラインを活用し実施して行けるかも含め、検討して行きたい。

9. Could you develop or improve your relationships with another representative from your own country during this programme?

18 responses

同国カウンターパートとの関係性の深度

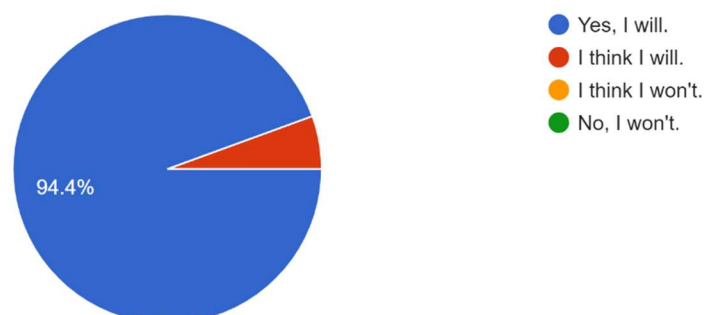


PETE カウンターパートが参加できなかったベトナム SPD スポーツ担当者から「同国カウンターパートとあまり関係を深めることが出来なかった」との回答が寄せられた以外は、概ね同国カウンターパート間での連携、協働による関係の強化が進んだものと思われる。尚、その傾向は 2 年連続で同じメンバーの参加した国により強く現れている傾向は特筆に値する。本事業では、普段別組織もしくは別部署で働く各カウンターパート間、ひいては組織間、部署間のより強い連携、協働関係を醸成してゆくことも事業大枠での実施目的と位置付けており、ASEAN 内でのネットワーク構築の上で欠かせない構成要素の一つであると捉えている。今後、更なる協働関係の促進に関する仕掛けについて、検討して行く所存である。

10. Will you have chance to share the information/knowledge obtained through the project ASEAN-Japan with your colleagues or report to your boss at your workplace?

18 responses

得た知識・情報の職場での共有機会の有無



タイの PETE カウンターパートが「共有機会があると思う」とした以外は、残りの全員の回答者が「情報共有の機会がある」と明確な回答を示した。タイの PETE カウンターパートについては、当該部署関係者多数が画面には現れないものの、ワークショップに直接関与、参加していたことが上記回答の理由になっているものと推察される。よって、本ワークショップ内で共有された情報は、各カウンターパートおよび周辺関係者を通じ、各国内の政府関係省庁内に広く共有、波及することが期待される。また、今後は各国内での当該アクションプランの実施に関し、ステークホルダーへの二次的、副次的波及も見込まれ、日本側も必要に応じ状況把握、情報提供をはじめ、フォローア

ップを行ってゆく必要がある。

11. According to your opinion, what will be more critical or important to create and maintain the base of PETE/SPD network within ASEAN-Japan?

(Ex, fixed focal points, mailing list, responsible person, budget, sharing of the same space in Drive/Cloud, workshops, meeting at a physical location...)

(ASEAN 内での PETE・SPD ネットワーク形成のためにより必要な資源は何か)

記述式回答は以下の通り。

- ・ 1. Face to Face Interaction 2. Online sharing of the same space in Drive/Cloud, workshops / meeting (マレーシア : PETE)
- ・ Workshops and fora, and most especially doing it on a physical location. (フィリピン : PETE)
- ・ Meeting at a physical location in Japan (タイ : PETE)
- ・ Meeting at a physical location, workshops, responsible person, budget, sharing contact for all participants, sharing documents if allowed, and proceed the paper. (インドネシア : SPD)
- ・ Meeting at a physical location (ラオス : PETE)
- ・ Fixed focal points, sharing of the same space, workshop or seminar, and meeting at a physical location. (インドネシア : PETE)
- ・ Workshops and Meeting at a physical location and the next time Should be held in Japan. (タイ : SPD)
- ・ We already know that government policy varies by country, and that policy of each ministry within a country has different goals. For example, the Ministry of Education priorities mission and vision in academic achievement, whereas the Ministry of Youth and Sports focuses more on a sporting nation. Gaps in policy differences must be considered in order to find a middle ground in a new action plan involving ministries and national participation. (マレーシア : SPD)
- ・ meeting at a physical location to share (フィリピン : SPD)
- ・ sharing of the same space in Drive/Cloud, workshops. (ベトナム : SPD)
- ・ I think we should workshop face to face it's better than online workshop (ラオス : SPD)
- ・ Budget (ミャンマー : PETE)
- ・ I can't answer this question as I am not clear on this q. (ミャンマー : SPD)
- ・ Mailing list, workshops, and meeting at a physical location (カンボジア : PETE)
- ・ No more because NSSU responsible to organized the group (ミャンマー : オブザーバー)
- ・ Fixed focal meetings, annual collaboration meet ups and succession plans to our superiors (ブルネイ : PETE)
- ・ Creating one drive space, material to support others ASEAN members in PETE/SPD (ブルネイ : SPD)

概ね、対面での交流・ワークショップ、連絡窓口責任者の固定、実施に必要な予算付け、ドライブ上でのドキュメントおよび格納スペースの共有、メーリングリストの作成、各国上層部へのアクションプランの提示に向けた具体的筋道の共有などが、日 ASEAN の枠組みにおけるネットワーク

の基礎確立に重要であると回答者からは受け止められていることが窺える。

他方、マレーシア SPD カウンターパートからは、本事業に関与する省庁間の協働を目途とした、互いの目的を踏まえた新アクションプランの策定の必要性といった具体的な実施を念頭に置いた意見も寄せられた。これを踏まえ、これらの各カウンターパートの意見の共有も事業主体として前広に検討することとしたい。

12. Will you have condition to continue participating in this project after April, 2023?

18 responses

2023 年 4 月以降の事業参加の可否

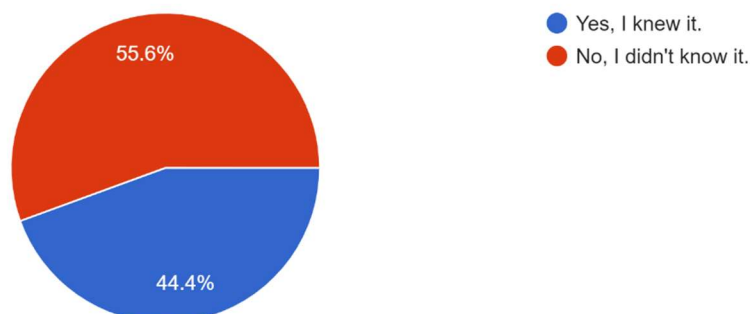


マレーシア (PETE および SPD)、タイ (PETE)、インドネシア (PETE)、ミャンマー (オブザーバー) が次年度の事業参加可否について「上司の判断次第で可能」とし、タイ (SPD) およびブルネイ (SPD) が「参加できることを希望する」、ベトナム (SPD) が「参加できない」とした以外は、半数以上のカウンターパートが、自身の事業への継続参加可能性に前向きな見方を示した。基本的には、事業の継続性に鑑み、次年度も同じカウンターパートの主体的参加を促す方向性が望ましい。他方で、カウンターパート周辺の同僚、スタッフ、上司なども本事業に巻き込んで行く工夫は再考の価値があるように思われる。また「参加出来ない」としたカウンターパートについても、任命自体は各国政府内の手続きを踏むため日本側からの指示は出来ないものの、複数の関係者の関与を検討してもらうことで継続性を保全することも一案と思われる。

13. Did you know this year 2023 is the 50th anniversary of the ASEAN-Japan friendship?

18 responses

本年が日 ASEAN50 周年である事の認知度



半数以上の参加者が「2023 年が日 ASEAN 友好 50 周年である」ことを知らなかったという結果が示された。これは、普段の各カウンターパートの業務は主に国内向けに実施されることが多く、ASEAN の個別情報に触れる機会が少ないことが推察される。もしくは ASEAN の発信する情報が多岐にわたるため、見過ごされた可能性も否定できない。

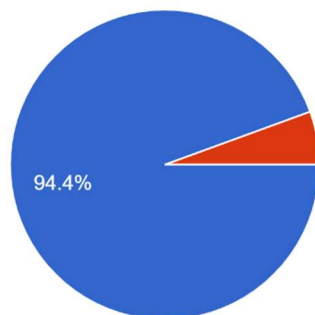
他方、今回各国政府機関で業務を行うカウンターパートに本事業活動を通じ「日 ASEAN 友好 50 周年」、長年の日 ASEAN 関係の歴史とその重要性が改めて認知されたことは、日本の ASEAN 内でのプレゼンス向上、更なる関係の発展可能性に繋がるものと前向きに捉えたい。また今後、国内のみならずより広い視座で自国の PETE および SPD を客観視する契機としてももらえるよう、事業主体として試験的な試みも含め、次年度に向け検討して行きたい。

●ワークショップの実施・運営面について

14. Was the period of the Training Programme (in the first half of March) appropriate for you?

18 responses

ワークショップ開催時期の妥当性



- Yes, it was appropriate for me/our organisation.
- No, it was not so good for me/our organisation to arrange the schedule for it.
- If any other period more appropriate for you/your organisation, please describe it below... ↓

ワークショップ開催時期については、自国 PETE カウンターパートの参加が出来なかったベトナム SPD カウンターパートから否定的な回答が寄せられた以外は、肯定的な回答がなされた。2023 年の本事業ワークショップへの参加に都合の良い時期詳細については次問参照のこと。

15. If any other period is more appropriate for you/your organisation, please let us know briefly. (Ex. Between September and the middle of October...)

(2023 年のワークショップに参加し易い時期についての見通し)

記述式回答は以下の通り。

- ・ the months of June-July would be better (フィリピン：PETE)
- ・ Middle of May (インドネシア：SPD)
- ・ Maybe the middle of October is good for me (ラオス：PETE)
- ・ Middle of October (インドネシア：PETE)
- ・ Between November and March. (タイ：SPD)
- ・ N/A (フィリピン：SPD)
- ・ In December 2023. After completing the major relevant sport events of the year 2023 such as 32nd SEA Games, 12th ASEAN Para Games (Cambodia), Asian Games, Asian Para Games (China), World Beach Games (Indonesia), the 6th Asian Indoor and Martial Art Games (Thailand), Asian Youth Games (Russia) SOMS and AMMS (Thailand). (ベトナム：SPD)
- ・ After finish the Asean Para Games in Cambodia I think it better to the start workshop (ラオス：SPD)
- ・ The middle of October (ミャンマー：PETE)

- ・ Tentatively September will be more appropriate (ミャンマー：SPD)
- ・ Depends on the scheduled - As long as the invitation come 1 or 2 months, to arrange schedule at work (ブルネイ：SPD)

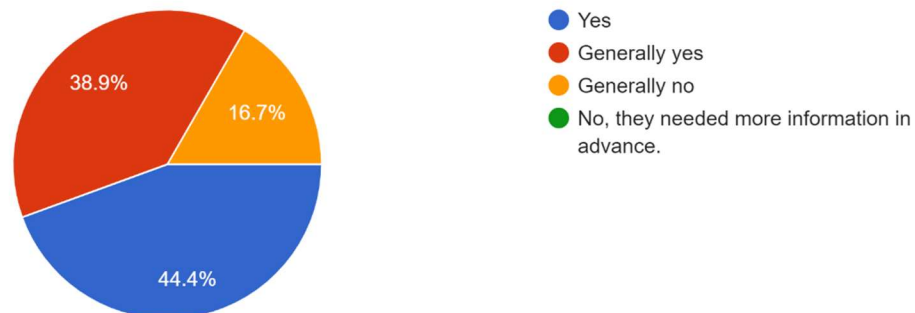
上記の結果より、SPD カウンターパートには 6 月にカンボジアで開催の ASEAN Para Games、9 月に中国で開催される Asian Para Games などに直接関わる人材がいるため、当該月およびその準備期間は多忙となる可能性が高い。従って概ね、7 月もしくは 10 月以降の開催が望ましい傾向が見て取れる。次年度の事業活動、ワークショップなどの開催時期設定の参考としたい。

他方、次年度の事業への関与が「できない」としていたベトナム SPD カウンターパートから、より具体的な参加可能時期が示されたことは、「時期によっては参加できない」との回答意図であったものと考えられる。

16. Is your assignment in this project and your participation in the workshop well known or widely understood in your workplace (by your supervisor, boss and your colleagues)?

18 responses

事業および自身の事業参加に対する職場での理解、認知度



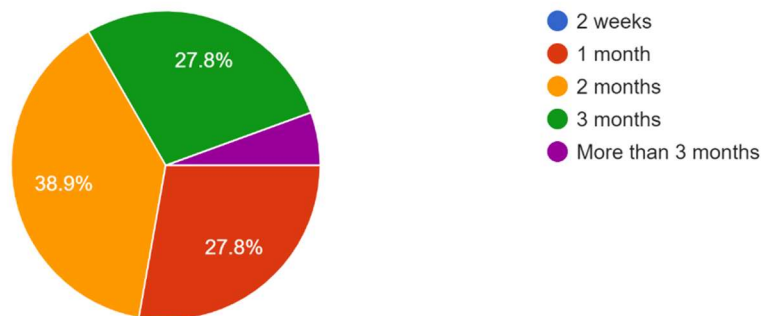
フィリピン (PETE、SPD)、ベトナム (SPD) について、「職場、同僚に自身の本事業参加が理解、周知されていない」と回答した他は、概ね認知されていることが確認された。各国内の ASEAN 事務局、各国スポーツ高級実務者会議メンバー (SOMS)、カウンターパート所属組織、所属部署、カウンターパート本人への一連の書類の流れについては過去 2 年間で確立しており、日本側の努力のみで必ずしも、より広い周知に向けた変更、改善が実現されるものではないが、次年度以降、周知内容、周知の仕方およびタイミングについては、検討や改善努力が望まれる。

また、前問 10 にて「職場内で今回のオンライン・ワークショップで得た情報、知識を共有する」との回答が多くのカウンターパートから寄せられたことから、カウンターパート周辺での事業に対する理解度、認知度が間接的な形で自然に高まることも期待される。

17. How many weeks/months in advance do you need to receive information/invitation of the workshop?

18 responses

ワークショップ開催する場合、何週・カ月前の通知が適当か



結果として、平均約 2 か月前が ASEAN 各国で望まれるワークショップ開催に係る事前通知時期であることが分かった。それは多くの国で異なる省庁間（例：ASEAN事務局の連絡と窓口になっているスポーツ高級実務者会議メンバーの所属省庁→カウンターパートの所属する省庁）のやり取り、当該省庁内での承認、決裁手続きが正式なプロセスとして確立されており、一定の時間を要するためである。

しかしながら、今年度のオンライン・ワークショップの開催は 1 週間前に決定、通知が発出された中、自身の担当業務で多忙だったベトナム PETE カウンターパートを除く、他全員のカウンターパートの参加（数名については一部離席および参加できなかった講義、活動あり）を実現することができた。

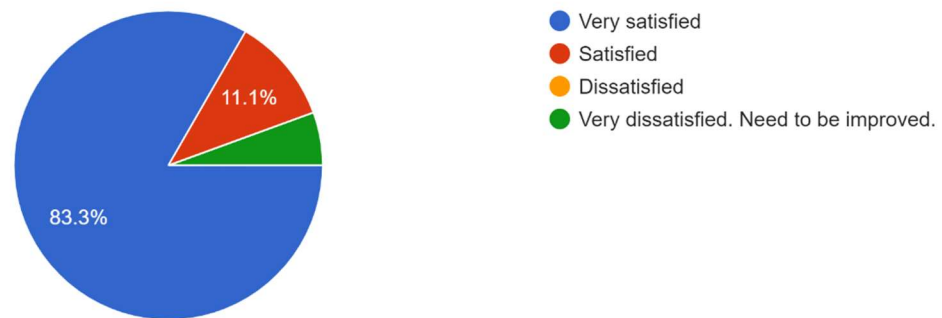
他方で本来の各国内手続きをやむを得ず一部省略することで対応した国が多いことも把握しており、次年度では上記結果を踏まえ、早期に日程を固め、各国内の正式な承認プロセスを経ることを念頭に置いたタイムライン上で、極力前倒して事前調整、準備、案内を行うことが肝要であることに違いはない。

本年度は、意思決定までの準備、交渉、調整に多くの時間を要し、また実施可否を含めた判断時期を明確には設定しなかった中で、幸運にも 1 名を除く 19 名のカウンターパートの参加という好結果には恵まれたものの、本問の回答を参考に、事業運営について改善すべき点については謙虚に受け止め、参加者目線での参加のし易い環境整備から改めて見直して行くことが実施主体に求められるものと自覚する。

18. Are you satisfied with the overall operation including the administrative communications of the project until now?

18 responses

これまでの事業運営に対する満足度



タイの障がい者スポーツのカウンターパートからは運営に関し「不満足であり、改善の必要あり」との回答が寄せられた。同氏の次問の回答内容から日本における対面での開催を強く希望しており、この度オンライン開催になったことへの不満感および改善要求という形で表現されたものと捉えることが出来る。その他、概ね事務連絡を含めた事業運営の方向性は肯定的に受け入れられているものと理解する。他方、敢えて運営面の改善点を次問で回答者に叙述してもらう目途にて設問した。

19. Which points do we have to improve the most in the programme operation?

(事業運営に対して改善を希望すること)

記述式回答は以下の通り。

- ・ 1st day activity - sharing from the teachers (マレーシア：PETE)
- ・ I have realized now that a forum/workshop like this could have been better doing it face-to-face or on a physical location so there would be better and an extensive discussion/sharing with each other -- more focus on this. (フィリピン：PETE)
- ・ PE and SPD cases study and best practices in Japan (タイ：PETE)
- ・ Workshops can be held on Japan. ^_^ (インドネシア：SPD)
- ・ For me...I think you are a good communicate and help other as well (ラオス：PETE)

The current implementation is very good, especially in the communication made by Mr. Yu SHISHIDO and Ms. Sakae HAKARIYA regarding various workshop information. This needs to be maintained for the next workshop activities. Thank You very much for all your efforts.

(インドネシア：PETE)

- ・ Workshops and Meeting should be held at a physical location and the next time Should be held in Japan. (タイ：SPD)

- ・ It is very tight schedule (ベトナム：SPD)

- ・ Not improve (ラオス：SPD)

- ・ Budget (ミャンマー：PETE)

- ・ Every things doing well but need to advise the presenter to take the allocated time.

(ミャンマー：SPD)

- The break time is too short for having lunch in the case of video conferencing
(カンボジア：PETE)
- Nothing special (ミャンマー：オブザーバー)
- The ultimatum of having the physical meeting rather than the online to be expedited
(ブルネイ：PETE)

概ね、対面でのワークショップ開催、一部日本での開催が要望されている。他方、事業運営面についてはスケジュールがタイトである事も上げられたが、当該の回答は、ワークショップ内のスケジュール、もしくはこの度実施案内が遅れ、開催約 1 週間前となったことのどちらかを示すものと推察される。その他、取り扱う内容や予算付けなどワークショップ内および周辺における活用を期待する資源に関する回答も散見された。運営方針、体制としては 2 年間の蓄積を踏まえ、より効率的で有効なアプローチが要される。

20. What you expect from the project (contents/subject/workshop at a physical location /collaboration with other organisations, etc.) for the next phase, please describe freely.

(事業に対して期待すること)

記述式回答は以下の通り。

- workshop at physical location (マレーシア：PETE)
- Okay with the contents, great one! Just more synergy would be developed through a physical/face-to-face setup. Thank you so much for this great endeavor! (フィリピン：PETE)
- Some of needs or perspectives or expectation from Japan SPD bodies relate with PE in primary or secondary or higher edu (タイ：PETE)
- All the programs running well, and the Experts help to improve Action plan and giving the feedback very well. However, it would be great if we trying to meet physically in Japan annually. ASEAN secretariat can give support, recommendation and budget to support Action Plan Program.
(インドネシア：SPD)
- Workshop at a physical location is good for participation that they have more time to join and share idea that meeting online (ラオス：PETE)
- After conducting several online meetings. I think it is necessary to carry out meeting activities physically. Therefore, all training participants can fully focus on this activity.
(インドネシア：PETE)
- Workshops and Meeting should be held at a physical location and the next time Should be held in Japan. (タイ：SPD)
- I hope that the outcomes of the workshop's discussions and action plan frameworks will assist our management in making more effective policy decisions. When an action plan interferes with political factors, especially in the field of sports, it can be difficult to implement. I hope that political interference in efforts to develop policies and government policies for the development of sports, particularly for the disabled, can be minimised. (マレーシア：SPD)
- Update on what has been done from the list of goals presented (フィリピン：SPD)

- ・ NIL (シンガポール：PETE)
- ・ Contents/subject (ベトナム：SPD)
- ・ My expect from the project we want to workshop in ASEAN or Japan University Because I think the workshop for face to face we can share the opinion together (ラオス：SPD)
- ・ Collaboration with other organizations. (ミャンマー：PETE)
- ・ Intersectional collaboration with Prof Sato, Prof Nagata and team for method, material and man (Expert) for promotion of our SPD. (ミャンマー：SPD)
- ・ I expect to be able to attend the next workshop at a physical location for the next phase and expect to learn more related to inclusive Physical Education in the mainstream schools as well as how the knowledge should be transferred to the teacher trainees in Physical Education Teacher Education Institutions (カンボジア：PETE)
- ・ Some support for physical education teacher training(technical support, human resource support) (ミャンマー：オブザーバー)
- ・ invitation to embassies of the respective countries to attend the opening ceremony and closing ceremony to further cement the official collaboration from Japan and ASEAN countries (ブルネイ：PETE)
- ・ I am interested more in How the application of Inclusive PE in Primary/Secondary. (ブルネイ：SPD)

本事業に期待することとしては、概ね定期的な対面でのワークショップ開催および交流機会を持つこと、日本関係者のより積極的関与、アクションプランの実施に対する予算的な裏付け、アクションプランの実施状況の確認機会、他組織とのコラボレーション機会、現役教員および教員になることが期待される人材のスキルアップを前提とした情報、知識の移転方法、インクルーシブ体育の実践（小中学校レベル）に繋がる活動が挙げられた。

他方マレーシ SPD カウンターパートより各省庁間の政策実施における利害相反が軽減されることを望む声もあったことを、当該国における行政官の率直な意見として日本側にフィードバックする意味でも特筆したい。またミャンマーSPD カウンターパートからは、筑波大学の佐藤教授、永田助教との人材交流、ソフトおよびハードの両面からの支援を望む声も上げられている。

その他、各国大使館のセレモニーなどへの公式な列席、ひいては日本と各国間の関係強化を期待する意見も寄せられている。

事業の成果の公的な認知度を高めることは、今後の本プロジェクトの推進に取り重要である。昨年度 SOMS において成果の紹介をしたことを各国カウンターパートに紹介していないことは、その意味では反省する必要がある。プロジェクトの成果をカウンターパートにとどめず、多様なステークホルダーに周知、広報することの重要性が改めて示唆されたといえる。

これらの事項を踏まえ、次年度の事業内容、運営方法について再検討の上、改善しより円滑な事業の実施に繋げることが実施主体である日本体育大学により一層求められる。

以上

本事業における障がい者スポーツに係る調査および分析結果について

ASEAN-Japan Actions on Sports

Promoting Sport for People with Disabilities (SPD)

Report of the Completed Interview Studies

Shinichi Nagata, Ph.D., and Takahiro Sato, Ph.D.

Introduction of the Team

- Dr. Takahiro Sato

Position: Professor and Chair of
Joint Master's program
of International Development and
Peace through Sport

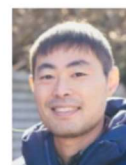
Research Interests: Physical
Education Teacher Education,
Social Justice and Diversity



- Dr. Shinichi Nagata

Position: Assistant Professor of
Joint Master's program
of International Development and
Peace through Sport

Research interests: Community
inclusion of people with
disabilities



Importance of SPD Promotion

- Participation in cultural life, recreation, leisure, and sport is viewed as a basic human right, regardless of having a disability, according to the United Nations Convention on the Rights of People with Disabilities (CRPD: The United Nations 2006).
- Policy makers are eager to develop a system of SPD inclusive of grassroots to elite level participation (DePauw and Gavron 2005), to ensure opportunities to play sport for those who have disabilities.

Survey on SPD

- We know little about the current status of SPD in ASEAN countries.
- Existing literature focuses mostly on a single, and more economically developed nations, and most do not explore policy.
- Almost no knowledge about SPD sport policies in Brunei, Cambodia, Indonesia, Laos, Myanmar, the Philippines, Thailand, and Vietnam.
- To identify task for promoting sport for people with disability, focused interviews were implemented.

Survey and Interview

- Survey was translated from English languages to their native languages.
- Semi-structured, individual interviews using Zoom

ASEAN 10 Khảo sát về Phát triển thể thao cho người khuyết tật

Đây là cuộc khảo sát được thực hiện nhằm mục đích nghiên cứu sự phát triển của thể thao dành cho người khuyết tật ở 10 nước ASEAN. Các câu hỏi trong cuộc khảo sát khai thác về luật pháp, chính sách giáo dục thể chất, thể thao thích ứng (chính sách và biện pháp bảo vệ nhân quyền, v.v.), và môi trường; mục đích của cuộc khảo sát là để tìm hiểu hiện trạng giáo dục thể chất và thể thao thích ứng, và để xác định các vấn đề cần được giải quyết trong tương lai.

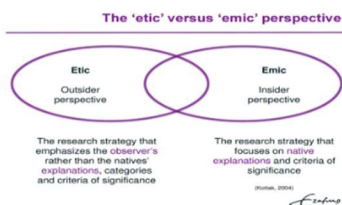
Kết quả của cuộc khảo sát này sẽ chỉ được sử dụng cho nghiên cứu học thuật. Để bảo vệ quyền riêng tư của bạn, thông tin cá nhân và kết quả khảo sát sẽ được lưu trữ an toàn dưới dạng tài liệu bảo mật. Mọi tên cá nhân hoặc tổ chức sẽ không được tiết lộ khi công bố kết quả nghiên cứu này, vì vậy hãy yên tâm trả lời các câu hỏi một cách trung thực và chính xác nhất có thể.

Thời gian cần để hoàn thành khảo sát này là khoảng 60 phút.

Takahiro Sato, Mayumi Saito, Yukinori Sawae, Shinichi Nagata
(Khoa Khoa học Sức khỏe và Thể thao, Đại học Tsukuba, Nhật Bản)



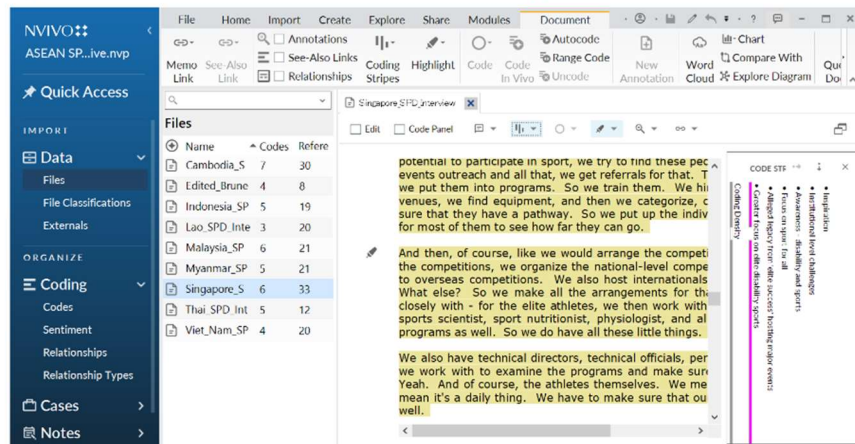
Interview Method



- The interview questions include: their views about the development, implementation, and barriers to sport policy for people with disabilities in their country.
- Interviews were conducted in English language. The list of questions was shared with the participant in advance of the interview. Interpreters were allowed to accompany.
- On average, the interviews lasted for approximately 75 to 90 minutes.

Data Analysis

- The interview data was analyzed with Thematic Analysis
- Transcripts were coded and themes were generated



Findings #1: Seeking stable budgetary strategies for supporting disability sport and education

- Budgetary concerns
 - Not enough SPD equipment, such as sport wheelchairs and sport prosthetics
 - Some sport venues are not physically accessible, but cannot afford money to renovate
 - Sources of budget not stable (e.g., the Singapore SPD organization must collect 50% of the budget from private funders)

Findings #2: Perceived lack of disability awareness and disability sport recognition

- While there is a range in degrees, stigma of disability in ASEAN countries is significant among lay people.
“... in our country, their [non-disabled individuals] mindset is that if they are disabled, they cannot do anything, and the family also, their parents do not allow them to go to school if they are disabled.”
- Awareness of disability sport is generally low – perhaps due to limited media exposure (Brooke and Khoo 2021).
- These conditions may create circumstances that contribute to a lack of support for SPD.

Findings #3: Elite sport successes address problems at hand

- There is a common perception that elite sport success can reduce the stigma of disability.
“(w)hen the successful disabled sportsman came back to our country, they can inspire not only the disabled but also the ‘normal’ people”.
- A large event may be an opportunity to raise awareness.
“So that's why we plan to have 2023, the ASEAN Para Games in Cambodia. We will have the Games, so we want to develop, I mean, to promote the para sport in our society.”

Findings #3: Elite sport successes address problems at hand

- Those successful athletes can spark interests of those with disabilities who are not yet participating in sport:

“And of course, you have representing [unclear] at high performance levels, which is like Asian [Para Games] levels and above, your Paralympic Games. You then become national inspirations that people can identify very easily with, and then you become influencers for the rest of the levels.”

Finding #4: Elite sport success to motivate funders

- Success in elite sport can attract government leaders’ attention, which can result in increased funding.

“Because in 2018, Indonesian is a success to be number one in the Asian (Para) Games in Kuala Lumpur in 2018. So, the President of Indonesia, Mr. Jokowi, has a policy sought to back up the senior player from the disabilities.”

- Elite sport success can spread inspiration and enthusiasm for support from them.

“Okay, I will tell you usually, right, a lot of Singaporeans will suddenly voice support for Para Sports or para-athletes when there are major game achievements, okay? Especially for the Paralympic, when our athlete actually comes back, they have a medal, it becomes a very, very big media event, a public event. And that is when a lot of Singaporeans will start to say, oh, we should do something more for Para Sports, para-athletes.”

Finding #4: Elite sport success to motivate funders

- Some representatives implied that their government was more motivated to fund elite sports for people with disabilities because their country have a higher chance to demonstrate their presence in Paralympics than in the Olympic Games.

“... because, you know, that in our country for our athlete to have a good performance. ... the Paralympic bring our gold, but the able, I mean, the normal athlete until now didn't get the gold for our Olympics.”

Finding #5: Developing collaborative partnerships between ASEAN and Japan for promoting SPD

- NGOs provides coaching resources
- JICA sends coaches to countries
- Importing new and advanced equipment from Japan

Alarms from Global North literature

- A focus on elite sport success to reduce stigma and discrimination for people with disabilities has been criticized because the impression such elite athletes provide becomes a norm, and those who cannot meet such expectations can be further marginalized (Silva and Howe 2012).
- Considering that most people with disabilities cannot perform as well as those successful elite athletes, such unrealistic societal expectations can hinder social inclusion of people with disabilities.

Considerations

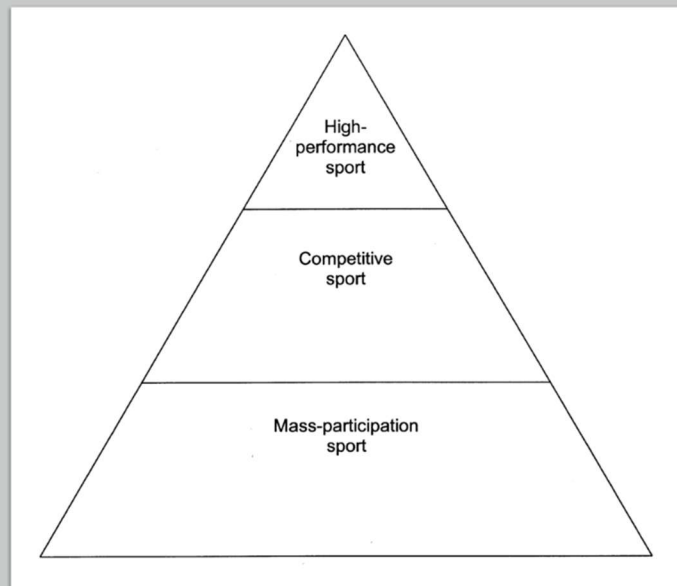
- It is not clear to what extent the knowledge from the Global North can apply to ASEAN. Considering...
 - Stigma of disability
 - The impact of exposure to elite sport success – perhaps greater acknowledgements
- As such, raising awareness through demonstrating elite sport success may not be a completely illogical approach at this point, in the particular context of the ASEAN countries.

Implications

- Continued emphasis in elite sport might be needed. For that, seek additional resources.
 - If not done previously, use media to increase awareness
 - Even the ASEAN-level achievements should be highlighted in the media
 - For resources, seek assistance through international aids and collaborations with NPOs/NGOs in other countries
- Consider the next system of SPD for the 10 years later.
 - Global North literature said that the elite sport inspiration model does not work.

Possible Next System

- Some ASEAN countries do not have Mass-Participation Sport (Grass-root participation).
- Sport Development Pyramid (Green, 2005)
- Advanced practices are reported by Laos and Malaysia.
 - Department of Sport for All (Laos)
 - Ministry of Youth and Sport: Mass-Sport Programs (Malaysia)



Submitted Research Paper for Publication

Manuscript Title: *It's about inspiring the greater community to continue supporting this sector: Elite Sport Success as a Main Policy Target for Disability Sport Promotion in ASEAN Member States*

Submitted to *International Journal of Sport Policy and Politics*

Authored by Nagata, Bloyce, Sato, & Okade

Manuscript Title: *ASEAN 10 ambassadors' roles and responsibilities for promoting sport and education for individuals with disabilities*

Submitted to

Authored by Sato, Nagata, Bloyce, & Okade

Interview with SPD Stakeholders

- This study aimed to capture clearer pictures of the status of SPD of a country.
- Cambodia was selected as a model case
- What we knew in the previous interview with Cambodian counterpart, who was a director of Planning, Protocol and Events Management, National Paralympic Committee of Cambodia (NPCC):
 - NPCC has a strong time with the government
 - As sport federation is not developed, NPCC does everything related to SPD
 - NPCC goes for SPD promotion as SPD is not popular in rural areas
 - One person, one sport – slogan
 - Sport can give a good life

Interview with SPD Stakeholders

- We conducted a thorough investigation by interviewing major SPD stakeholders – athletes, coaches, and staffs.
- Participants, athletes (n=6), coaches (n=4), and Staff (n=1) were recruited with a help of an NGO, the Heart of Gold.



認定特定非営利活動法人
HEARTS of GOLD

Participant Characteristics

Participant initials	Sex	Role	Type of Disability	Additional Information
YS	F	Para-athlete	Visually Impaired	ASEAN Para Game 2022 Participant some international competition
VV	M	Para-athlete	Both legs paralysis / Polio / Wheelchair	Tokyo Para 2020 T54, 100m Finalist ASEAN Para Game 2022
VC	F	Para-athlete	Amputated Leg / Artificial leg	ASEAN Para Game 2022 Participant some international competition
NR	F	Para-athlete	Arm Paralysis / Polio	ASEAN Para Game 2022 Participant some international competition
BH	M	Para-athlete	Upper limb amputation	ASEAN Para Game 2022
YH	M	Para-athlete	Upper limb amputation	ASEAN Para Game 2022
PS	M	Coach	N/A	Head Coach for Para-athletics
LL	M	Coach	N/A	Coach for Athletic and Para-athletics Training wheelchair athletes
KB	M	Coach	N/A	Coach for Athletic and Para-athletics Training standing group
SS	M	Coach	Leg Length difference / Injured by accident	Coach for Athletic and Para-athletics Training standing group

Interviews

- The interview questions include: their views about being a para-athlete or a coach, support from the government, and challenges related to sport participation.
- As no participant spoke English or Japanese, interviews were conducted with an interpreter who can speak both Khmer and English language. The list of questions was shared with the interpreter in advance of the interview.
- On average, the interviews lasted for approximately 60 minutes.



Tentative Findings

- Athletes feel empowered – people around them view them more positively
- The living and training condition could be better for top athletes – the new stadium is very far and losing much time. Also, income is not enough to sustain athletic life.
- The need of sport equipment – some athletes had to borrow equipment from others (e.g., prosthetics)

Tentative Findings

- There is no opportunity to play sport in rural area. They had to come to the capital. Sport is a career, not a leisure. Lack of grassroot participation.
- Preparation for the retirement is not enough – they feel that they had no way but going back to their parents' home after the end of their athletic career. Post-athletic career development may be needed.
- Athletes desire better quality coaches – understanding of para-sport, and each disability.



Tentative Findings

- Coaches also think they need more training on para-sport and disability knowledge
- Coaches think they need more young athletes – recruitment is difficult if they need expensive equipment like prosthetics
- Coach thinks finding talents is a challenge. Also, bringing these talents to the capital (where the training is taking place) is another challenge.
 - SPD events not enough
 - Moving from a rural area to a capital city is challenging, and sport equipment expensive

Tentative Findings

- Coaches think that equality between Olympic and Paralympic athletes must be achieved – paralympic athletes are not be compensated as much as Olympic athletes are.
- There are volunteers from Japan and placed in rural areas, but their talents are not effectively shared due to a lack of network – coaches wish they can share talents with other places including top athletes in the capital

Implications

- Consider creating better training environment – perhaps group home near the stadium?
- Consider post-athletic career development training – to achieve continued good life for them
 - Perhaps job training? Getting a degree?
- Policy makers should consider establishing centers in provinces

References

- Brooke, M., and Khoo, S., 2021. Insider perspectives on the sustainability of the Malaysian and Singaporean Paralympic Movements. *Sustainability*, 13 (10), 5557. Available from <https://doi.org/10.3390/su13105557> [Accessed 28 October 2022].
- DePauw, K.P., and Gavron, S.J., 2005. *Disability sport*. 2nd ed. Champaign, IL: Human Kinetics.
- Silva, C.F., and Howe, P.D., 2012. The (in) validity of supercrip representation of Paralympian athletes. *Journal of sport and social issues*, 36 (2), 174-194.
- The United Nations 2006. *Convention on the Rights of Persons with Disabilities*. Treaty Series, 2515, 3.

ASEAN 10 Disability Sport Project Research Method

Takahiro Sato Ph.D. CAPE & Shinichi Nagata Ph.D.
Faculty of Health and Sport Sciences
University of Tsukuba

Selection of Research Methodology

- Based on selecting research method in this project, we focused on qualitative research method rather than quantitative research method, because each country had different cultural and political contexts in disability sport and education.
- Plus using English as second language and translation become significant challenges in this study.
- Next slide is overview of characteristics between quantitative and qualitative research methods.

RESEARCH METHODS VERSUS RESEARCH DESIGN

Research methods are the procedures that will be used to collect and analyze data

Focus on what type of methods are more suitable to collect and analyze the evidence needed

Depend on the research design

Research design is the overall structure of the research

Focuses on what type of study is planned and what kind of results are expected from the research

Based on the research question or problem

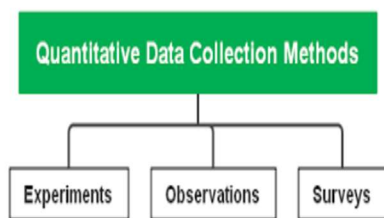
Quantitative and Qualitative Research Methods

What are quantitative and qualitative research methods?

- Quantitative data are measures of values or counts and are expressed as numbers. Quantitative data are data about numeric variables (e.g., how many; how much; or how often).
- Qualitative data are measures of 'types' and may be represented by a name, symbol, or a number code.

Differences of Quantitative and Qualitative Research

- Quantitative studies rely on numerical or measurable data. In contrast, qualitative studies rely on personal accounts or documents that illustrate in detail how people think or respond within society.



How do you decide research method?

Quantitative Research

1. *Are you interested in exploring and knowing about current conditions?*
2. *Hypothesis – You have “Do they...” type of questions?*
3. *Do you have enough number of samples? 50, 100, 1000?*

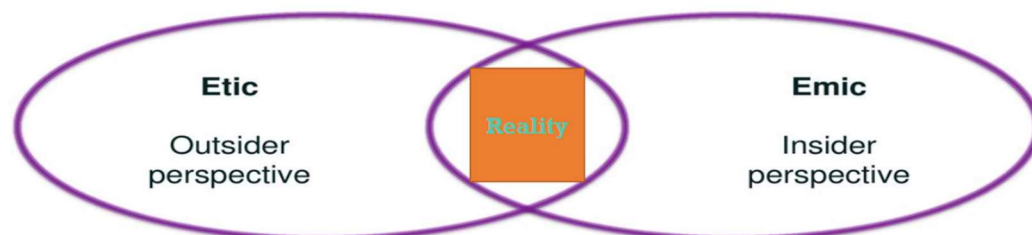
Qualitative Research

1. *Are you finding clear and concise problem statements you want solve?*
2. *Research Questions – you have “what and how do they” type of questions?*
3. *Do you have access only small number of participants?*

Types of Qualitative Research Design

- **Phenomenological research** is a qualitative research approach that seeks to understand and describe the universal essence of a phenomenon.
- In **case study research**, a real-time phenomenon is explored within its naturally occurring context, with the consideration that context will create a difference.
- **Grounded theory** refers to a set of systematic inductive methods for conducting qualitative research aimed toward theory development.
- **Ethnography** is a qualitative method for collecting data often used in the social and behavioral sciences.

The 'etic' versus 'emic' perspective



The research strategy that emphasizes the **observer's** rather than the natives' **explanations**, categories and criteria of significance

The research strategy that focuses on **native explanations** and criteria of significance

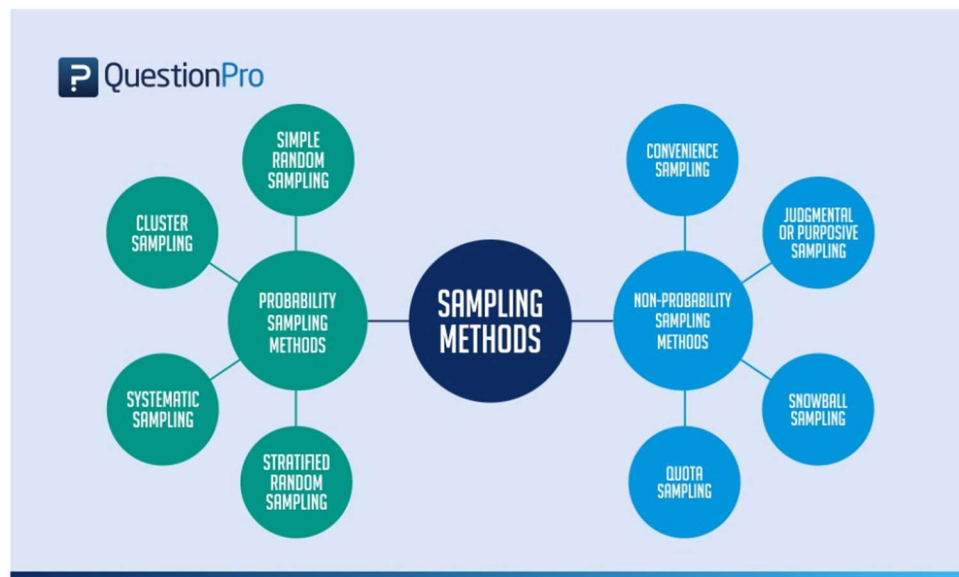
(Kottak, 2004)

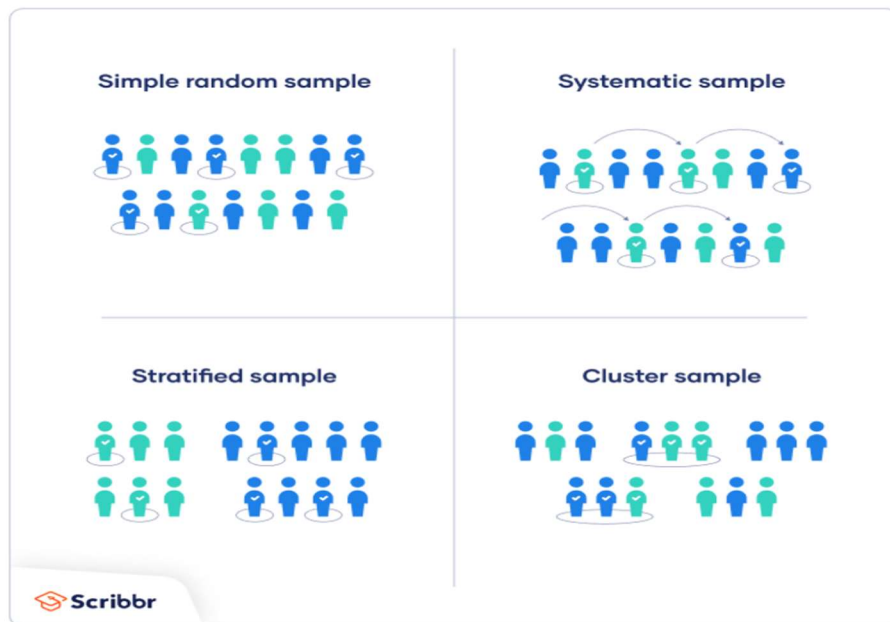
Ezafus

What is theoretical Framework?

- Theory helps researchers to generalize the various aspects of an observed phenomenon from simply describing it and also identifies their limits. By validating and challenging theoretical assumptions, it facilitates the understanding of concepts and variables as per the given definitions and builds new knowledge.

The theoretical framework allows you to present the research problem in light of a summary of the literature. Your description of the variables of interest in context of the literature review allows the reader to understand the theorized relationships.





Research Design

- This study used a qualitative method with in-depth, semi-structured interviews (Seidman, 1998). The intent of using interviews was to elicit ambassadors' professional experiences and to explore the meanings that they ascribed to those experiences. Unquestionably, interviewing is a useful approach to understand educational and social phenomena experienced by ambassadors in their professional contexts (Seidman, 1998).
- All semi-structure interviews were conducted in a synchronous online format using the ZOOM platform. The lead researcher asked participants questions about the ambassador roles and responsibilities, current issues and concerns of disability sport, sport policy, budget, training of coaches and athletes, marketing strategies and professional experiences.

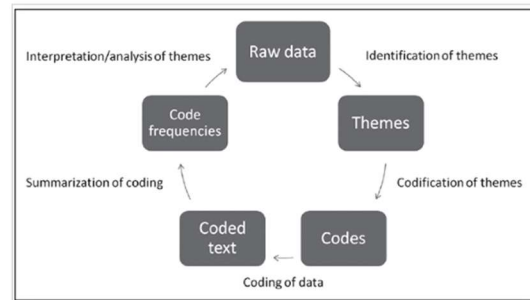
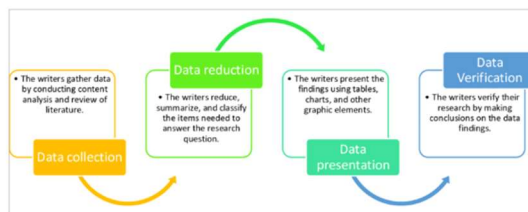
Translation Process

- A translation technique developed by Banville, Desrosiers, and Genet-Volet (2000) was used to prepare the data collected in Japanese for analysis and reporting in English.
- This technique involves a group of researchers proficient in both languages working individually and together to ensure meaning is retained throughout the translation process.
- Three Japanese-English bilingual researchers individually translating the interview transcripts and responses to the demographic questionnaire. Later, they formed a committee with the authors to critically compare and discuss their translations to ensure the meaning of the original items had been retained, making edits as recommended.

Constant Comparative Analysis

- Constant comparative method (Boeije 2010) was used to analyze the data. Each potentially meaningful piece of data within the transcripts was coded independently by the first and second authors, and any differences discussed until an agreement was reached.
- In addition, we also reviewed the codes to avoid potential researcher bias. Coded data from the transcripts and the demographic questionnaires were compared to identify similarities and differences.

Data Analysis Process



What is Trustworthiness?

- Trustworthiness of a research study refers to the degree of confidence in data, interpretation, and methods used to ensure the quality of a study (Pilot & Beck, 2014). In each study, researchers should establish the protocols and procedures necessary for a study to be considered worthy of consideration by readers (Amankwaa, 2016).
- Can you justify why your findings are important when someone asks and gives you “so what” questions?

Member Checking Technique

In qualitative research, a member check, also known as informant feedback or respondent validation, is a technique used by researchers to help improve the accuracy, credibility, validity, and transferability. A member check, also known as informant feedback or respondent validation, is a technique used by researchers to help improve the accuracy, credibility, validity, and transferability.

In many member checks, the interpretation and report (or a portion of it) is given to members of the sample (informants) in order to check the authenticity of the work. Their comments serve as a check on the viability of the interpretation.

Peer Debriefing Technique

Peer debriefing, also called analytic triangulation, is the process whereby a researcher calls upon a disinterested peer—a peer who is not involved in the research project—to aid in probing the researcher's thinking around all or parts of the research process.

Peer debriefing allows a qualified peer researcher to review and assess transcripts, emerging and final categories from those transcripts, and the final themes or findings of a given study. Also, a peer may review selected site documents, observational notes, and possibly other written work of the researcher.

Follow-up Interviews

E-mail follow-ups: E-mail messages were used to ask follow-up questions and/or to seek clarification of previous responses (Meho, 2006).

When there was a need to clarify the contents of the interviews in written format, the researcher asked each participant to respond by e-mail.

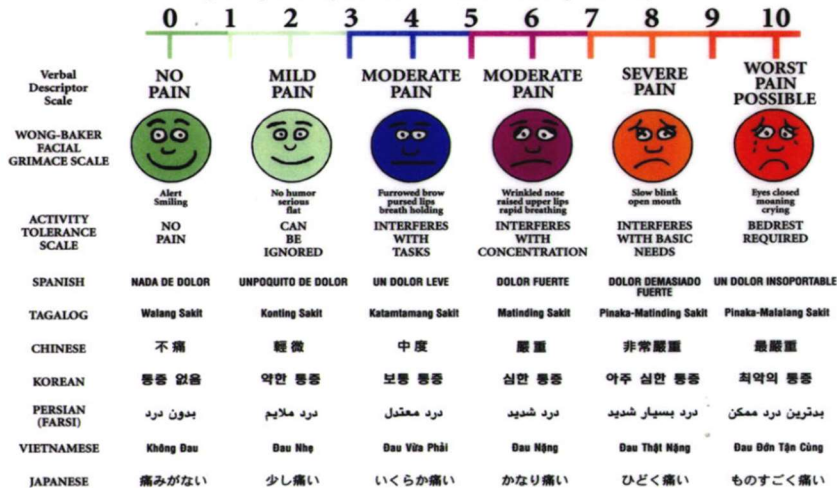
Data from Quantitative Research

- Can be a strong evidence as it is expressed in numbers
 - Ex. People with disabilities who play sport have 30% less likely to get chronic diseases.
 - Ex. On average, people with disabilities who play sport experience 50% higher quality of life than those who do not play sport.
- Measurability is important
 - How many; how much; or how often... (directly observable data)
 - In fact, not directly observable can be used, too.

MODERATE

UNIVERSAL PAIN ASSESSMENT TOOL

This pain assessment tool is intended to help patient care providers assess pain according to individual patient needs. Explain and use 0-10 Scale for patient self-assessment. Use the faces or behavioral observations to interpret expressed pain when patient cannot communicate his/her pain intensity.



Psychological Constructs

- Psychological constructs represent intangible things, such as a person's feelings and attitudes. This is a way to quantify a certain condition.
- Ex. Quality of life: the person A's level of quality of life is 30, whereas the person B's is 10.
- Established questionnaires are available: WHO-QOL, HRQOL, The Satisfaction with Life Scale, etc.

Comparison and Correlation

- If we can measure the variables of interests, now we can compare between groups, or examine relationships.
 - E.g., Those who play sport had significantly higher quality of life than those who do not.
 - E.g., The frequency of participation in sport is inversely correlated with healthcare visits.
- These data can be obtained using cross-sectional survey design (i.e., a questionnaire study)
- Sampling method is quite important to reduce the bias of the results
- Data can be analyzed statistically
- However, cross-sectional design cannot argue causation

Advantage of Experimental Research

- There are different types of studies:
 - Cross-sectional study
 - Experimental study
- Experimental study is the most powerful because it can establish **cause-and-effect relationships among variables**
- However, it may not be easy to conduct experimental study
 - Lots of resource needed! Cost, time, etc.
 - If you design badly, you cannot establish cause-and-effect anyway

Discussion Questions

- When we conduct interviews, how do we minimize language and cultural gaps between interviewers and interviewees?
- How should we develop trust relationships between interviewers and interviewees?
- What types of research studies do you want us to proceed in the future?

